

第3章 事業実施想定区域及びその周囲の概況

3-1 自然的状況

3-1-1 大気環境の状況

(1) 気象の状況

事業実施想定区域に近い地域気象観測所として、市浦地域気象観測所がある。気象観測所の位置を図 3-1-1-1 に、市浦地域気象観測所における過去 10 年間の気象の状況を表 3-1-1-1 及び図 3-1-1-2 に示す。また、直近年である 2025 年の風向出現頻度及び風向別平均風速を表 3-1-1-2、風配図を図 3-1-1-3 に示す。

市浦地域気象観測所における 10 年間の平均気温は 11.1℃、月の平均気温では 8 月が 23.6℃と最も高く、1 月が 0℃と最も低くなっている。

降水量は年平均で 1,505.7mm であり、月別降水量では 8 月が 216.7mm と最も多く、4 月が 74.9mm と最も少ない。

風速は年平均で 2.4m/s であり、月別では 1 月、2 月及び 12 月に 2.7m/s で最も強く、秋季にやや弱くなる傾向がある。最多風向は北西が多く、月別にみると 10 月～4 月は北西方向からの風が、5 月～9 月には東方向からの風がそれぞれ多い。

表 3-1-1-1 気象の概況(市浦地域気象観測所 2016 年～2025 年 10 ヶ年)

年		気温(平均) (℃)			最多 風向	風速(m/s)		日照 時間 (時)	降水量(mm)	
		平均	日最高	日最低		平均	最大		合計	日最大
2016 年		10.6	14.2	7.0	北西	2.5	13.2	1,497.9	1,334.0	74.5
2017 年		10.3	13.7	6.6	北西	2.4	11.1	1,510.1	1,477.5	103.0
2018 年		10.5	13.9	7.2	北西	2.4	11.2	1,399.5	1,760.0	81.5
2019 年		11.0	14.9	7.1	北西	2.5	9.6	1,693.2	1,033.0	50.5
2020 年		11.2	14.6	7.8	北西	2.4	11.5	1,496.8	1,500.5	60.5
2021 年		11.2	15.1	7.4	北西	2.6	10.6	1,652.5	1,468.0	46.0
2022 年		10.9	14.8	7.1	北西	2.4	10.1	1,643.9	1,970.5	164.0
2023 年		12.1	16.0	8.3	北西	2.3	9.3	1,797.5	1,567.5	83.0
2024 年		11.7	15.7	7.7	北西	2.2	9.3	1,710.3	1,344.5	74.5
2025 年		11.8	15.7	8.0	北西	2.2	8.8	1,522.6	1,601.5	89.0
10 ヲ年平均		11.1	14.9	7.4	北西	2.4	10.5	1,592.4	1,505.7	82.7
10 ヲ 年 月 別 平 均	1 月	0.0	2.5	-2.9	北西	2.7	7.9	36.6	132.0	19.9
	2 月	0.3	3.1	-2.7	北西	2.7	7.9	54.4	93.0	18.9
	3 月	4.1	7.8	0.0	北西	2.4	8.1	141.4	80.8	19.5
	4 月	8.6	13.0	4.1	北西	2.4	9.0	186.4	74.9	18.9
	5 月	13.6	18.1	9.2	東	2.3	9.1	208.4	87.1	31.1
	6 月	17.6	21.7	14.0	北西 東	2.3	8.0	176.4	98.8	33.4
	7 月	22.4	26.0	19.5	東	2.3	7.5	175.3	114.6	43.2
	8 月	23.6	27.5	20.3	東	2.4	8.9	184.5	216.7	73.9
	9 月	20.2	24.7	15.9	東	2.1	8.0	193.3	124.2	43.0
	10 月	13.6	18.0	8.8	北西	2.0	7.0	138.5	143.7	43.6
	11 月	7.7	11.4	3.6	北西	2.4	6.9	72.8	161.7	34.6
	12 月	1.9	4.7	-1.1	北西	2.7	7.1	33.6	178.4	25.7

〔「気象統計情報」(気象庁 HP, 閲覧: 2026 年 3 月) より〕

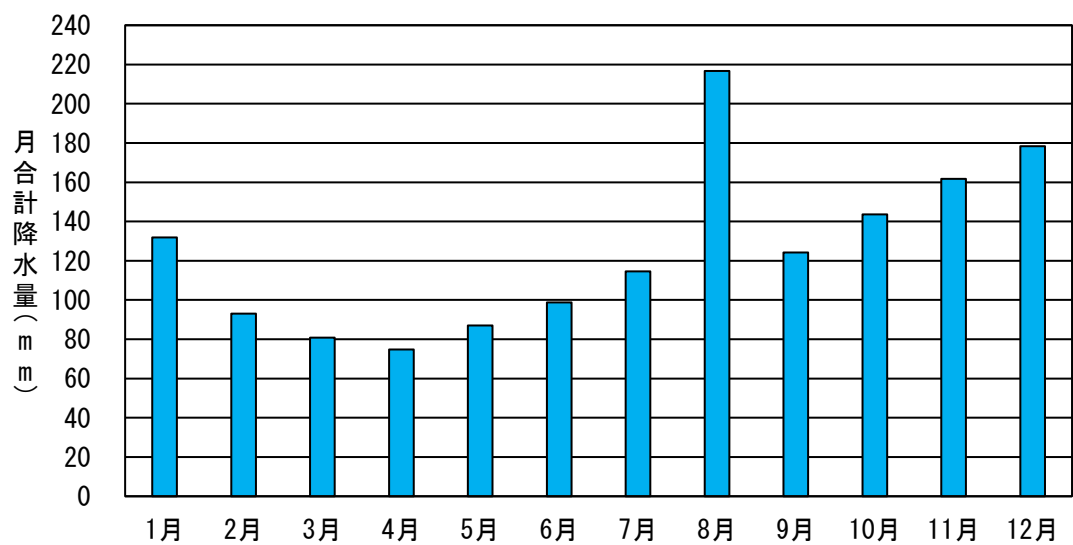
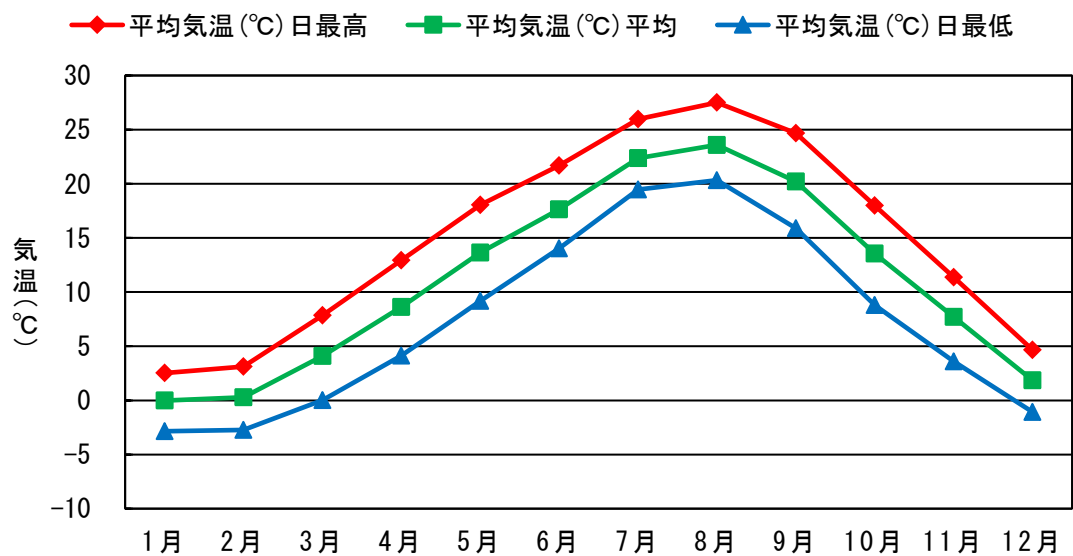
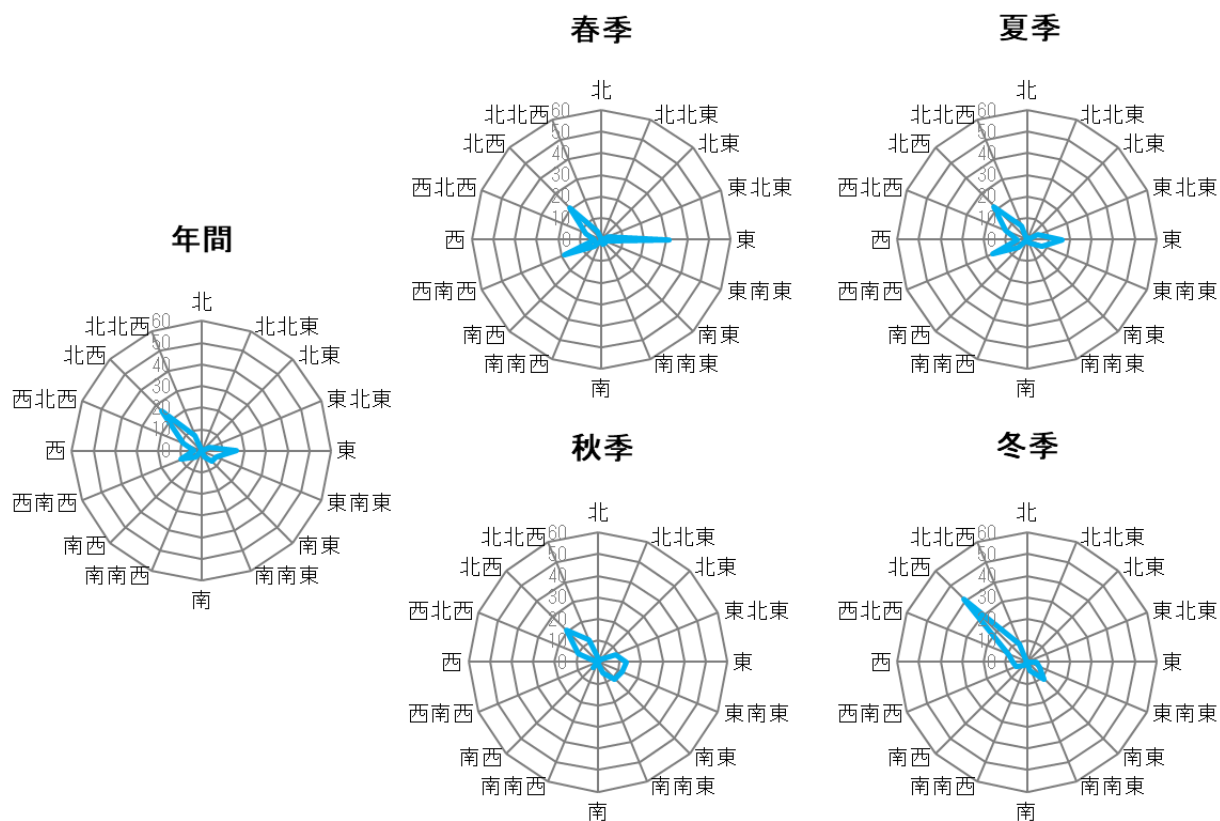


図 3-1-1-2 10 ヲ年月別平均気温及び降水量

表 3-1-1-2 市浦地域気象観測所の風向出現頻度及び風向別平均風速 (2025 年)

風向	春季(3～5月)		夏季(6～8月)		秋季(9～11月)		冬季(1, 2, 12月)		年間	
	風向 出現 頻度(%)	平均 風速 (m/s)	風向 出現 頻度(%)	平均 風速 (m/s)	風向 出現 頻度(%)	平均 風速 (m/s)	風向 出現 頻度(%)	平均 風速 (m/s)	風向 出現 頻度(%)	平均 風速 (m/s)
北					2.2	1.4			0.5	1.4
北北東			1.1	1.1					0.3	1.1
北東					2.2	1.3			0.5	1.3
東北東	3.3	3.7	5.4	3.3	8.8	1.8			4.4	2.7
東	31.5	3.1	16.3	2.8	13.2	1.9	4.4	2.0	16.4	2.7
東南東	2.2	1.7	7.6	1.3	12.1	1.3	6.7	2.0	7.1	1.5
南東	2.2	1.6	2.2	1.8	11.0	1.3	11.1	1.6	6.6	1.5
南南東	2.2	1.9	1.1	1.2	5.5	1.1	4.4	1.4	3.3	1.3
南										
南南西										
南西	4.3	2.0	5.4	1.9	3.3	1.7	2.2	2.7	3.8	2.1
西南西	18.5	2.2	17.4	1.8			5.6	3.3	10.4	2.2
西	3.3	2.2	4.3	1.5			6.7	2.3	3.6	2.2
西北西	7.6	1.8	10.9	1.4	9.9	2.3	8.9	2.5	9.3	2.0
北西	20.7	2.0	21.7	1.5	20.9	2.4	41.1	2.9	26.0	2.4
北北西	4.3	2.6	6.5	1.4	11.0	2.2	8.9	3.0	7.7	2.2
合計・ 平均	100.0	2.2	100.0	1.7	100.0	1.7	100.0	2.4	100.0	2.2

〔「気象統計情報」(気象庁ホームページ, 閲覧: 2026 年 3 月) より〕



〔過去の気象データ・ダウンロード〕(気象庁 HP, 閲覧: 2026 年 3 月) より〕

図 3-1-1-3 市浦地域気象観測所の風配図 (2025 年)

(2) 大気質の状況

事業実施想定区域に最も近い青森県の一般環境大気測定局は、南方向に 25km ほど離れた五所川原第三中学校測定局であり、窒素酸化物、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質について測定が行われている。五所川原第三中学校測定局における過去 5 年間の測定結果を表 3-1-1-3(1)～(4)に、位置を図 3-1-1-4 に、それぞれ示す。

二酸化窒素は過去 5 年間の全ての年度で環境基準に適合している。

浮遊粒子状物質については、短期的評価が環境基準に適合しなかった年もあるが、長期的評価については全て環境基準に適合している。

また、微小粒子状物質については、日平均値が基準値を超えた日が 1 日認められた年度もあるが、環境基準の適合状況は短期基準に関する評価及び長期基準に関する評価のいずれも適合している。

表 3-1-1-3(1) 二酸化窒素(NO_2)濃度(令和 2 年度～令和 6 年度)(五所川原第三中学校)

年 度	年平均値	1 時間値 の最高値	1 時間値が 0.2ppm を 超 えた 時間数と その割合		1 時間値が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の時間数と その割合		日平均値が 0.06ppm を 超えた日数 とその割合		日 平 均 値 の 年 間 98% 値	98% 値 評 価 に よ る 日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数	環 境 基 準 の 適 (○)、 否(×)
	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	ppm	日	-
2020 年	0.003	0.043	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.012	0	○
2021 年	0.003	0.036	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.010	0	○
2022 年	0.003	0.034	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.008	0	○
2023 年	0.003	0.030	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.007	0	○
2024 年	0.003	0.040	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.009	0	○

注 1) 「98%値評価による日平均値 0.06ppm を超えた日数」とは、1 年間の日平均値のうち低い方から 98%の範囲にあって、かつ、0.06ppm を超えたものの日数である。

注 2) 環境基準の適(○)は、日平均値の年間 98%値が 0.06ppm 以下である場合

出典：環境白書(令和 3 年版～令和 7 年版 青森県)

表 3-1-1-3(2) 一酸化窒素(NO)濃度及び窒素酸化物($\text{NO}+\text{NO}_2$)濃度(令和 2 年度～令和 6 年度)
(五所川原第三中学校)

一酸化窒素(NO)				窒素酸化物($\text{NO}+\text{NO}_2$)			
年 度	年平均値	1 時間値の 最高値	日平均値 の年間 98%値	年平均値	1 時間値の 最高値	日平均値の 年間 98%値	年平均値 $\frac{\text{NO}_2}{\text{NO}+\text{NO}_2}$
	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	%
2020 年	0.000	0.021	0.001	0.003	0.049	0.013	93.4
2021 年	0.000	0.031	0.002	0.003	0.067	0.011	89.8
2022 年	0.000	0.024	0.001	0.003	0.058	0.009	94.9
2023 年	0.000	0.013	0.001	0.003	0.037	0.008	93.7
2024 年	0.000	0.014	0.002	0.003	0.050	0.011	90.1

出典：環境白書(令和 3 年版～令和 7 年版 青森県)

表 3-1-1-3(3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 濃度 (令和 2 年度～令和 6 年度) (五所川原第三中学校)

年 度	年平均値	1 時間値が 0.20mg/m ³ を超えた 時間数	日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた 日 数	1 時間値 の最高値	日平均値 の 2%除外 値	日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日 が 2 日以上 連続したこ との有無	環境基準 の長期的 評価によ る日平均 値が 0.10 mg/m ³ を超 えた日数	環境基準 適合状況	
	mg/m ³	時間	日	mg/m ³	mg/m ³	有×・無○	日	短期的 評価	長期的 評 価
2020 年	0.012	0	0	0.168	0.032	○	0	○	○
2021 年	0.013	0	0	0.121	0.029	○	0	○	○
2022 年	0.016	2	0	0.228	0.038	○	0	×	○
2023 年	0.017	0	0	0.177	0.038	○	0	○	○
2024 年	0.016	0	0	0.086	0.035	○	0	○	○

注 1) 「環境基準の長期的評価による日平均値が 0.10mg/m³を超えた日数」とは、日平均値の高い方から 2%の範囲の日平均値を除外した後の日平均値のうち 0.10mg/m³を超えた日数である。ただし、日平均値が 0.10mg/m³を超えた日が 2 日以上連続した延日数のうち、2%除外該当に入っている日数分については除外しない。

注 2) 短期的評価による適 (○) は、すべての有効測定日 (欠測が 4 時間以内であること。) において 1 日平均値が 0.10 mg/m³以下であり、かつ、すべての測定時間において 1 時間値が 0.20 mg/m³以下である場合

注 3) 長期的評価による適 (○) は、1 日平均値の上位 2%除外値が 0.10 mg/m³以下であり、かつ、年間を通じて 1 日平均値が 0.10 mg/m³を超える日が 2 日以上連続しない場合

出典：環境白書(令和 3 年版～令和 7 年版 青森県)

表 3-1-1-3(4) 微小粒子状物質濃度 (令和 2 年度～令和 6 年度) (五所川原第三中学校)

年 度	年平均値	日平均値の 年間 98%値	日平均値が 35 μg/m ³ を 超えた日数	日平均値が 35 μg/m ³ を 超えた日数 の割合	環境基準 適合状況	
	μg/m ³	μg/m ³	日	%	短期基準に 関する評価	長期基準に 関する評価
2020 年	8.6	23.8	0	0.0	○	○
2021 年	7.3	17.5	0	0.0	○	○
2022 年	7.5	20.6	0	0.0	○	○
2023 年	7.4	20.6	1	0.3	○	○
2024 年	7.1	18.8	0	0.0	○	○

注) 環境基準は「1 年平均値が 15 μg/m³以下であり、かつ、1 日平均値が 35 μg/m³以下であること。」と定められている。短期基準に関する評価は日平均値の年間 98%値について評価、長期基準に関する評価は、測定結果の 1 年平均値について評価する。

出典：環境白書(令和 3 年版～令和 7 年版 青森県)

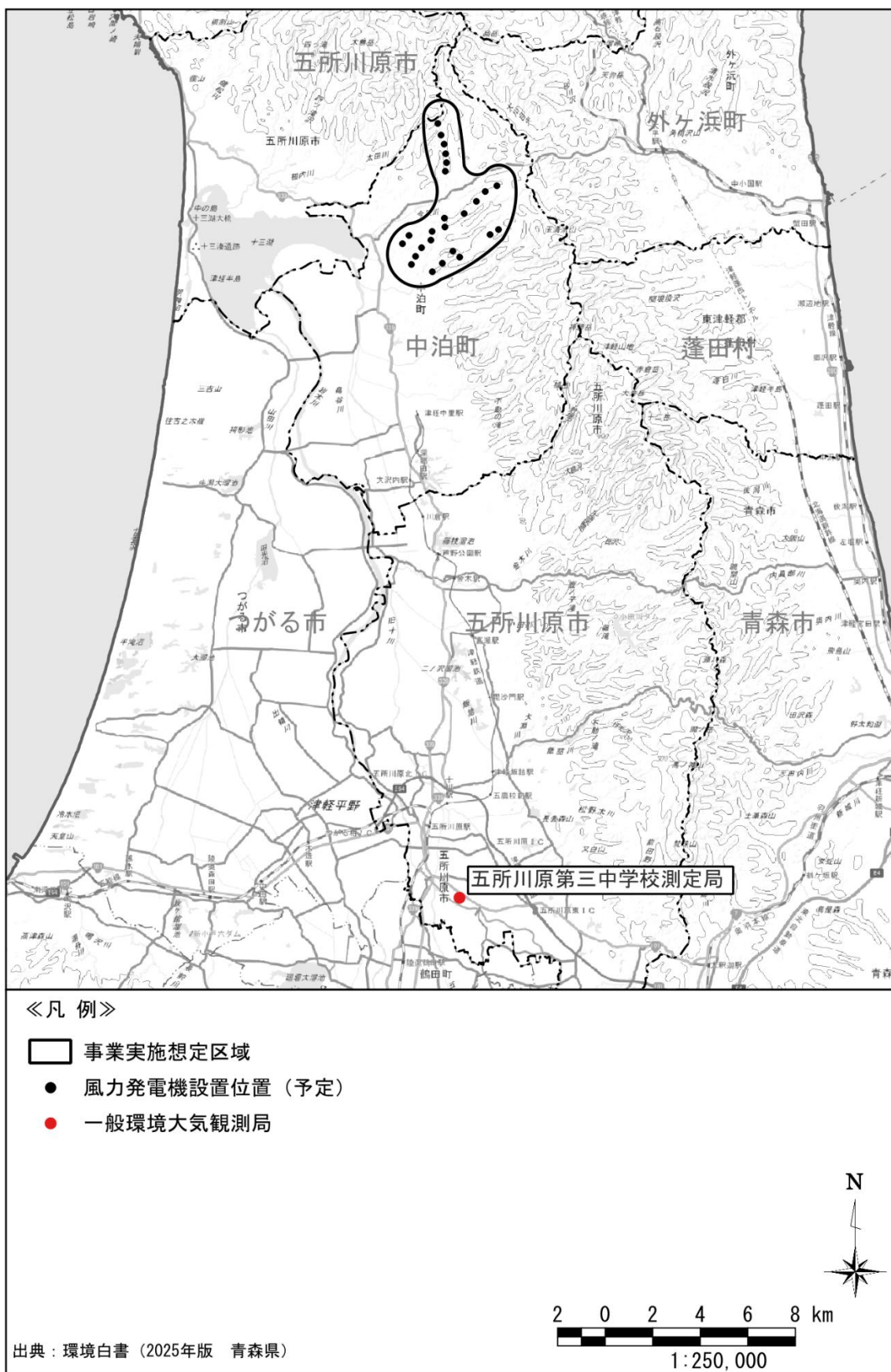


図 3-1-1-4 一般環境大気測定局位置

(3) 騒音・振動の状況

青森県では自動車騒音の常時監視が行われている。事業実施想定区域が位置する中泊町では監視地点は設定されていないが、近隣の五所川原市では毎年調査が行われている。

令和 2 年度から令和 6 年度までに五所川原市内で実施された自動車騒音の測定結果を表 3-1-1-4 に、測定地点位置を図 3-1-1-5 にそれぞれ示す。

過去 5 年間の調査では、全ての監視地点で評価対象における環境基準を概ね達成している。

表 3-1-1-4 自動車騒音の常時監視結果

測定 年度	図対応 番号	路線名	測点名	環境 基準 類型	測定結果 (dB)		評価対象戸数 (戸) と環境基準の 達成状況 (%)
					昼間	夜間	
2020 年	①	松野木姥菰線	大字姥菰	B	62	52	38 (97%)
	②	沖飯詰五所川原線	字末広町	A	64	55	280 (100%)
	③	下平井町姥菰線	中央五丁目	B	66	57	537 (100%)
2021 年	④	一般国道 339 号線	字布屋町	C	63	54	565 (100%)
	⑤	蒔田五所川原線	字芭蕉	A	48	38	261 (100%)
	⑥	五所川原停車場線	字大町	C	59	49	43 (100%)
2022 年	⑦	一般国道 101 号-1	大字姥菰	C	70	62	223 (99%)
	⑧	一般国道 101 号-2	字田町	C	64	57	309 (100%)
	⑨	一般国道 339 号バイパス	大字姥菰	C	69	59	40 (100%)
2023 年	⑩	一般国道 339 号-1	大字湊字千鳥	B	61	51	69 (100%)
	⑪	蒔田五所川原線-2	字柏原町	C	58	50	49 (100%)
2024 年	⑫	一般国道 339 号	字幾世森	A	55	45	38 (100%)
	⑬	妙堂崎五所川原線	字蓮沼	A	65	57	130 (100%)
	⑭	福山五所川原線	中央一丁目	B	63	56	118 (100%)

出典：環境白書(令和 3 年版～令和 7 年版 青森県)

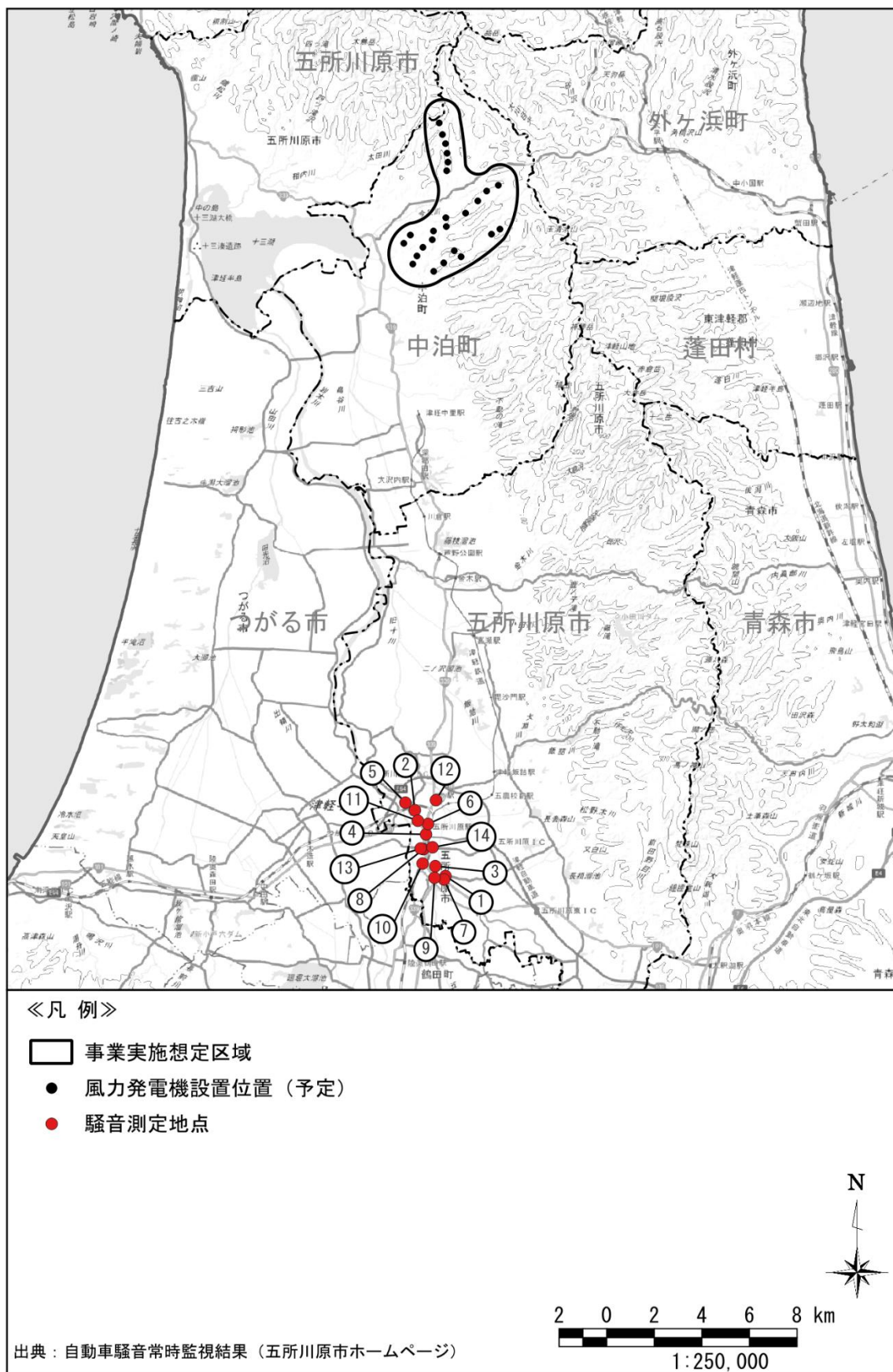


図 3-1-1-5 自動車騒音測定地点

3-1-2 水環境の状況

(1) 水象の状況

事業実施想定区域の南西側を流れる岩木川は、青森・秋田県境の白神山地にある雁森岳に発し、津軽平野を貫流して十三湖に至り日本海に注ぐ一級河川であり、多くの支川が岩木川本川に流入している。

事業実施想定区域及びその周辺の河川名一覧を表 3-1-2-1 に、河川位置を図 3-1-2-1 にそれぞれ示す。事業実施想定区域は、一級河川（岩木川水系）の今泉川、昆布掛川及び薄市川の流域に含まれている

表 3-1-2-1 河川名一覧

水 系	河川名	幹川名	支派川 次 数	区間延長 (m)
岩木川	岩木川(十三湖を含む)	岩木川	幹川	110,401.30
	相内川	岩木川	1	8,950.00
	山王川	相内川	2	2,700.00
	桂川	相内川	2	3,000.00
	山田川(田光川を含む)	岩木川	1	32,270.40
	今泉川	岩木川	1	6,000.00
	昆布掛川	岩木川	1	1,200.00
	鳥谷川	岩木川	1	15,709.00
	薄市川	岩木川	1	4,500.00
	尾別川	鳥谷川	2	4,700.00
	中里川	鳥谷川	3	1,000.00
	宮野沢川	鳥谷川	2	6,500.00

出典：岩木川水系河川整備計画（2007 年 12 月 青森県）
 青森県県土整備部河川砂防課「河川調書 平成 17 年度版」

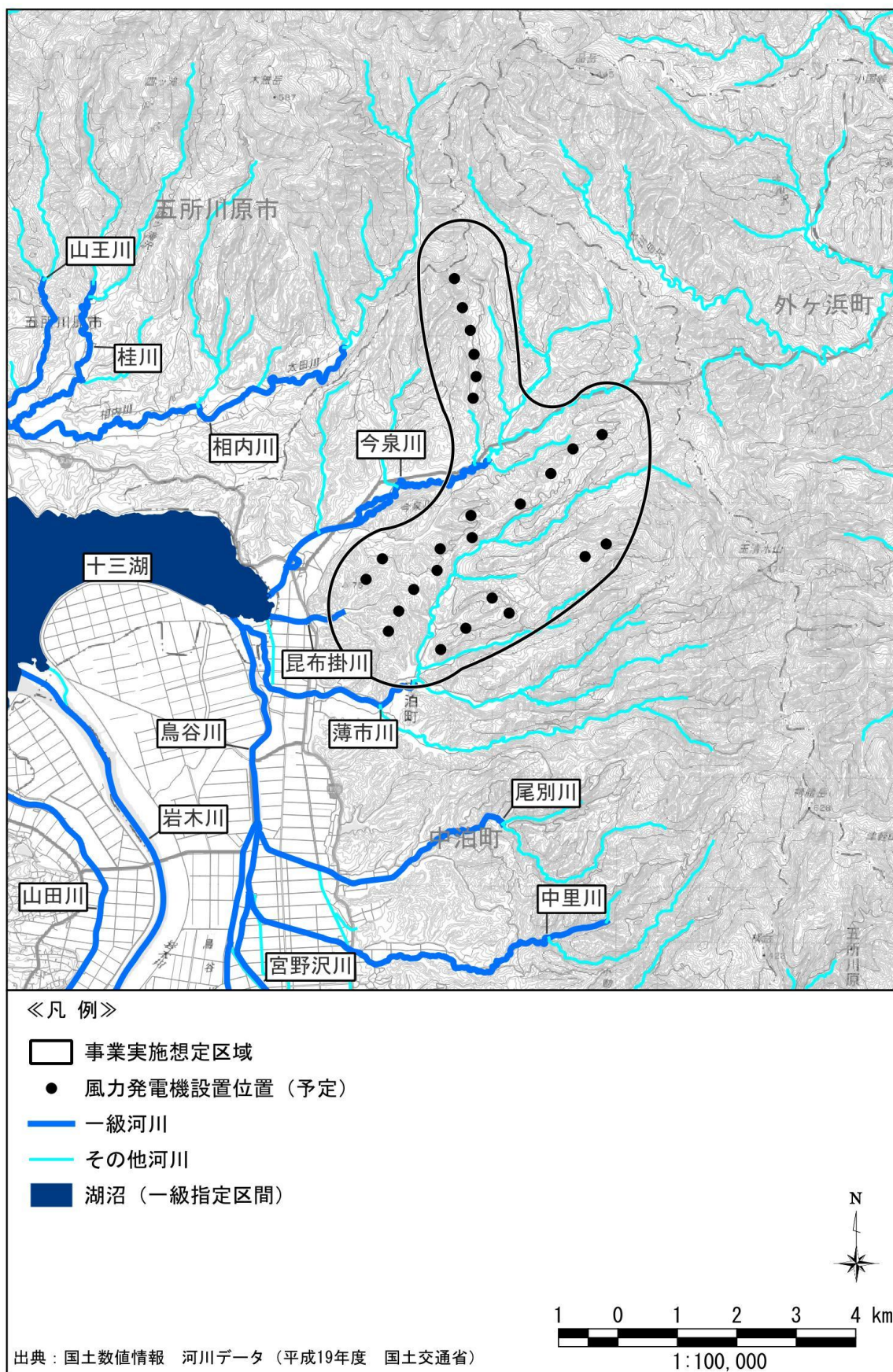


図 3-1-2-1 河川位置

(2) 水質の状況

青森県では公共用水域水質調査が行われており、事業実施想定区域及びその周辺では、岩木川下流の津軽大橋、十三湖中央、十三湖山田川河口、十三湖鳥谷川河口、山田川の車力橋の計 5 箇所水質調査が行われている。なお、これらの河川はそれぞれ環境基準の類型指定がなされており、岩木川下流は B 類型に、山田川は A 類型に、それぞれ指定されている。

公共用水域水質調査地点一覧を表 3-1-2-2 に、公共用水域水質調査地点位置を図 3-1-2-2 にそれぞれ示す。

表 3-1-2-2 公共用水域水質調査地点一覧

水 域 名	地 点 名	類 型
岩 木 川 下 流	津 軽 大 橋	B
	十 三 湖 中 央	B
	十 三 湖 山 田 川 河 口	B
	十 三 湖 鳥 谷 川 河 口	B
山 田 川	車 力 橋	A

出典：公共用水域及び地下水の水質測定結果(令和 5 年度 青森県)

1) 津軽大橋

津軽大橋における令和5年度の公共用水域水質測定結果を表3-1-2-3～表3-1-2-4にそれぞれ示す。

生活環境項目は日間平均値において環境基準を達成、健康項目は年間平均値において環境基準を達成している。

表 3-1-2-3 公共用水域水質測定結果(津軽大橋・生活環境項目)

水域名			岩木川下流					参考：環境基準 (河川B類型/ 生物A)
測定地点名			津軽大橋					
環境基準の類型区分			B/生物A					
測定項目		単位	測定結果			m	n	
			最小値	最大値	日間 平均値			
一般	水素イオン(pH)	－	7.1	7.5	－	0	12	6.5以上8.5以下
	溶存酸素量(DO)	mg/L	8.0	13	10	0	12	5mg/L以上
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	<0.5	3.2	1.7	1	12	3mg/L以下
	浮遊物質(SS)	mg/L	3	59	19	3	12	25mg/L以下
	大腸菌数	CFU/ 100mL	6	790	230	0	12	1,000CFU/100mL以下
水生	全亜鉛	mg/L	0.005	0.013	0.009	0	4	0.03mg/L以下
生物	ノニルフェノール	mg/L	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0	4	0.001mg/L以下
保全	LAS	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0	4	0.03mg/L以下

注1) 「<」は、定量下限値未満であることを示す。

注2) 「m」は環境基準を超える検体数、「n」は総検体数を示す。

注3) 環境基準の基準値は、日間平均値とする。

出典：公共用水域及び地下水の水質測定結果(令和5年度 青森県)

表 3-1-2-4 公共用水域水質測定結果(津軽大橋・健康項目)

水域名	岩木川下流			環境基準
測定地点名	津軽大橋			
測定項目	年平均値(mg/L)	m	n	
カドミウム	<0.0003	0	2	0.003 mg/L 以下
全シアン	<0.1	0	2	検出されないこと
鉛	0.004	0	2	0.01 mg/L 以下
六価クロム	<0.02	0	2	0.02 mg/L 以下
砒素	0.001	0	2	0.01 mg/L 以下
総水銀	<0.0005	0	2	0.0005 mg/L 以下
P C B	<0.0005	0	1	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.001	0	1	0.02 mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0001	0	1	0.002 mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0001	0	1	0.004 mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	0	1	0.1 mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.001	0	1	0.04 mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	0	1	1 mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0001	0	1	0.006 mg/L 以下
トリクロロエチレン	<0.001	0	1	0.01 mg/L 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	0	1	0.01 mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0001	0	1	0.002 mg/L 以下
チウラム	<0.0006	0	1	0.006 mg/L 以下
シマジン	<0.0003	0	1	0.003 mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.002	0	1	0.02 mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	0	1	0.01 mg/L 以下
セレン	<0.002	0	1	0.01 mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.17	0	1	10 mg/L 以下
ふっ素	0.24	0	1	0.8 mg/L 以下
ほう素	0.03	0	1	1 mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	0	1	0.05 mg/L 以下

注1)「<」は、定量下限値未満であることを示す。

注2)「m」は環境基準を超える検体数、「n」は総検体数を示す。

注3)「検出されないこと」とは、定められた方法で測定した場合において、その結果が定量限界を下回ることをいう。

出典：公共用水域及び地下水の水質測定結果(令和5年度 青森県)

2) 十三湖 中央

十三湖中央における令和5年度の公共用水域水質測定結果を表3-1-2-5～表3-1-2-6にそれぞれ示す。

生活環境項目は日間平均値において環境基準を達成、健康項目は年間平均値において環境基準を達成している。

表 3-1-2-5 公共用水域水質測定結果(十三湖 中央・生活環境項目)

水域名			岩木川下流					参考：環境基準 (河川B類型/ 生物A)
測定地点名			十三湖 中央					
環境基準の類型区分			B/生物A					
測定項目		単位	測定結果			m	n	
			最小値	最大値	日間 平均値			
一般	水素イオン(pH)	－	7.2	7.9	－	0	4	6.5以上8.5以下
	溶存酸素量(DO)	mg/L	8.7	11	9.6	0	4	5mg/L以上
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	<0.5	2.4	1.2	0	4	3mg/L以下
	浮遊物質(SS)	mg/L	9	24	16	0	4	25mg/L以下
	大腸菌数	CFU/ 100mL	<1	150	62	0	4	1,000CFU/100mL以下
水生	全亜鉛	mg/L	0.007	0.007	0.007	0	1	0.03mg/L以下
生物	ノニルフェノール	mg/L	－	－	－	－	－	0.001mg/L以下
保全	LAS	mg/L	－	－	－	－	－	0.03mg/L以下

注1) 「<」は、定量下限値未満であることを示す。

注2) 「m」は環境基準を超える検体数、「n」は総検体数を示す。

注3) 「-」は出典に記載がないことを示す。

注4) 環境基準の基準値は、日間平均値とする。

出典：公共用水域及び地下水の水質測定結果(令和5年度 青森県)

表 3-1-2-6 公共用水域水質測定結果(十三湖 中央・健康項目)

水域名	岩木川下流			環境基準
測定地点名	十三湖 中央			
測定項目	年平均値(mg/L)	m	n	
カドミウム	<0.0003	0	1	0.003 mg/L 以下
全シアン	<0.1	0	1	検出されないこと
鉛	<0.002	0	1	0.01 mg/L 以下
六価クロム	<0.02	0	1	0.02 mg/L 以下
砒素	0.002	0	1	0.01 mg/L 以下
総水銀	<0.0005	0	1	0.0005 mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	<0.02	0	1	10 mg/L 以下

注1) 「<」は、定量下限値未満であることを示す。

注2) 「m」は環境基準を超える検体数、「n」は総検体数を示す。

注3) 「検出されないこと」とは、定められた方法で測定した場合において、その結果が定量限界を下回ることをいう。

出典：公共用水域及び地下水の水質測定結果(令和5年度 青森県)

3) 十三湖 山田川河口

十三湖山田川河口における令和 5 年度の公共用水域水質測定結果を表 3-1-2-7 に示す。

生活環境項目は、いずれも日間平均値は環境基準を達成している。

なお、十三湖山田川河口では水生生物保全項目及び健康項目の水質測定は行われていない。

表 3-1-2-7 公共用水域水質測定結果(十三湖 山田川河口・生活環境項目)

水域名			岩木川下流					参考：環境基準 (河川B類型/ 生物A)
測定地点名			十三湖 山田川河口					
環境基準の類型区分			B					
測定項目		単位	測定結果			m	n	
			最小値	最大値	日間 平均値			
一般	水素イオン(pH)	－	7.3	7.7	－	0	4	6.5以上8.5以下
	溶存酸素量(DO)	mg/L	8.7	11	9.4	0	4	5mg/L以上
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.5	2.6	1.3	0	4	3mg/L以下
	浮遊物質(SS)	mg/L	12	34	24	2	4	25mg/L以下
	大腸菌数	CFU/ 100mL	1	450	120	0	4	1,000CFU/100mL以下

注1) 「<」は、定量下限値未満であることを示す。

注2) 「m」は環境基準を超える検体数、「n」は総検体数を示す。

注3) 環境基準の基準値は、日間平均値とする。

出典：公共用水域及び地下水の水質測定結果(令和5年度 青森県)

4) 十三湖 鳥谷川河口

十三湖鳥谷川河口における令和 5 年度の公共用水域水質測定結果を表 3-1-2-8 に示す。

生活環境項目は、いずれも日間平均値は環境基準を達成している。

なお、十三湖鳥谷川河口では水生生物保全項目及び健康項目の水質測定は行われていない。

表 3-1-2-8 公共用水域水質測定結果(十三湖 鳥谷川河口・生活環境項目)

水域名			岩木川下流					参考：環境基準 (河川B類型/ 生物A)
測定地点名			十三湖　鳥谷川河口					
環境基準の類型区分			B					
測定項目		単位	測定結果			m	n	
			最小値	最大値	日間 平均値			
一般	水素イオン(pH)	－	7.3	7.7	－	0	4	6.5以上8.5以下
	溶存酸素量(DO)	mg/L	7.5	10	8.5	0	4	5mg/L以上
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	<0.5	2.2	1.1	0	4	3mg/L以下
	浮遊物質(SS)	mg/L	4	73	24	1	4	25mg/L以下
	大腸菌数	CFU/ 100mL	<1	36	15	0	4	1,000CFU/100mL以下

注1) 「<」は、定量下限値未満であることを示す。

注2) 「m」は環境基準を超える検体数、「n」は総検体数を示す。

注3) 環境基準の基準値は、日間平均値とする。

出典：公共用水域及び地下水の水質測定結果(令和5年度 青森県)

5) 車力橋

車力橋における令和5年度の公共用水域水質測定結果を表3-1-2-9～表3-1-2-10にそれぞれ示す。

生活環境項目のうち、水素イオン濃度(pH)、溶存酸素量(DO)、浮遊物質(SS)及び大腸菌数の日間平均値は環境基準を達成している。一方、生物化学的酸素要求量(BOD)については、環境基準を達成していない。

健康項目は一部の項目で水質測定が行われており、環境基準を達成している。

表 3-1-2-9 公共用水域水質測定結果(車力橋・生活環境項目)

水域名			山田川					参考：環境基準 (河川A類型/ 生物A)
測定地点名			車力橋					
環境基準の類型区分			A/生物A					
測定項目		単位	測定結果			m	n	
			最小値	最大値	日間 平均値			
一般	水素イオン(pH)	－	7.0	7.7	－	0	6	6.5以上8.5以下
	溶存酸素量(DO)	mg/L	7.9	13	10	0	6	7.5mg/L以上
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	1.3	4.7	2.6	4	6	2mg/L以下
	浮遊物質(SS)	mg/L	7	32	17	1	6	25mg/L以下
	大腸菌数	CFU/ 100mL	32	560	180	2	6	300CFU/100mL以下
水生	全亜鉛	mg/L	0.006	0.006	0.006	0	1	0.03mg/L以下
生物	ノニルフェノール	mg/L	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0	1	0.001mg/L以下
保全	LAS	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0	1	0.03mg/L以下

注1) 「<」は、定量下限値未満であることを示す。

注2) 「m」は環境基準を超える検体数、「n」は総検体数を示す。

注3) 「-」は出典に記載がないことを示す。

注4) 環境基準の基準値は、日間平均値とする。

出典：公共用水域及び地下水の水質測定結果(令和5年度 青森県)

表 3-1-2-10 公共用水域水質測定結果(車力橋・健康項目)

水域名	山田川			環境基準
測定地点名	車力橋			
測定項目	年平均値 (mg/L)	m	n	
硝酸性窒素	0.61	－	6	－
亜硝酸性窒素	0.010	－	6	－
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.61	0	6	10mg/L 以下

注) 「m」は環境基準を超える検体数、「n」は総検体数を示す。

出典：公共用水域及び地下水の水質測定結果(令和5年度 青森県)

3-1-3 土壌及び地盤の状況

(1) 土壌の状況

事業実施想定区域及びその周辺の土壌分類を図 3-1-3-1 に示す。

事業実施想定区域の土壌は、乾性褐色森林土壌が大部分を占めており、部分的に褐色森林土壌、乾性ポドゾル化土壌、細粒グライ土壌が分布している。

事業実施想定区域より西側の十三湖及び岩木川周辺には粗粒グライ土壌や低位泥炭土壌など低地・平坦地に分布する土壌が分布している。一方、それ以外の区域では、褐色森林土壌、乾性褐色森林土壌、乾性ポドゾル化土壌、湿性褐色森林土壌など、山地・丘陵地及び台地に分布する土壌が分布している。

(2) 地盤の状況

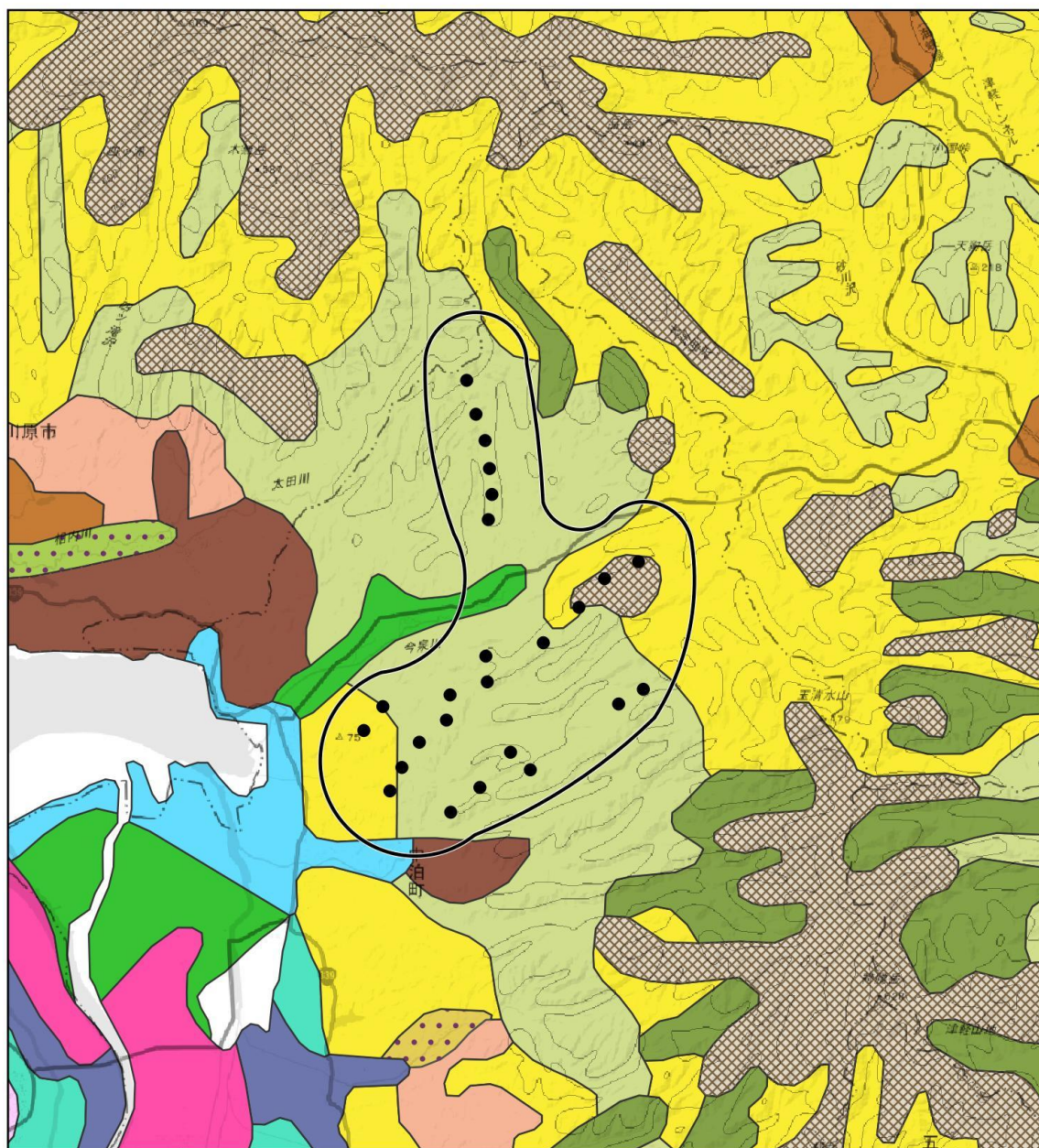
青森県において地下水位の低下及び地盤沈下に係る調査を実施している地区は、青森地区、八戸地区及び弘前地区の 3 地区であり、事業実施想定区域の位置する五所川原市及び中泊町では調査を実施していない。

しかし、環境省が地盤沈下に関する施策の推進のため、全国の地盤沈下の状況や地下水の利用状況等を公開しており、中泊町の南側に位置する五所川原市街と弘前市街にかかる津軽平野では、昭和 58 年度から地盤沈下対策の資料とするため、弘前市立第二中学校の校庭にある地下水位観測井（地下 180m）により、地盤沈下の目安となる地下水位を観測している。過去 10 年の計測結果は表 3-1-3-1 のとおりであり、横ばいの傾向が見られる。

表 3-1-3-1 青森県津軽平野の観測井における過去 10 年の地下水位経年変化

観測井名称		弘前観測井
観測井所在地		弘前市大字平岡町 72 (弘前市立第二中学校)
観測井標高 (T. P. m)		36. 00
ストレーナー位置 (地表面下深さ)		180m
所轄機関		弘前市
設置年度		S58
既往最低水位		36. 2m
水位 (m)	2014 年度	欠測
	2015 年度	欠測
	2016 年度	27. 39
	2017 年度	27. 83
	2018 年度	28. 26
	2019 年度	27. 68
	2020 年度	27. 19
	2021 年度	28. 10
	2022 年度	28. 40
	2023 年度	27. 26

出典：環境省 全国地盤環境情報ディレクトリ 青森県津軽平野令和 5 年度



《凡 例》

□ 事業実施想定区域

● 風力発電機設置位置 (予定)

土壌分類

砂丘未熟土壌

黒ボク土壌

淡色黒ボク土壌

褐色森林土壌

褐色森林土壌 (赤褐色系)

乾性ポドゾル化土壌

乾性褐色森林土壌

低位泥炭土壌

黒泥土壌

細粒グライ土壌

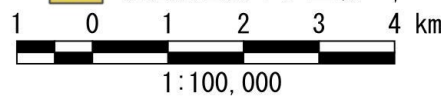
グライ土壌

粗粒グライ土壌

湿性褐色森林土壌

粗粒灰色低地土壌

粗粒淡色黒ボク土壌



出典：土地分類基本調査GISデータ 土壌分類1/20万 青森県 (国土交通省)

図 3-1-3-1 土壌分類

3-1-4 地形及び地質の状況

(1) 地形の状況

事業実施想定区域及びその周辺の地形分類を図 3-1-4-1 に示す。

事業実施想定区域の地形は、大起伏丘陵地が大部分を占めており、部分的に小起伏山地、扇状地性低地、砂礫台地(中位)、小起伏丘陵地が分布している。

事業実施想定区域の西側に位置する十三湖及び岩木川周辺には、三角州性低地が分布しており、平坦な低地地形が形成されている。これらの低地から東側に向かうにつれて、地形は次第に起伏を増し、大起伏丘陵地が分布する丘陵地形を経て、さらに小起伏山地や中起伏山地が分布する山地地形へと移行している。

(2) 地質の状況

事業実施想定区域及びその周辺の表層地質を図 3-1-4-2 に示す。

事業実施想定区域の地質は、泥岩が大部分を占め、一部に泥・砂・礫(沖積統)、泥・砂・礫(洪積統)、流紋岩が分布している。

事業実施想定区域の周辺では、西側の十三湖及び岩木川周辺において、泥・砂・礫(沖積統)が分布しており、低地の堆積環境を反映した地質がみられる。これらの低地部から東側に向かうにつれて、表層地質は泥岩・礫岩類を主体とする丘陵地から山地へと移行しており、周辺の一部には安山岩・玄武岩・石英安山岩や流紋岩などの火成岩類が分布している。

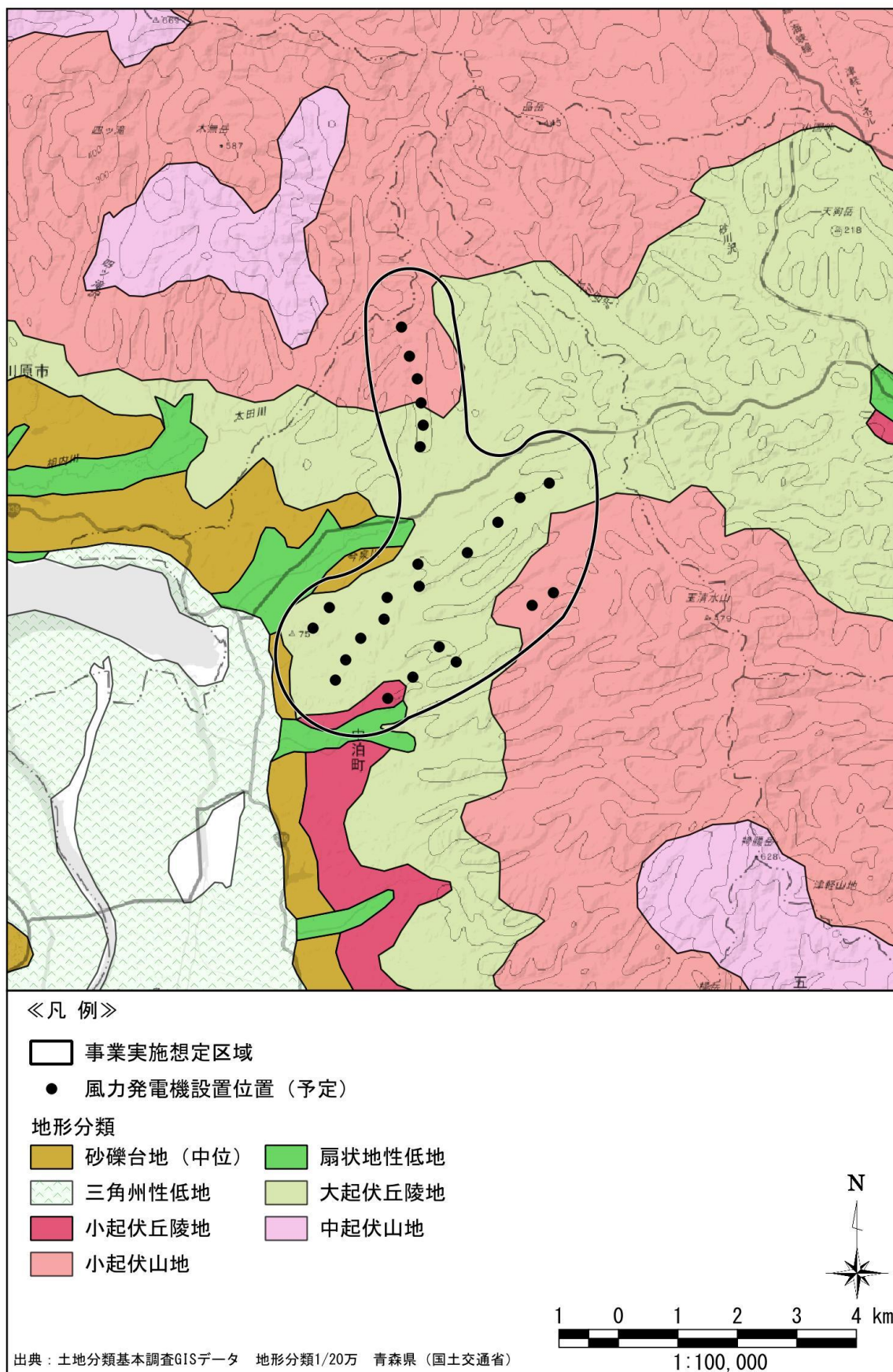


図 3-1-4-1 地形分類

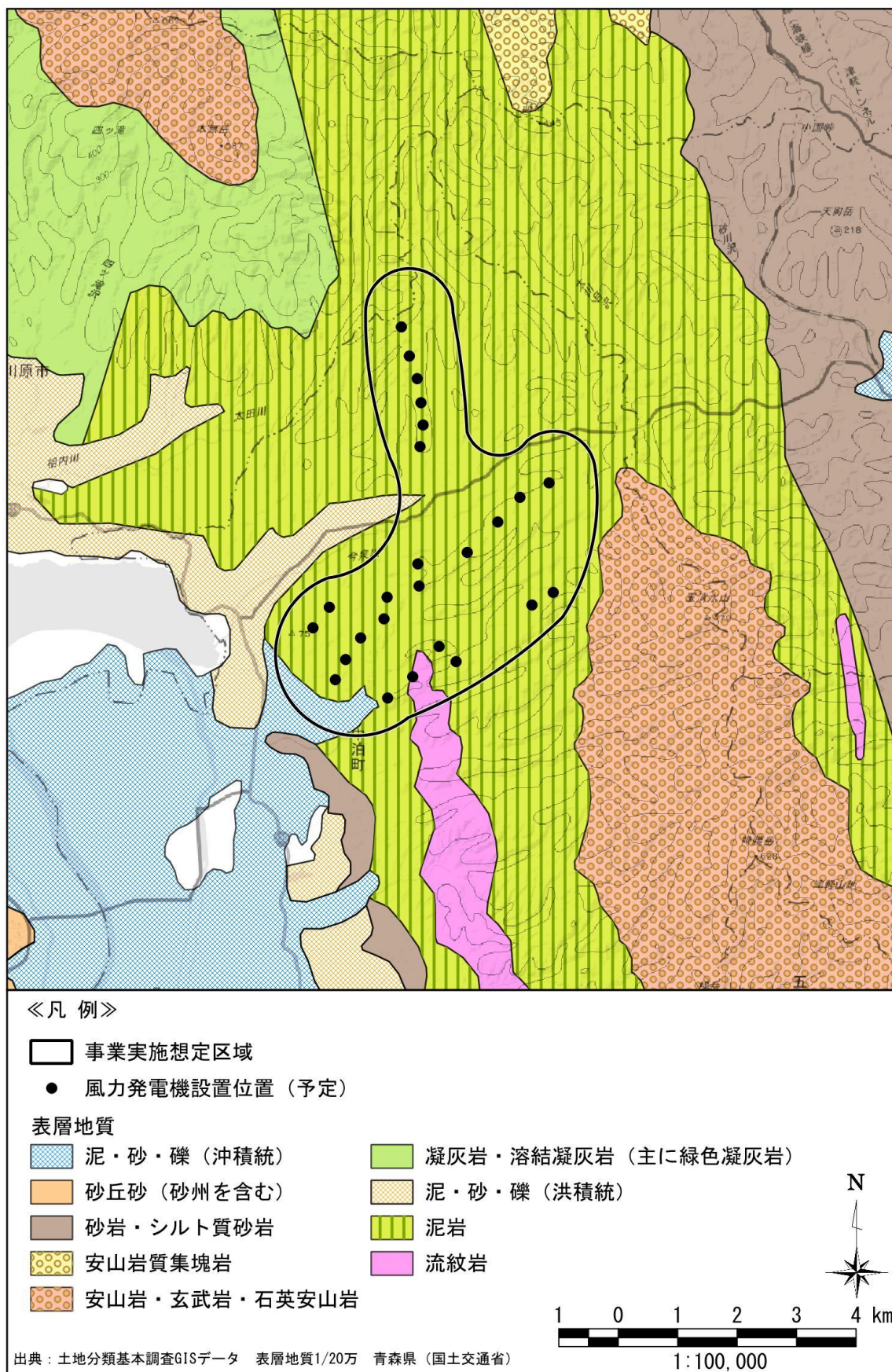


図 3-1-4-2 表層地質

(3) 重要な地形及び地質

1) 典型地形

事業実施想定区域及びその周辺の典型地形の状況を表3-1-4-1及び図3-1-4-3に示す。

事業実施想定区域周辺には「日本の典型地形」により選定された典型地形として、潟湖（ラグーン）である「十三湖」のほか、その西方に分布する砂州、七里長浜に代表される砂浜、岩木川河口部に形成された三角州が存在する。これらは、日本海沿岸における沿岸流や河川からの土砂供給等により形成された地形であり、地域の地形的特徴を示すものである。

なお、これらの典型地形はいずれも事業実施想定区域の外側に位置している。

表 3-1-4-1 典型地形

No.	名称	地形項目
1	十三湖	潟湖（ラグーン）
2	十三湖西方	砂州
3	七里長浜	砂浜
4	岩木河口部	三角州

出典：「日本の典型地形について」（国土地理院ホームページ 閲覧日：2026年5月）

2) 重要な地形

事業実施想定区域及びその周辺の重要な地形は、「日本の地形レッドデータブック第1集 新装版」（古今書院 2000年）により選定された「屏風山砂丘」がある。屏風山砂丘は、日本海沿岸に発達した海岸砂丘及び海岸段丘からなり、日本有数の縦列砂丘地帯として知られる地形である。詳細を表3-1-4-2に示す。

なお、当該地形は事業実施想定区域の外側に位置している。

表 3-1-4-2 重要な地形

No.	名称	地形の特性	選定基準※	説明
1	屏風山砂丘	海岸砂丘、海岸段丘	①②	本地域は日本有数の縦列砂丘地帯であり、後氷期における風向および風の相対的強度の変遷を解明する上で重要な情報を有している。また、その基盤を成す海岸段丘からは後期更新世の環境変遷に関する情報が得られる。なお、本地域には開発により破壊が懸念される区域が含まれている。

※：①日本の地形を代表する典型的かつ希少、貴重な地形

②①に準じ、地形学の教育上重要な地形もしくは地形学の研究の進展に伴って新たに注目すべきと考えられる地形

出典：「日本の地形レッドデータブック第1集」（古今書院 2000年）

3) 重要な地質

事業実施想定区域及びその周辺において、重要な地質は確認されなかった。

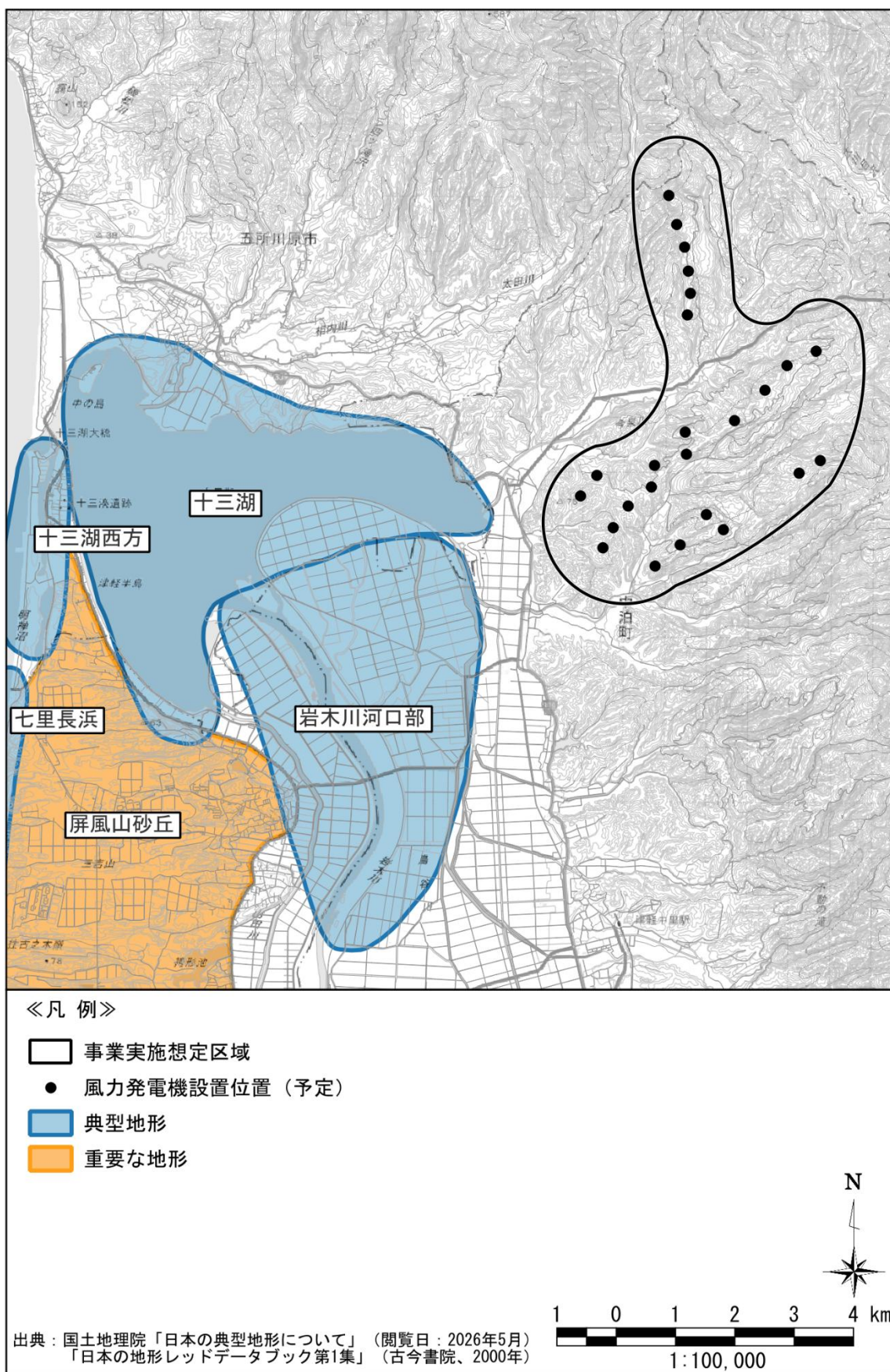


図 3-1-4-3 典型地形及び重要な地形の状況

3-1-5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

(1) 動物の生息の状況

動物の生息の状況は、事業実施想定区域及びその周囲を対象に、文献その他の資料により整理した。

また、「自然環境保全基礎調査」（生物多様性センターホームページ、閲覧：2026年5月）については、文献その他の資料等の調査範囲が含まれる2次メッシュ※を対象とした。2次メッシュで対象とした調査範囲を図3-1-5-1に示す。

※：2次メッシュとは日本全国を緯度経度でメッシュ（網目状）に細かく区画した「標準地域メッシュ」のひとつである。2次メッシュの幅は経度（東西）が7分30秒（0.125度）、緯度（南北）が5分（0.083度）であり、距離にするとおよそ10km×10kmになる。2次メッシュは1/2.5万地形図の刊行単位となっている。

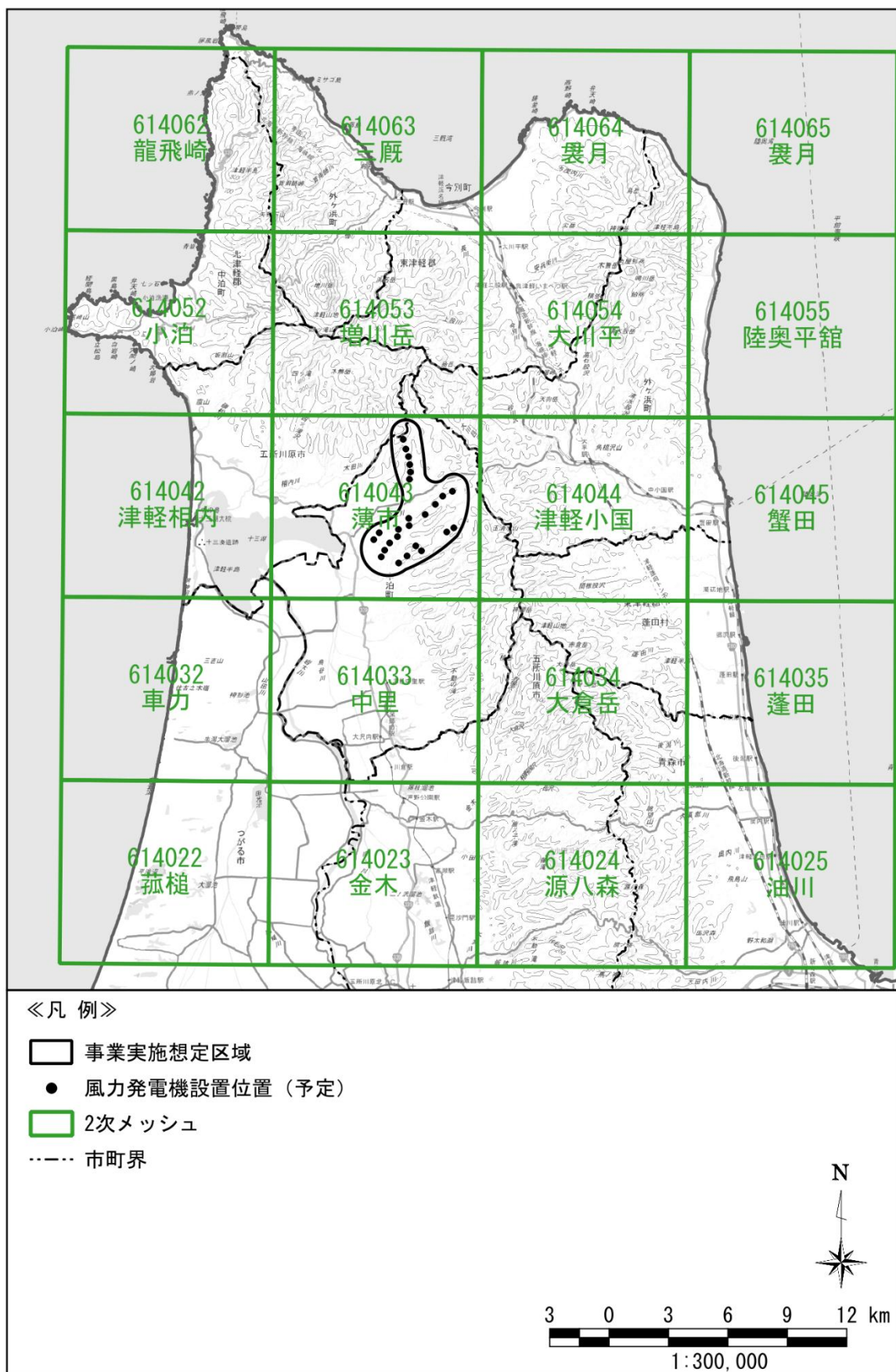


図 3-1-5-1 文献その他の資料調査範囲

1) 哺乳類

文献調査により生息の情報が得られた哺乳類は 7 目 15 科 28 種であった。文献調査における哺乳類確認種一覧を表 3-1-5-1 に示す。文献調査により確認された哺乳類 28 種のうち重要種選定基準に該当した種は、ヤマネ、カモシカ等 8 種である。

事業実施想定区域及びその周辺では、アブラコウモリ、ヤマコウモリ等が確認されているが、コウモリ洞の分布情報は無い。コウモリ分布情報は、図 3-1-5-2 に示すとおりである。環境アセスメントデータベースでの分布情報から、カモシカの分布情報を図 3-1-5-3、ツキノワグマの分布情報を図 3-1-5-4、アライグマの分布情報を図 3-1-5-5 に示す。

表 3-1-5-1 文献調査哺乳類確認種一覧

No	目 名	科 名	種 名	重要種選定基準				文献						
				I	II	III ^{注4}	IV ^{注4}	1	2	3	4	5	6	7
1	モグラ	トガリネズミ	ジネズミ								●			
2		モグラ	ヒミズ										●	
3			アズマモグラ								●		●	
-			モグラ属の一種								○			
4	コウモリ	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ (ニホンコキクガシラコウモリ)											●
5			キクガシラコウモリ											●
6		ヒナコウモリ	アブラコウモリ											●
7			ヤマコウモリ			VU	B							●
8			ヒメヒナコウモリ			DD	D							●
9			コテングコウモリ				C							●
10			モモジロコウモリ											●
-		-	コウモリ目の一種								●			
11	サル	オナガザル	ニホンザル			LP ^{※1}	LP ^{※2}	●	●			●	●	
12	ウサギ	ウサギ	ノウサギ					●				●	●	
13	ネズミ	リス	ニホンリス					●					●	
14			ニホンモモンガ				D						●	
15			ムササビ				C						●	
16		ヤマネ	ヤマネ	国天									●	
17		ネズミ	ハタネズミ								●			
18			アカネズミ								●			
19			ハツカネズミ										●	
-			ネズミ科の一種								○		○ ^{注5}	
20	ネコ	クマ	ツキノワグマ											●
21		アライグマ	アライグマ											●
22		イヌ	タヌキ					●	●	●	●	●	●	
23			キツネ					●	●	●	●	●	●	
24		イタチ	テン (ホンドテン)					●				●	●	
25			ニホンイタチ								●	●	●	
26			アナグマ						●				●	
27		ジャコウネコ	ハクビシン								●			
28	ウシ	ウシ	カモシカ	国特				●	●			●	●	
計	7 目	15 科	28 種	2 種	0 種	3 種	6 種	7 種	5 種	2 種	9 種	7 種	15 種	9 種

- 注 1：分類、配列などは「河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和 7 年度生物リストー」（河川環境データベース 国土交通省、2025 年）に準拠
- 注 2：表中の「○」は、同属の種が確認されている為、種数に計上しない
- 注 3：重要種選定基準は以下のとおり
- I：「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 法律第 214 号）
国特：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物
 - II：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）
国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種
 - III：「環境省レッドリスト 2020 の公表について」（2020 年 3 月公表 環境省）
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA 類 EN：絶滅危惧ⅠB 類 VU：絶滅危惧Ⅱ類
NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
 - IV：「青森県の希少な野生生物ー青森県レッドデータブック（2020 年改訂版）ー」（2020 年 3 月 青森県）
EX：絶滅野生生物 A：最重要希少野生生物 B：重要希少野生生物 C：希少野生生物
D：要調査野生生物 LP：地域限定希少野生生物
- 注 4：各選定基準において本表と異なる掲載名や地域個体群を限定した指定状況等は以下の通り
- ※1：北奥羽・北上山系のホンドザル
 - ※2：津軽半島のホンドザル
- 注 5：ネズミ科の一種は、文献 6 ではイエネズミ及びノネズミと記載されている。
- 出典：使用文献は以下のとおり
- 文献 1：「第 5 回自然環境保全基礎調査」（生物多様性センターホームページ）
 - 文献 2：「第 6 回自然環境保全基礎調査」（生物多様性センターホームページ）
 - 文献 3：「令和 3 年度（2021 年度）中大型哺乳類分布調査調査報告書 タヌキ・キツネ・アナグマ」（令和 4 年 環境省自然環境局生物多様性センター）
 - 文献 4：「河川水辺の国勢調査 岩木川 両生類・爬虫類・哺乳類」のうち、津軽大橋における確認種（水情報国土データ管理センターホームページ）
 - 文献 5：「市町村別鳥獣生息状況調査報告書」（平成元年 青森県自然保護課）
 - 文献 6：「中里町誌」（昭和 41 年 中里町）山添地帯の生物を抜粋
 - 文献 7：環境アセスメントデータベース 全国環境情報 コウモリ生息情報・コウモリ分布

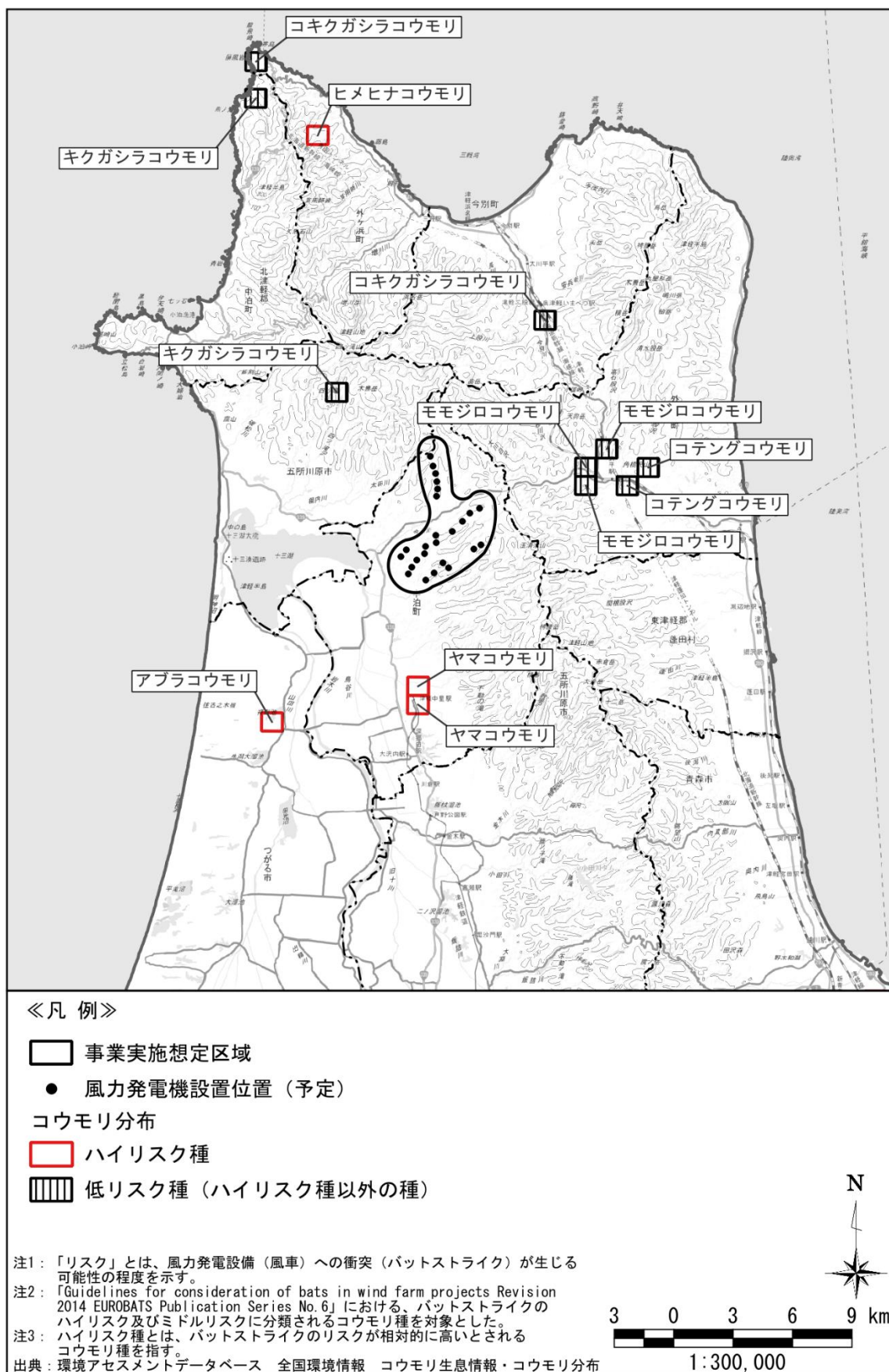


図 3-1-5-2 コウモリ分布

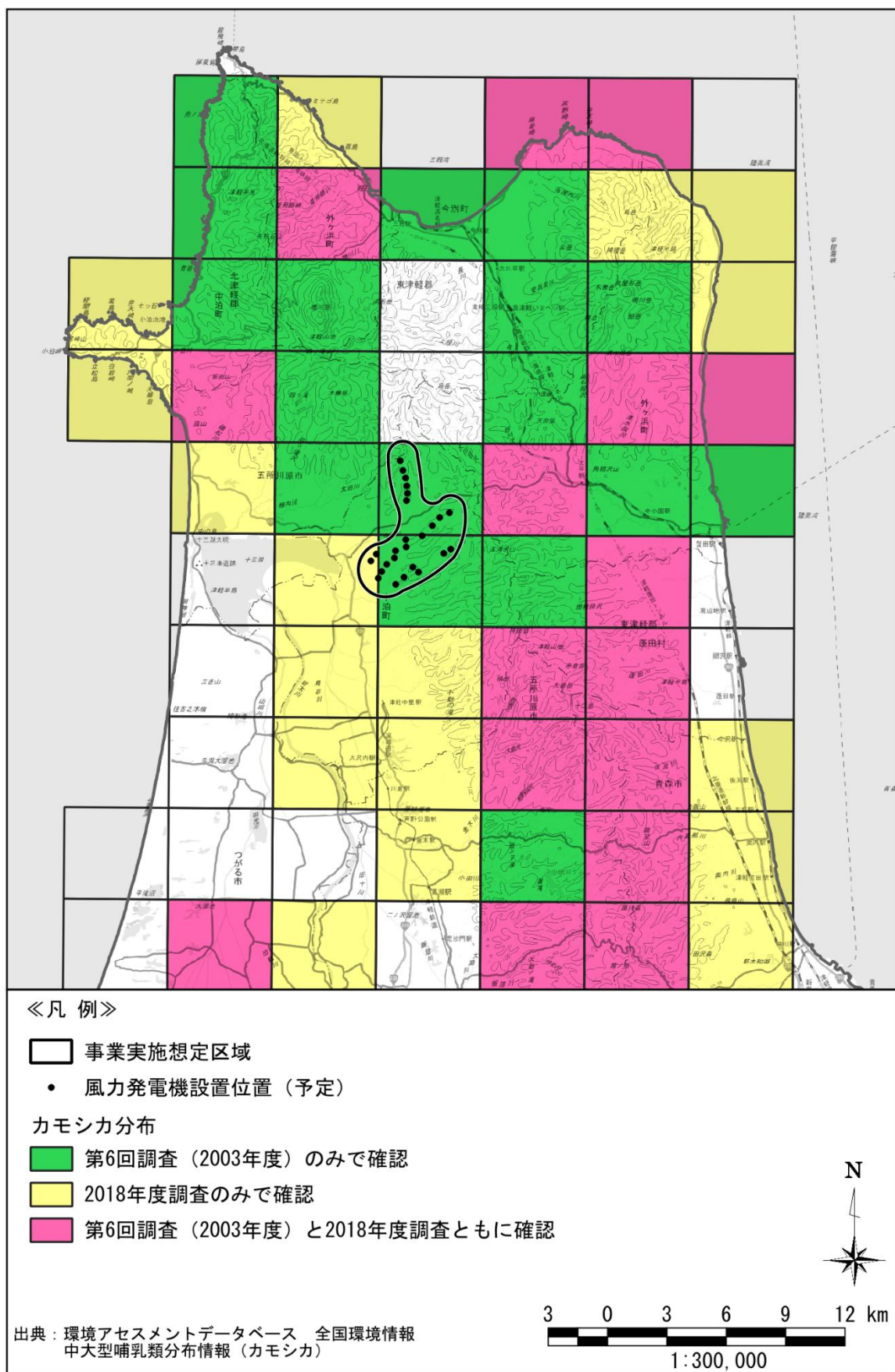


図 3-1-5-3 カモシカ分布情報

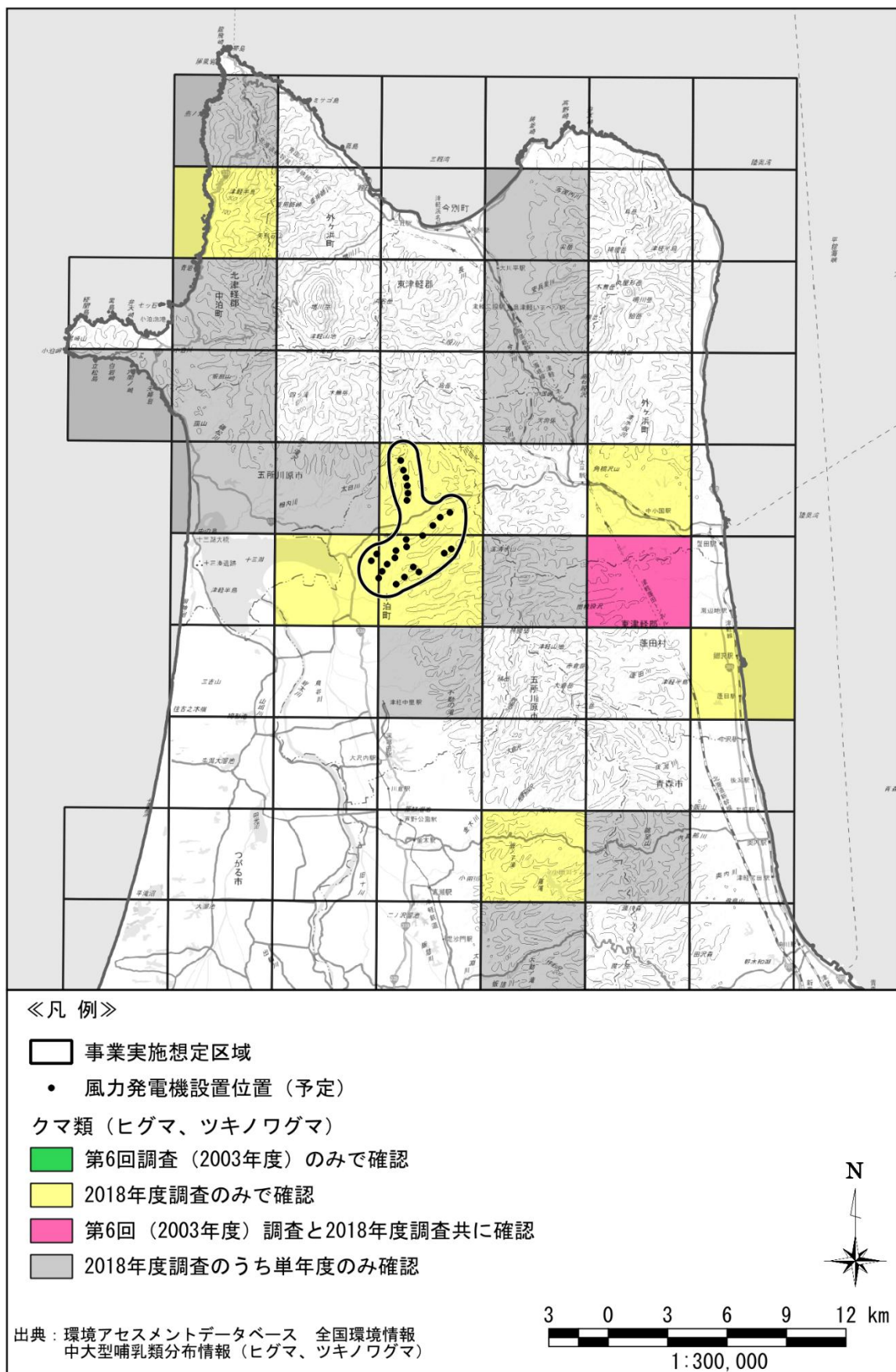


図 3-1-5-4 ツキノワグマ分布情報

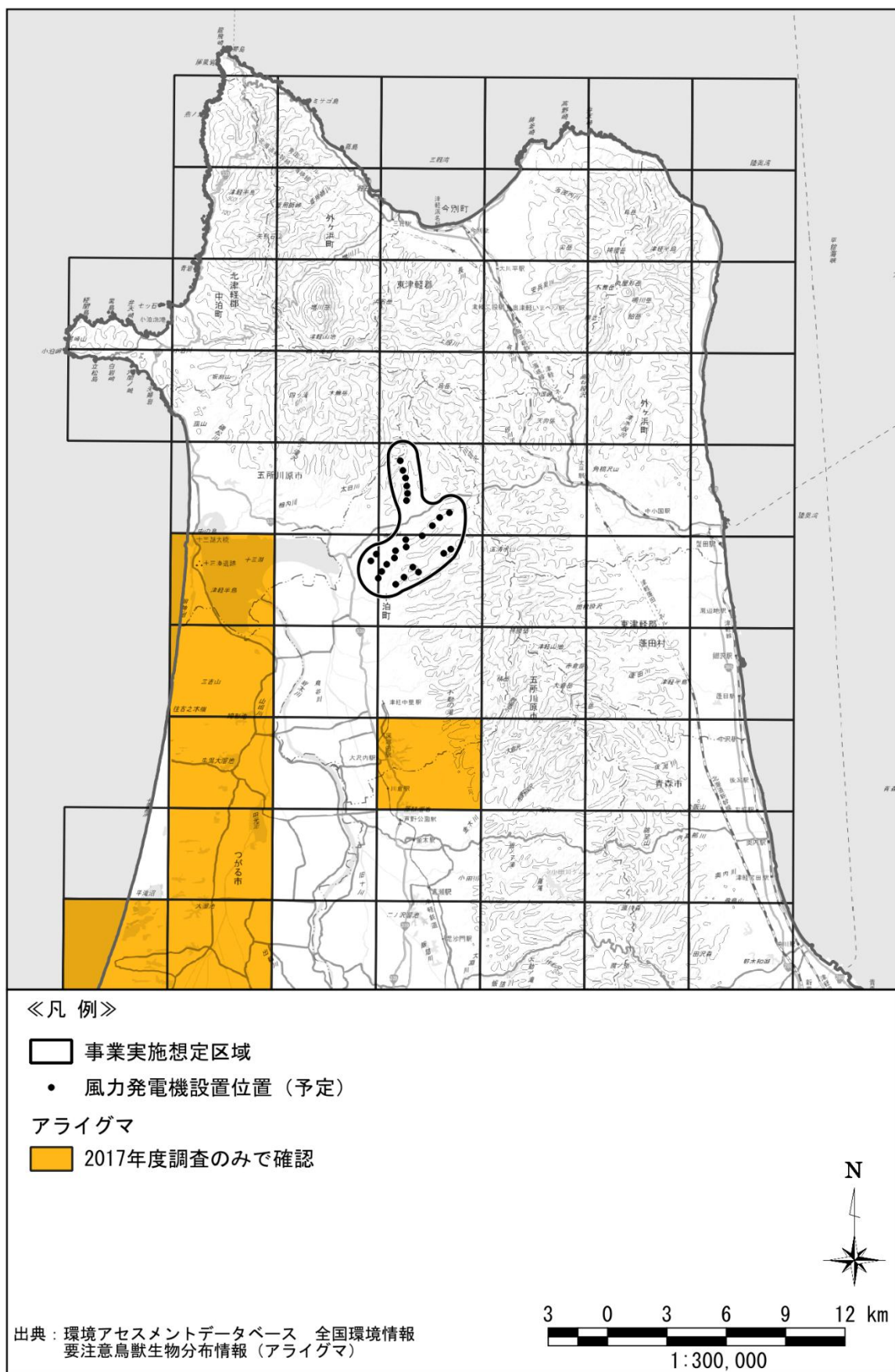


図 3-1-5-5 アライグマ分布情報

2) 鳥類

文献調査により生息の情報が得られた鳥類は 16 目 45 科 177 種であった。文献調査における鳥類確認種一覧を表 3-1-5-2(1)～(4)に示す。

文献調査により確認された鳥類のうち、重要種選定基準に該当した種は、マガン、オオヨシゴイ、クマタカ、オオセッカ等 75 種である。

「生物多様性情報システム-ガンカモ類の生息調査」(環境省ホームページ)によると、事業実施想定区域及びその周辺の調査地点は 1 地点あり、2016 年から 2025 年までの調査により、オオハクチョウ、マガモ、カルガモの 3 種が確認されている。ガンカモ類の渡来状況を表 3-1-5-3 に、ガンカモ類の生息調査地点を図 3-1-5-6 にそれぞれ示す。

猛禽類の渡り経路について、「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き」(環境省、平成 23 年、平成 27 年修正版)によるサシバ、ハチクマ及びノスリの渡り経路を図 3-1-5-7～図 3-1-5-9 に示す。

事業実施想定区域及びその周囲において、ハチクマの渡り経路(春季)、ノスリの渡り経路(春季及び秋季)となっていることが確認されている。

また、「平成 26 年度風力発電施設に係る渡り鳥・海ワシ類の情報整備委託業務報告書」(環境省自然環境局、平成 27 年 3 月)による東北地方におけるハクチョウ類・ガン類の渡りの状況を図 3-1-5-10 に示す。

事業実施想定区域及びその周囲において、ガン類・ハクチョウ類の渡り経路が確認されている。

さらに、「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き」(環境省、平成 23 年、平成 27 年修正版)によるイヌワシ、クマタカ及びオオタカの生息分布を図 3-1-5-11(1)～(3)に示す。

イヌワシ及びオオタカの生息メッシュは、事業実施想定区域及びその周囲では確認されなかった。クマタカについては、事業実施想定区域及びその周囲で、生息を確認している。

一方、「環境アセスメントデータベース 風力発電における鳥類のセンシティブティマップ」(環境省ホームページ)によれば、事業実施想定区域が位置するメッシュにおいてイヌワシの分布の情報はなかったが、クマタカの分布の情報がある。イヌワシ、クマタカの分布図を図 3-1-5-12(1)～(2)に示す。

また、「環境アセスメントデータベース 全国環境情報」(環境省ホームページ)による事業実施想定区域及びその周囲のオオワシ、オジロワシの冬季の生息分布を図 3-1-5-13～14 に示す。図では 1～10 羽のメッシュが事業実施想定区域の西側に位置しているが、具体的な個体数としてオオワシは 3 個体、オジロワシは 2～3 個体が報告されている。一方、ガン類・ハクチョウ類の主要な集結地の情報では、事業実施想定区域の周辺のメッシュでマガンの渡り期、ヒシクイの渡り期と越冬期、コハクチョウの渡り期、オオハクチョウの渡り期と越冬期の主要な集結地が確認されている。ガン類・ハクチョウ類の主要な集結地を図 3-1-5-15 に示す。

表 3-1-5-2(1) 文献調査鳥類確認種一覧

No	目 名	科 名	種 名	重要種選定基準				文献					
				I	II	III	IV	1	2	3	4	5	6
1	カモ	カモ	ヒシクイ	国天		NT	C			●			
2			マガン	国天			C			●			
3			コハクチョウ							●		●	
4			オオハクチョウ						●	●		●	
5			オシドリ							●	●		●
6			トモエガモ			DD	C			●		●	
7			シマアジ				C			●			
8			ハシビロガモ				C			●			
9			オカヨシガモ				C		●				
10			ヨシガモ				C			●			
11			ヒドリガモ							●		●	
12			カルガモ					●	●	●	●	●	
13			マガモ					●	●	●		●	●
14			オナガガモ							●		●	
15			コガモ						●	●		●	
16			ホシハジロ			NT				●		●	
17			キンクロハジロ			VU			●	●		●	
18			スズガモ			NT				●		●	
19			シノリガモ				B					●	
20			ホオジロガモ									●	
21			ミコアイサ						●			●	
22			カワアイサ						●	●		●	
23			ウミアイサ							●		●	
24	キジ	キジ	ヤマドリ				C		●	●	●		●
25			キジ							●	●		●
26			ウズラ			VU	A						●
27	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ			NT	B			●			
28	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ				C			●			
29			ホトトギス							●	●		●
30			ツツドリ							●	●		●
31			カッコウ						●	●	●		●
32	ハト	ハト	キジバト					●	●	●	●		●
33			アオバト				C	●		●	●		●
34	ツル	クイナ	クイナ				B			●			●
35			バン			VU	C	●		●	●		●
36			オオバン								●		
37			ヒクイナ			NT	A			●			
38			ヒメクイナ			DD	A			●			
39	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ					●		●	●	●	●
40			カンムリカイツブリ				C	●			●	●	
41			ハジロカイツブリ									●	
42	チドリ	チドリ	タゲリ				C			●			
43			ケリ			DD	B	●		●	●		
44			ムナグロ			VU				●			
45			ダイゼン							●			
46			イカルチドリ				B			●			
47			コチドリ							●			
48			シロチドリ			VU				●	●		
49			メダイチドリ		国際					●			
50		シギ	ヒバリシギ				C			●			
51			ヤマシギ				B			●			
52			オオジシギ			NT	B				●		
53			タシギ						●	●			

表 3-1-5-2(2) 文献調査鳥類確認種一覧

No	目 名	科 名	種 名	重要種選定基準				文献					
				I	II	III	IV	1	2	3	4	5	6
54	チドリ	シギ	アカエリヒレアシシギ							●			
55			イソシギ							●	●		
56			クサシギ						●	●			
57			タカブシギ			VU				●			
58			ツルシギ			EN				●			
59			アオアシシギ							●			
60		カモメ	ユリカモメ						●	●			
61			ウミネコ			VU			●	●	●	●	
62			カモメ							●		●	
63			ワシカモメ									●	
64			セグロカモメ						●	●		●	
65			オオセグロカモメ			EN			●	●		●	
66			コアジサシ		国際	EN	A			●			
67			アジサシ							●			
68		ウミスズメ	ウミスズメ			CR						●	
69	カツオドリ	ウ	ヒメウ			EN	D					●	
70			ウミウ						●		●	●	
71			カワウ						●		●	●	
72	ペリカン	トキ	ヘラサギ			EN				●			
73		サギ	ヨシゴイ			DD	B	●		●	●		●
74			オオヨシゴイ		国内	CR	A			●			
75			ゴイサギ			VU		●	●	●	●		
76			アマサギ			EN				●			
77			アオサギ						●	●	●		
78			ダイサギ						●	●	●	●	
79			チュウサギ			NT				●			
80			コサギ			VU				●			
81	タカ	ミサゴ	ミサゴ				B			●	●		
82		タカ	ハチクマ			DD	C			●			
83			クマタカ		国内	EN	A			●		●	
84			ツミ				B			●			
85			ハイタカ			NT	B			●	●		
86			オオタカ		国内	NT	B			●		●	
87			チュウヒ			EN	B			●	●		
88			ハイイロチュウヒ				B			●		●	
89			トビ					●	●	●	●	●	●
90			オオワシ	国天	国内	VU	B			●		●	
91			オジロワシ	国天	国内、 国際	VU	A			●		●	
92			ケアシノスリ				B			●			
93			ノスリ						●	●	●	●	●
94	フクロウ	フクロウ	コノハズク				A						●
95			フクロウ				C			●		●	●
96	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ					●	●	●	●		●
97			ヤマセミ			VU	C			●	●		
98	キツツキ	キツツキ	コゲラ					●		●	●		
99			アカゲラ					●		●	●	●	●
100			オオアカゲラ				C			●			
101			アオゲラ					●		●	●	●	●
102	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ				C			●	●	●	
103			コチョウゲンボウ				C		●	●			
104			ハヤブサ		国内	NT	B			●			●
105	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ				B			●			

表 3-1-5-2(3) 文献調査鳥類確認種一覧

No	目 名	科 名	種 名	重要種選定基準				文献					
				I	II	III	IV	1	2	3	4	5	6
106	スズメ	モズ	アカモズ		国内	CR	A	●					
107			モズ					●	●	●	●		●
108		カラス	カケス					●		●	●	●	●
109			コクマルガラス						●			●	
110			ミヤマガラス						●			●	
111			ハシボソガラス					●	●	●	●	●	●
112			ハシブトガラス					●	●	●	●	●	●
113		レンジャク	キレンジャク							●		●	
114			ヒレンジャク							●		●	
115		シジュウカラ	ヒガラ					●		●	●	●	
116			ヤマガラ					●		●	●		●
117			コガラ							●	●	●	
118			シジュウカラ					●	●	●	●	●	●
119		ヒバリ	ヒバリ					●	●	●	●		●
120		ヒヨドリ	ヒヨドリ					●		●	●	●	●
121		ツバメ	ショウドウツバメ							●			
122			ツバメ						●	●	●		
123			イワツバメ						●				
124		ウグイス	ウグイス					●		●	●		●
125			ヤブサメ					●		●	●		
126		エナガ	エナガ					●		●			
127		ムシクイ	センダイムシクイ					●		●	●		
128			エゾムシクイ					●		●	●		
129			メボソムシクイ							●			
130		ヨシキリ	オオヨシキリ					●	●	●	●		●
131			コヨシキリ			NT		●	●	●	●		
132		センニュウ	オオセッカ		国内	EN	A	●		●	●		
133		メジロ	メジロ					●	●	●	●		
134		キクイタダキ	キクイタダキ							●			
135		ミソサザイ	ミソサザイ					●		●	●	●	
136		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ							●			
137		ムクドリ	ムクドリ					●	●	●	●	●	●
138			コムクドリ							●			
139		ツグミ	トラツグミ							●			
140			マミジロ				C			●			
141			クロツグミ				C			●	●		●
142			アカハラ					●		●	●		
143			ツグミ						●	●		●	●
144		ヒタキ	エゾビタキ							●			
145			サメビタキ							●			
146			コサメビタキ							●	●		
147			オオルリ					●		●			
148			コルリ					●		●			
149			キビタキ					●		●	●		●
150			ルリビタキ										●
151			イソヒヨドリ								●	●	
152			ノビタキ						●				
153		カワガラス	カワガラス					●		●		●	
154	スズメ		ニュウナイスズメ							●			
155			スズメ					●	●	●	●	●	●
156	セキレイ		キセキレイ					●		●	●		
157			ハクセキレイ					●	●	●	●	●	●
158			セグロセキレイ				C			●		●	●

表 3-1-5-2(4) 文献調査鳥類確認種一覧

No	目 名	科 名	種 名	重要種選定基準				文献					
				I	II	III	IV	1	2	3	4	5	6
159	スズメ	セキレイ	ビンズイ			NT				●			
160			タヒバリ							●			
161		アトリ	アトリ							●		●	
162			シメ					●		●	●	●	
163			イカル							●	●		●
164			ウソ							●		●	●
165			ベニマシコ							●			
166			カワラヒワ					●	●	●	●		●
167			ベニヒワ							●			
168			イスカ				D	●					
169			マヒワ							●		●	●
170		ホオジロ	ホオジロ					●	●	●	●	●	●
171			ホオアカ					●	●	●	●		
172			カシラダカ			EN			●	●		●	
173			ミヤマホオジロ							●			
174			ノジコ			NT	C			●			
175			アオジ					●	●	●	●		
176			コジュリン			EN	B	●		●	●		
177			オオジュリン				B		●	●		●	
計	16 目	45 科	177 種	4 種	10 種	44 種	56 種	51 種	49 種	154 種	71 種	66 種	45 種

注 1：分類、配列などは「日本鳥類目録 改訂第 8 版」（令和 6 年 日本鳥学会）に準拠

注 2：重要種の選定基準は以下のとおり

I：「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 法律第 214 号）

国特：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物

II：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）

国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種

III：「第 5 次レッドリスト（鳥類及び爬虫類・両生類）の公表について」（2026 年 3 月 17 日公表 環境省）

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA 類 EN：絶滅危惧ⅠB 類 VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV：「青森県の希少な野生生物－青森県レッドデータブック（2020 年改訂版）－」（2020 年 3 月 青森県）

EX：絶滅野生生物 A：最重要希少野生生物 B：重要希少野生生物 C：希少野生生物

D：要調査野生生物 LP：地域限定希少野生生物

出典：使用文献は以下のとおり

文献 1：「第 6 回自然環境保全基礎調査」（生物多様性センターホームページ）

文献 2：「河川水辺の国勢調査 平成 10 年、平成 15 年岩木川鳥類」のうち、津軽大橋における確認種（水情報国土データ管理センターホームページ）

文献 3：「市町村別鳥獣生息状況調査報告書」（平成元年 青森県自然保護課）

文献 4：「全国鳥類繁殖分布調査報告 2016～2021」（2021 年 10 月 鳥類繁殖分布調査会）

文献 5：「全国鳥類越冬分布調査報告書 2016～2021」（2023 年 2 月 植田睦之・奴賀俊光・山崎優佑）

文献 6：「中里町誌」（昭和 41 年 中里町）山添地帯の生物を抜粋

表 3-1-5-3 ガンカモ類の渡来状況

調査地点名	市町村名	調査年度	調査日	オオハクチョウ	マガモ	カルガモ	総合計
岩木川ー 津軽大橋地点	中泊町	2016 年	1 月 8 日	300	150	0	450
		2017 年	1 月 13 日	150	0	0	150
		2018 年	1 月 13 日	0	0	0	0
		2019 年	1 月 11 日	0	0	100	100
		2020 年	1 月 10 日	0	0	0	0
		2021 年	1 月 12 日	0	0	0	0
		2022 年	1 月 14 日	0	0	0	0
		2023 年	1 月 13 日	0	0	0	0
		2024 年	1 月 12 日	0	0	0	0
		2025 年	1 月 10 日	27	0	1	28

出典：「生物多様性情報システムーガンカモ類の生息調査」（環境省 HP 閲覧日：2026 年 2 月）

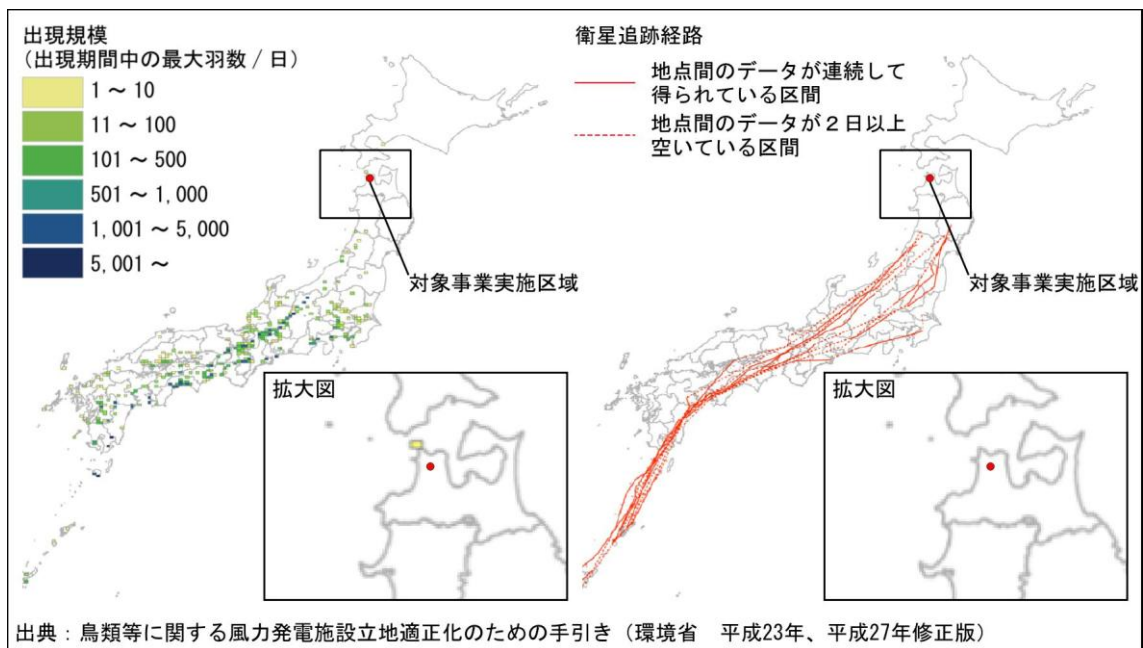


図 3-1-5-7(1) サシバの渡り経路（秋季）

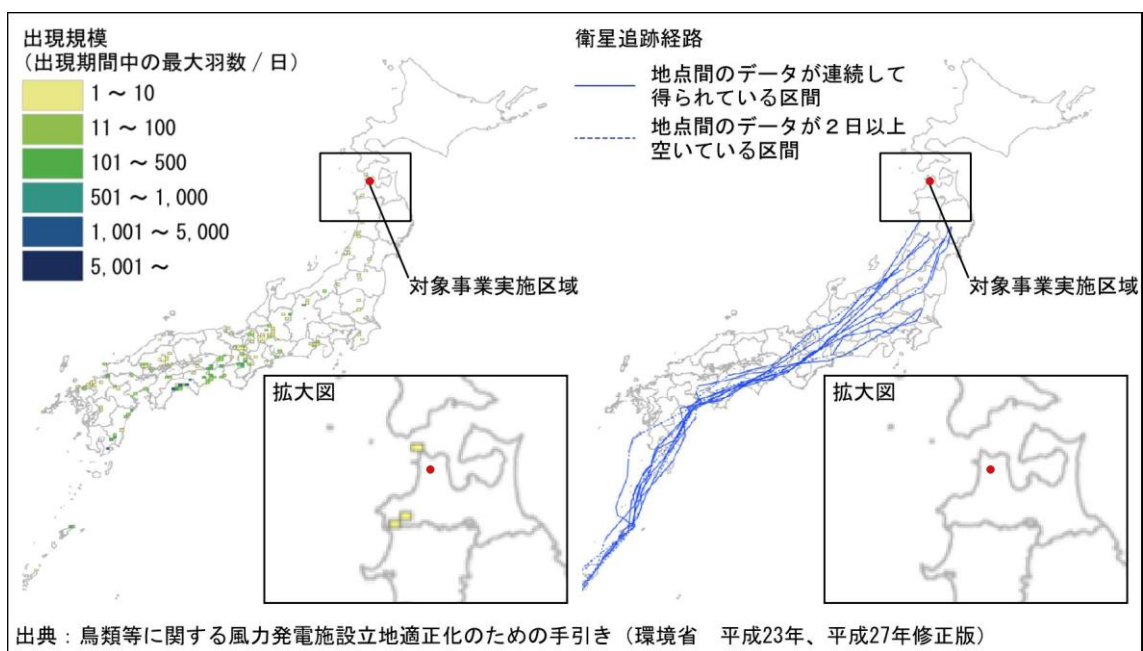


図 3-1-5-7(2) サシバの渡り経路（春季）

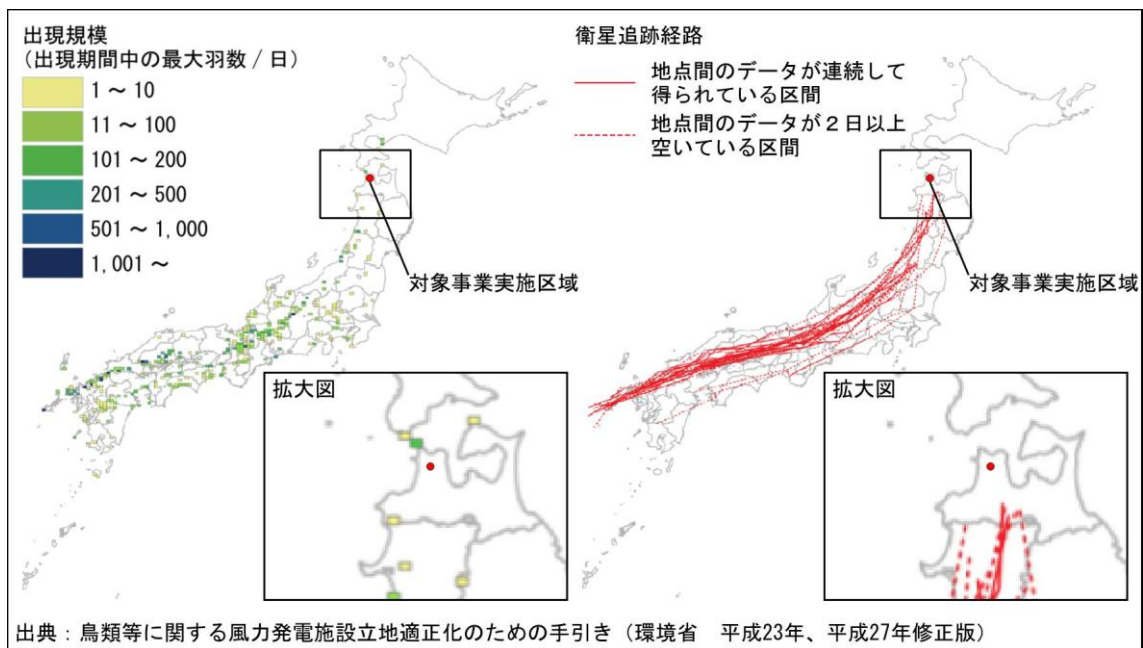


図 3-1-5-8(1) ハチクマの渡り経路（秋季）

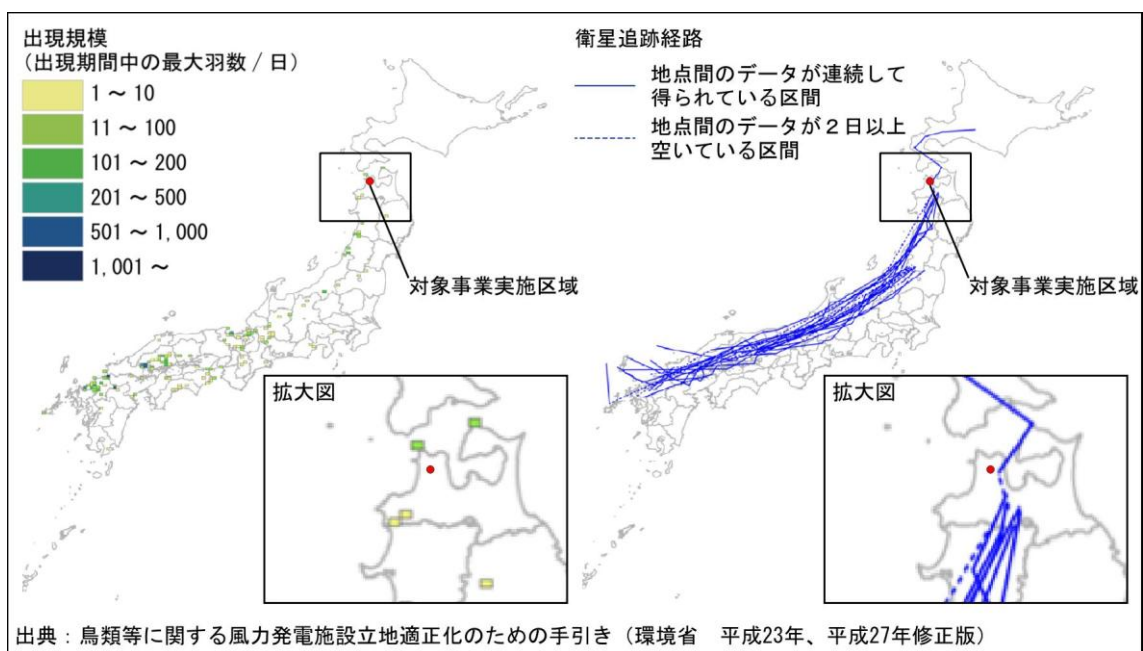


図 3-1-5-8(2) ハチクマの渡り経路（春季）

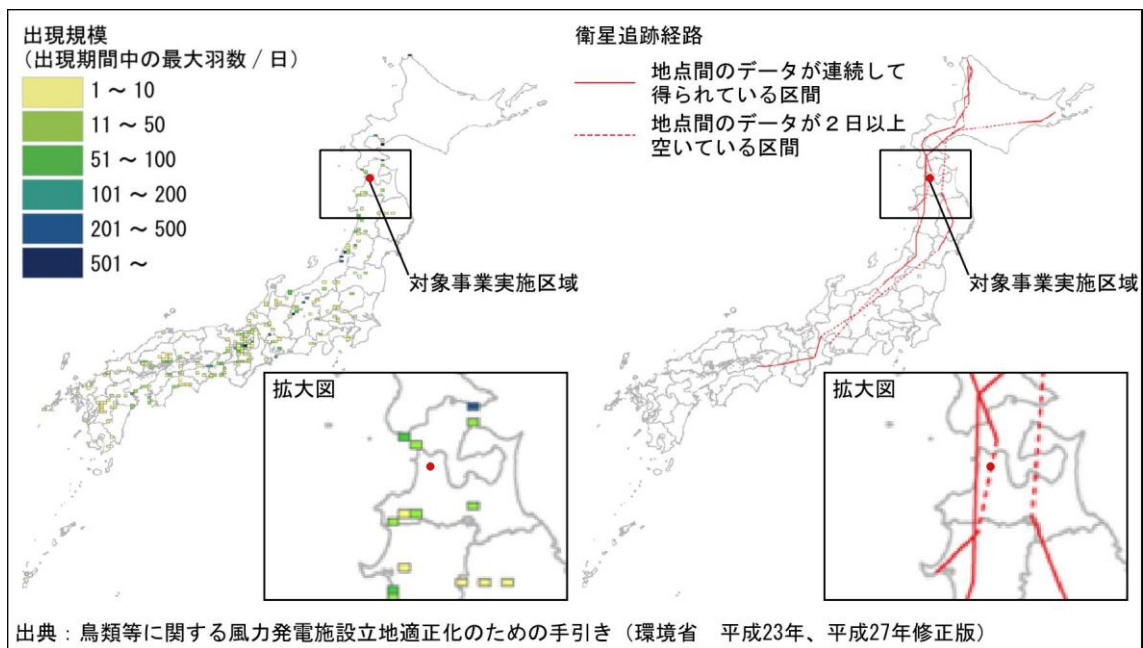


図 3-1-5-9(1) ノスリの渡り経路（秋季）

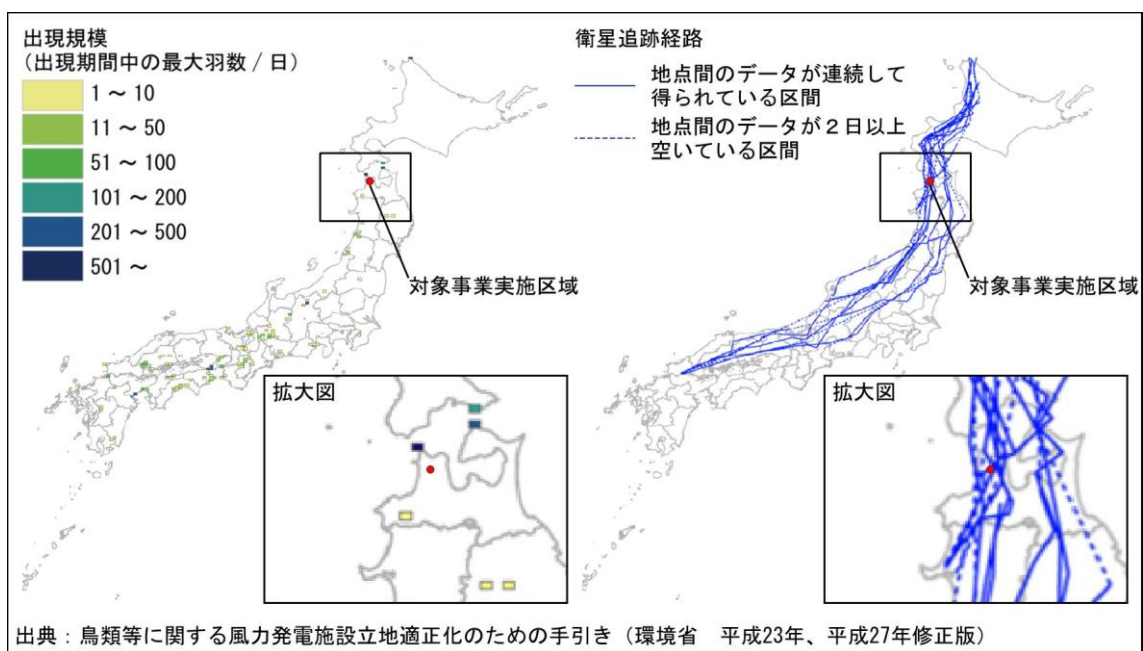


図 3-1-5-9(2) ノスリの渡り経路（春季）

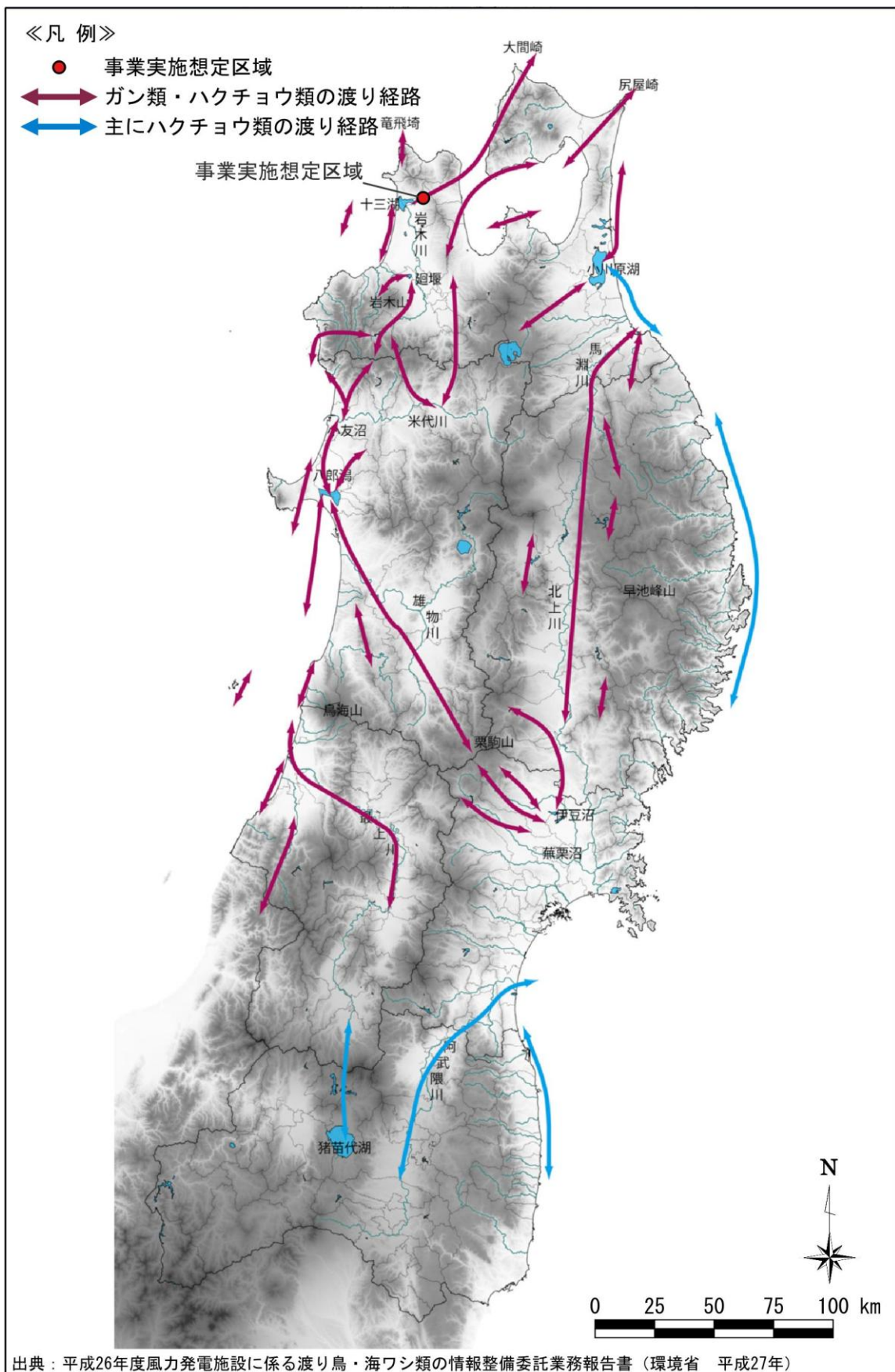


図 3-1-5-10 東北地方におけるハクチョウ類・ガン類の渡りの状況

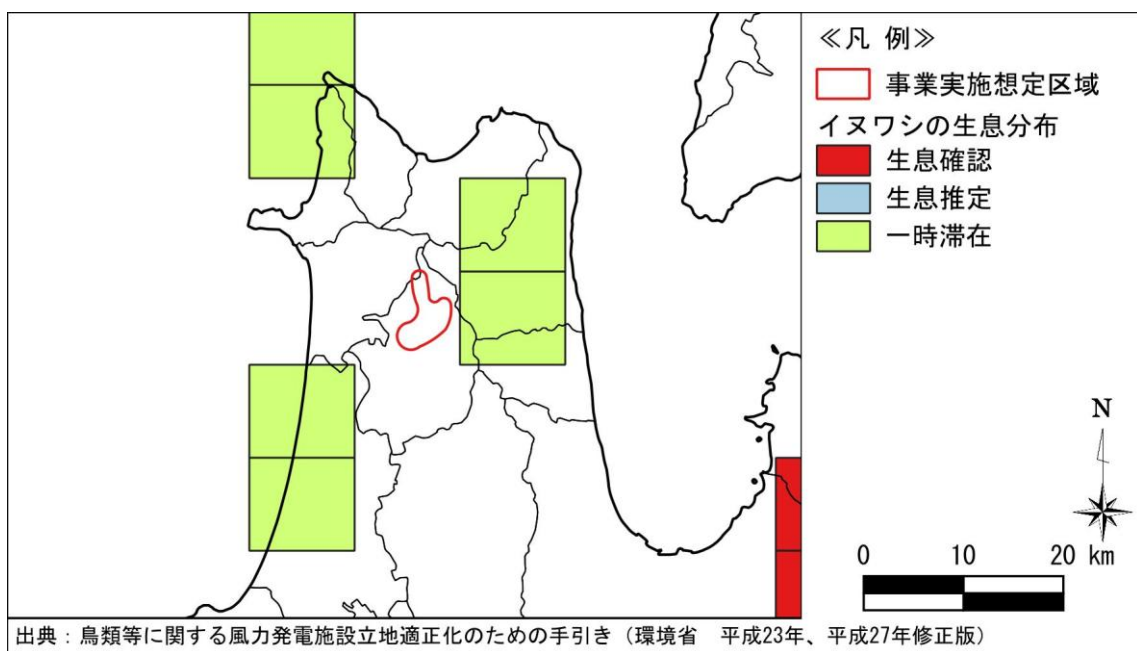


図 3-1-5-11(1) 2次メッシュにおけるイヌワシの生息分布

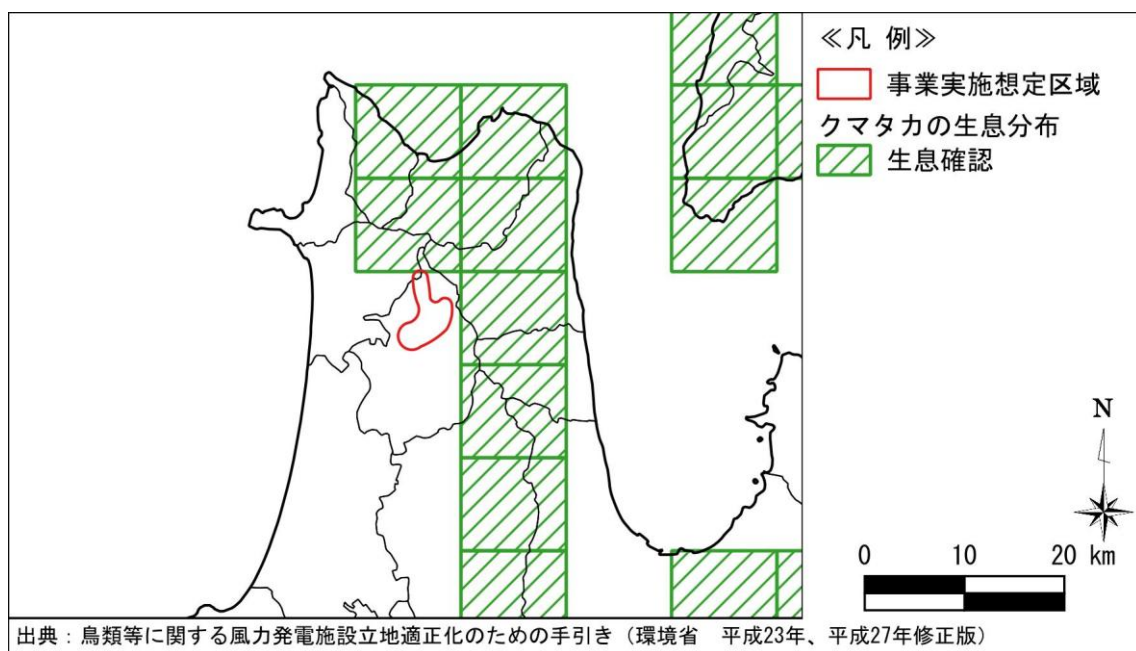


図 3-1-5-11(2) 2次メッシュにおけるクマタカの生息分布

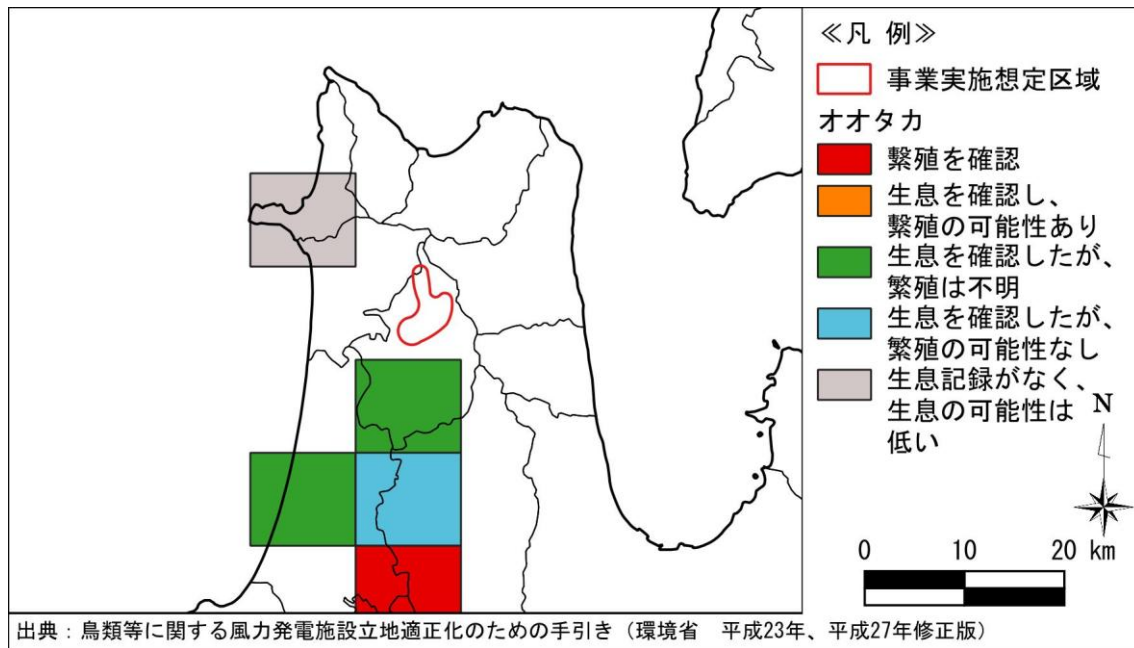


図 3-1-5-11(3) 2次メッシュにおけるオオタカの生息分布

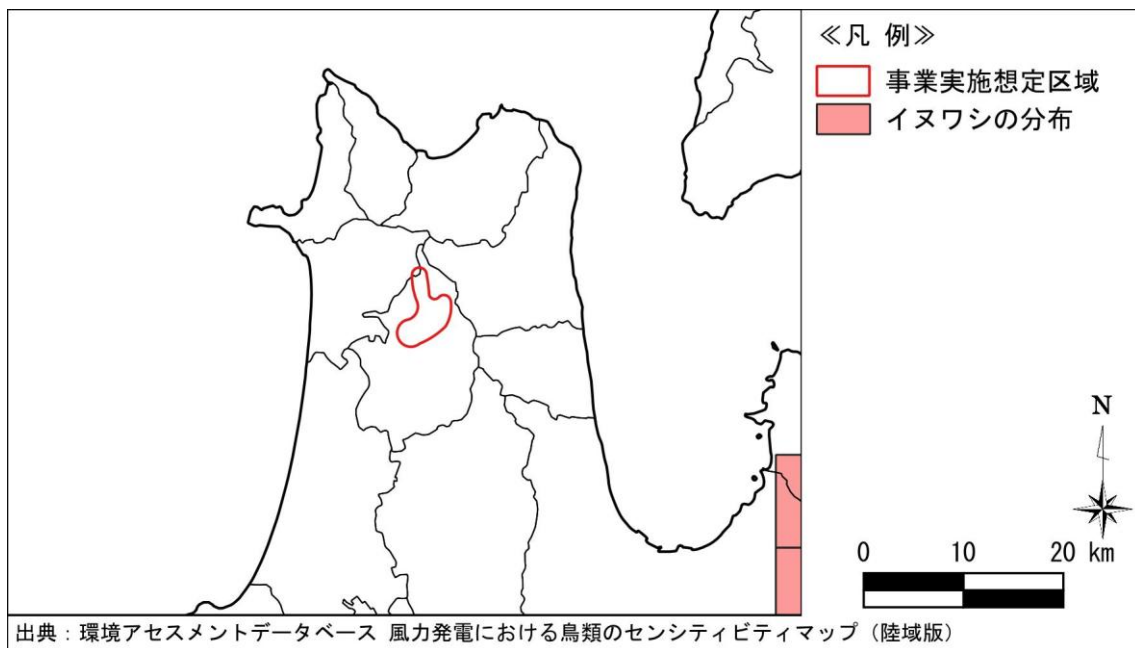


図 3-1-5-12 (1) イヌワシの分布メッシュ

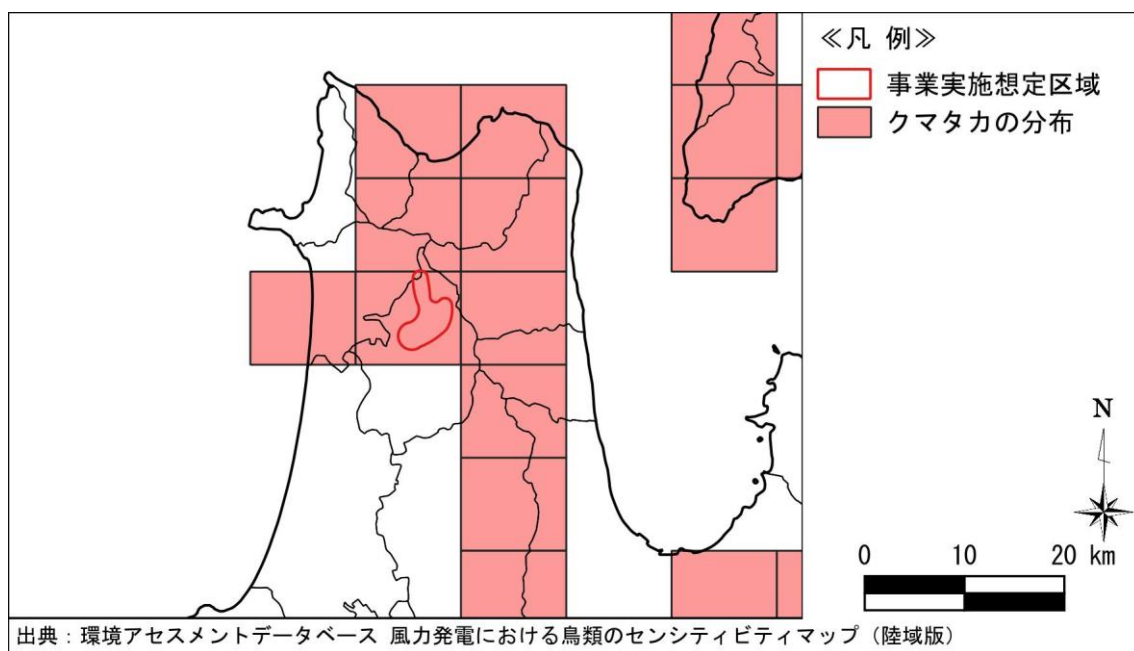


図 3-1-5-12 (2) クマタカの分布メッシュ

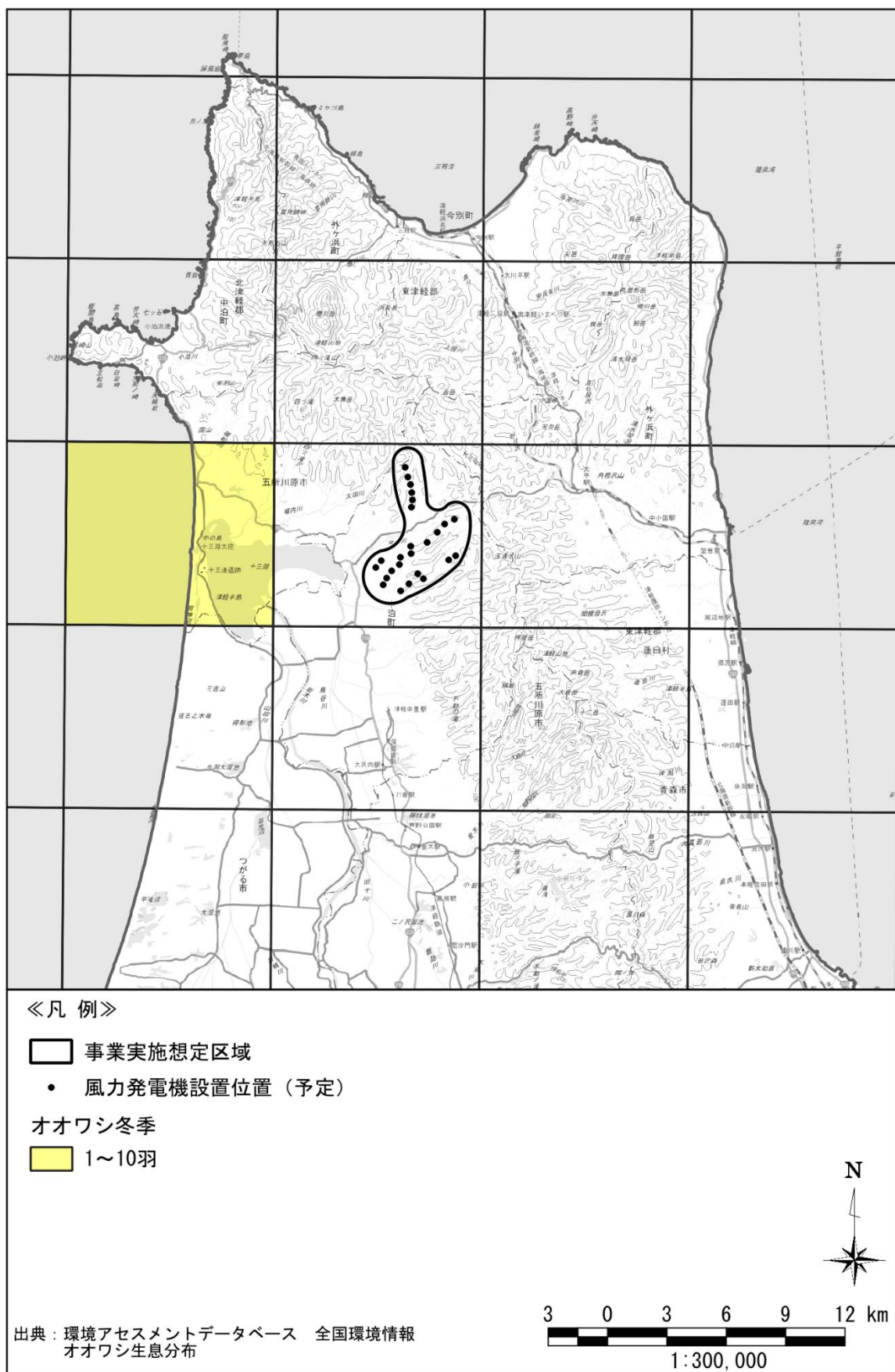


図 3-1-5-13 オオワシ冬季の生息分布

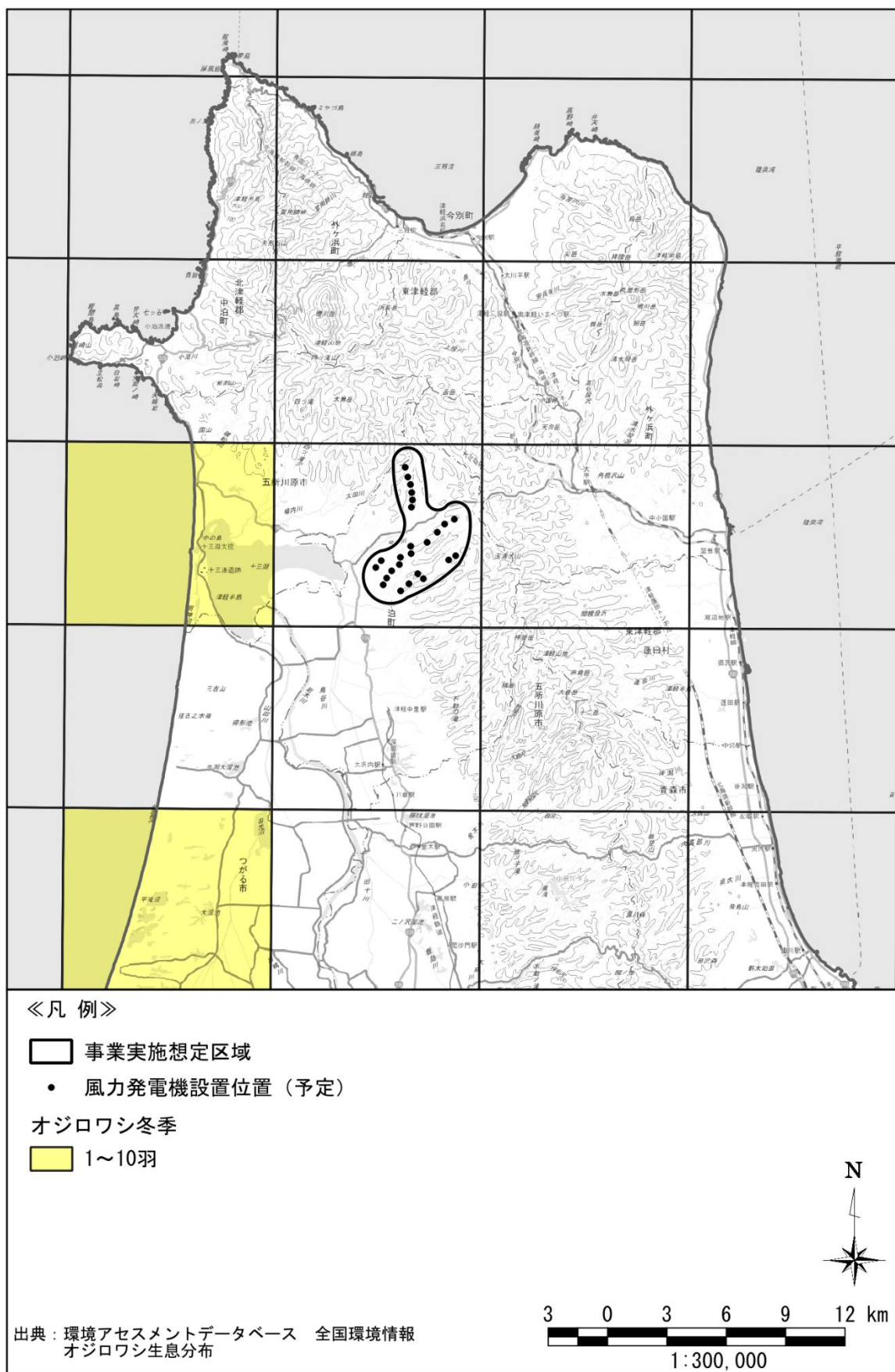


図 3-1-5-14 オジロワシ冬季の生息分布

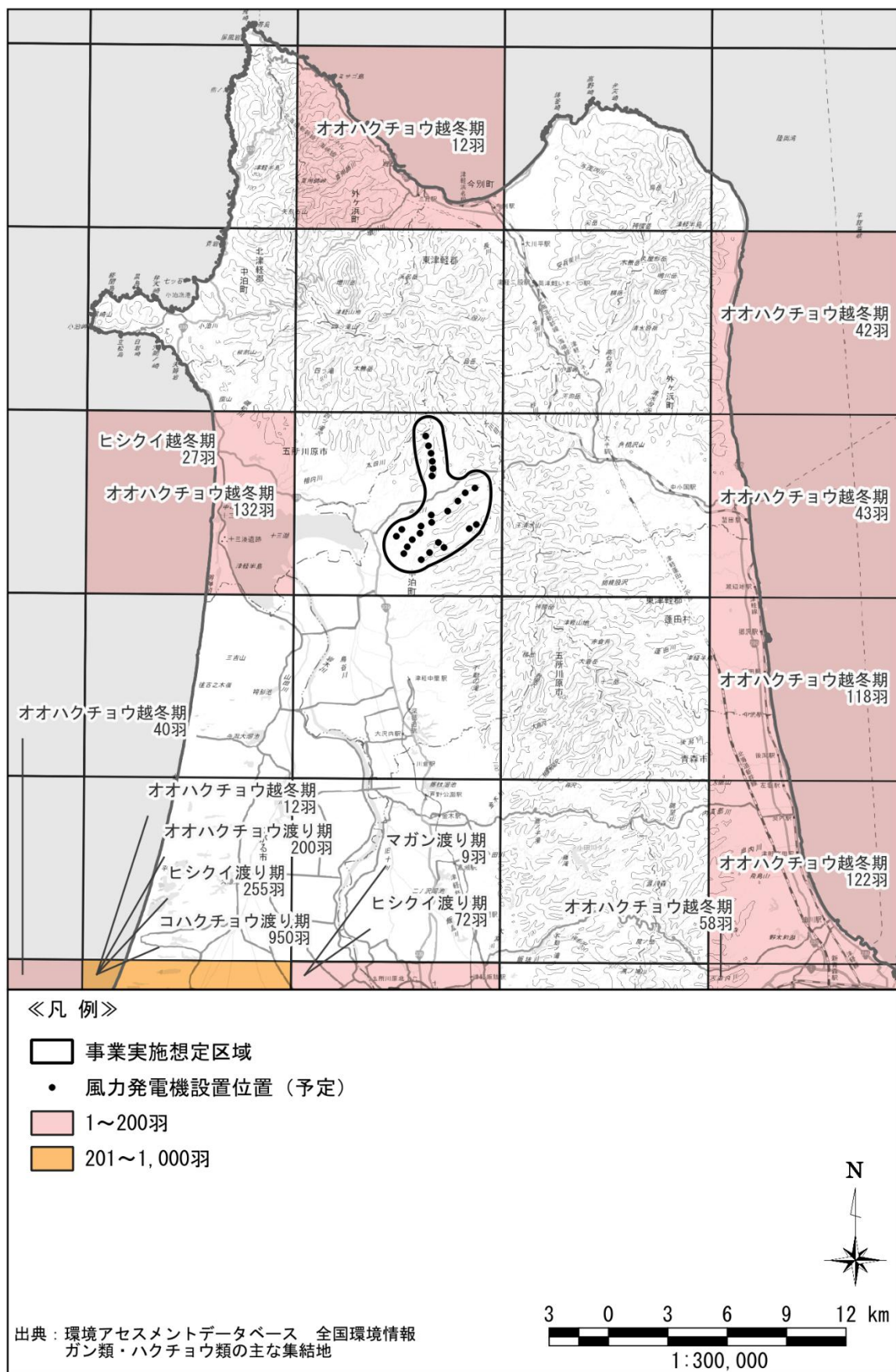


図 3-1-5-15 ガン類・ハクチョウ類の主要な集結地

「風力発電における鳥類のセンシティブティマップ（陸域版）」（環境アセスメントデータベース、環境省ホームページ）による事業実施想定区域及びその周囲を含む注意喚起メッシュを図 3-1-5-16 に示す。

事業実施想定区域及びその周囲は、注意喚起レベル A2 に該当している。なお、注意喚起メッシュの作成方法を次ページの「◆注意喚起メッシュの作成方法」に示す。

また、「風力発電における鳥類のセンシティブティマップ（陸域版）」（環境アセスメントデータベース、環境省ホームページ）に記載されている鳥類の渡りルートを図 3-1-5-18(1)～(3)に示す。

事業実施想定区域及びその周囲にはガン・カモ・ハクチョウ類の渡りルート及び、ハチクマ及びノスリ等猛禽類の渡りルートが存在する。さらに、重要種に限らず、夜間に通過する鳥類として、春季に北東方向、秋季に南西方向に飛翔する傾向が見られる。

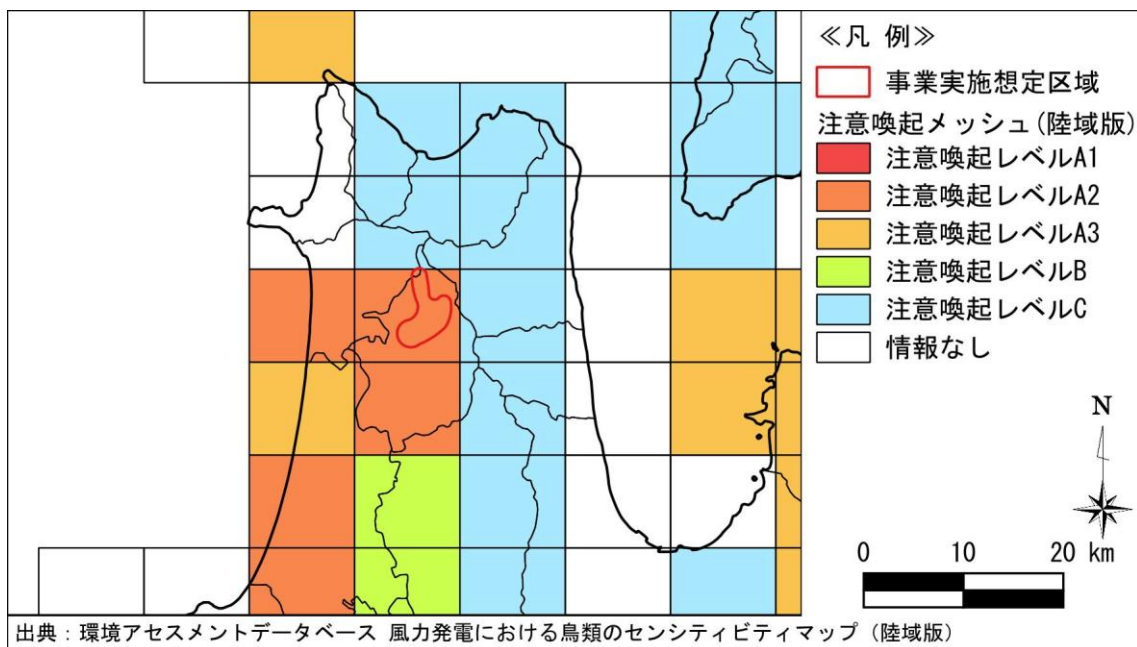


図 3-1-5-16 センシティブティマップにおける注意喚起メッシュ図

◆注意喚起メッシュの作成方法

【重要種】

まず、バードストライクとの関連性が高い種や生息地の改変に鋭敏な種を10種選定し、それぞれ程度の高い方から3、2、1とランク付けを行いました。

重要種の選定は、はじめに環境省レッドリストから絶滅危惧種・野生絶滅種に記載されている98種を抽出しました。次に、生息環境と陸域風力の設置場所との関係、バードストライクの事例の有無、風車との関連性（McGuinness et al. 2015）等から風力との関係が注目される重要種として10種を選定しました。このうち、「個体数が極小」、「個体数が少なく減少傾向」、「生息地が局所的で生息地の減少の影響が大きくかつ生息環境が特殊」のいずれかに該当するイヌワシ、シマフクロウ、チュウヒ、オオヨシゴイ、サンカノゴイをランク3とし、それ以外の種については、国内でのバードストライクの事例が多いオジロワシをランク2、事例が少ないもしくは関係が不明のクマタカ、オオワシ、タンチョウ、コウノトリをランク1としました。

最後に、重要種が分布している10kmメッシュにその重要種のランクを付け、10種のメッシュを重ね合わせました。同一メッシュに複数の重要種が分布する場合には、最も大きいランクをそのメッシュに付けました。

【集団飛来地】

集団飛来地については、ガン類、ハクチョウ類、カモ類、シギ・チドリ類、カモメ類、ツル類（ナベヅル・マナヅル）、ウミネコの繁殖地、その他の水鳥類、海ワシ類及びその他の猛禽類を対象としました。水鳥類については、はじめにラムサール条約湿地に指定されている場所の個体数データ（モニタリングサイト1000調査）を基に、分類群ごとに個体数の基準を3、2、1とランク付けました（個体数の多いものはランクが高くなります）。

同様に、海ワシ類は「2016年のオオワシ・オジロワシ一斉調査結果について」（オジロワシ・オオワシ合同調査グループ、2016）の個体数データから、猛禽類は「平成27年度風力発電施設に係る渡り鳥・海ワシ類の情報整備委託業務報告書、風力発電施設立地適正化のための手引きに関する資料」（環境省自然環境局野生生物課、2016）の個体数データから、個体数の基準をランク付けしました。

これらの基準を用いて、現地調査結果や文献による個体数データについて10kmメッシュごとにランクを付けました。

なお、集団飛来地のヒアリング調査結果の情報があるメッシュは一律ランク1を、集団飛来地に関連するラムサール条約湿地及び国指定鳥獣保護区は一律ランク3を付けています。

【重要種と集団飛来地の重ね合わせ】

最後に、メッシュごとに重要種と集団飛来地のランクを合計して、メッシュのランクを決定しました（図 3-1-5-17 参照）。メッシュのランクに応じて、注意喚起レベルを決定しました（表 3-1-5-4 参照）。

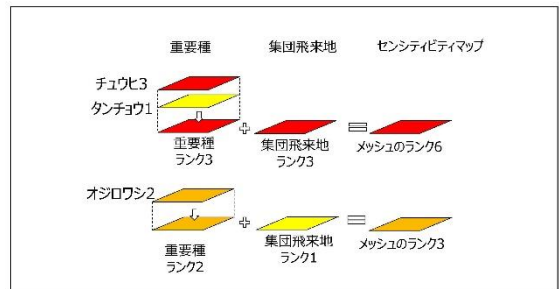


図 3-1-5-17 重要種と集団飛来地のメッシュの重ね合わせ（例）

メッシュのランク	注意喚起レベル
6	A1
5	A2
3～4	A3
2	B
1	C
0	情報なし

表 3-1-5-4 メッシュのランクと注意喚起レベル

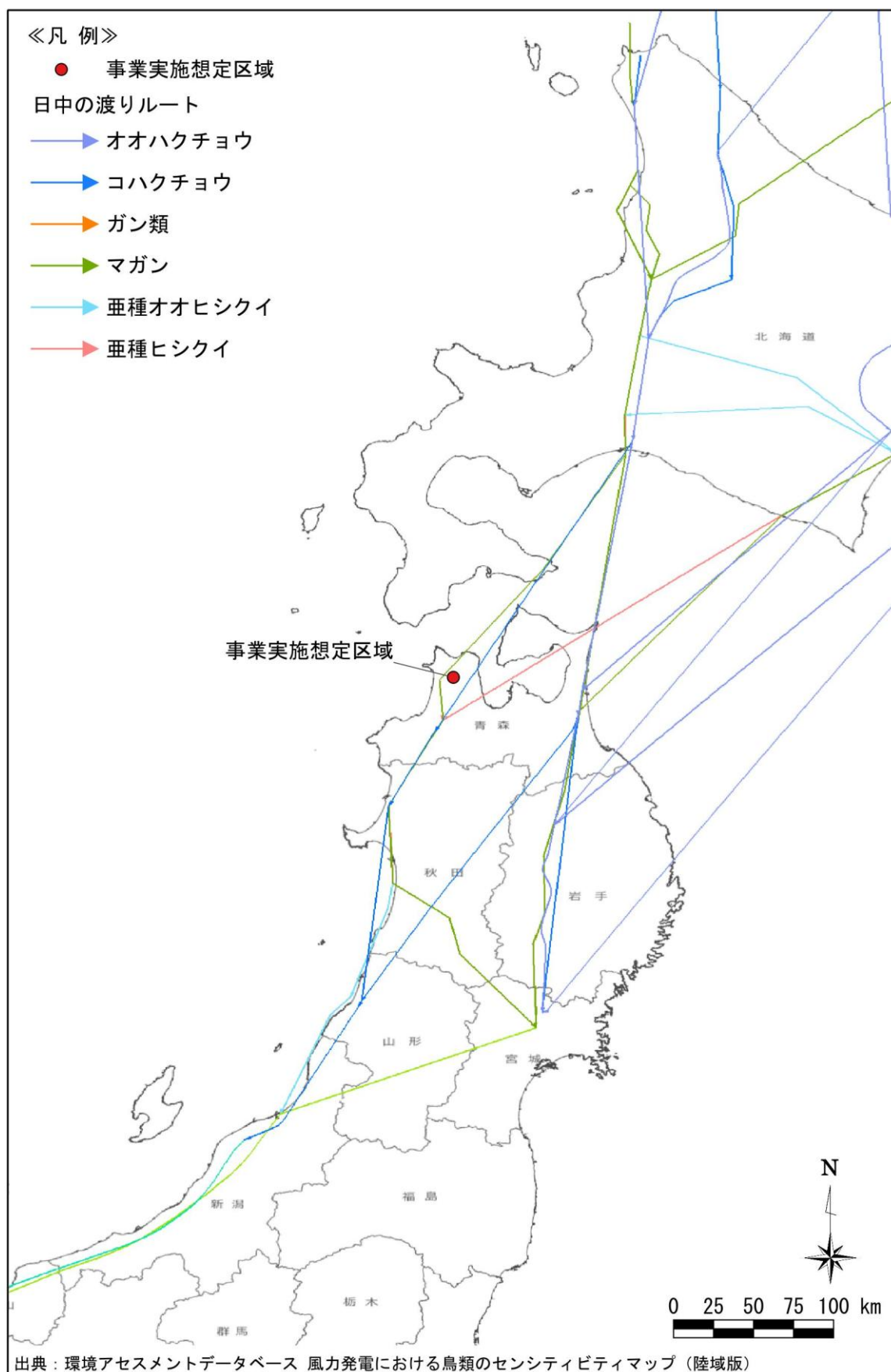


図 3-1-5-18(1) センシティブティマップにおける鳥類の渡りルート
(ガン・カモ・ハクチョウ類（日中）)

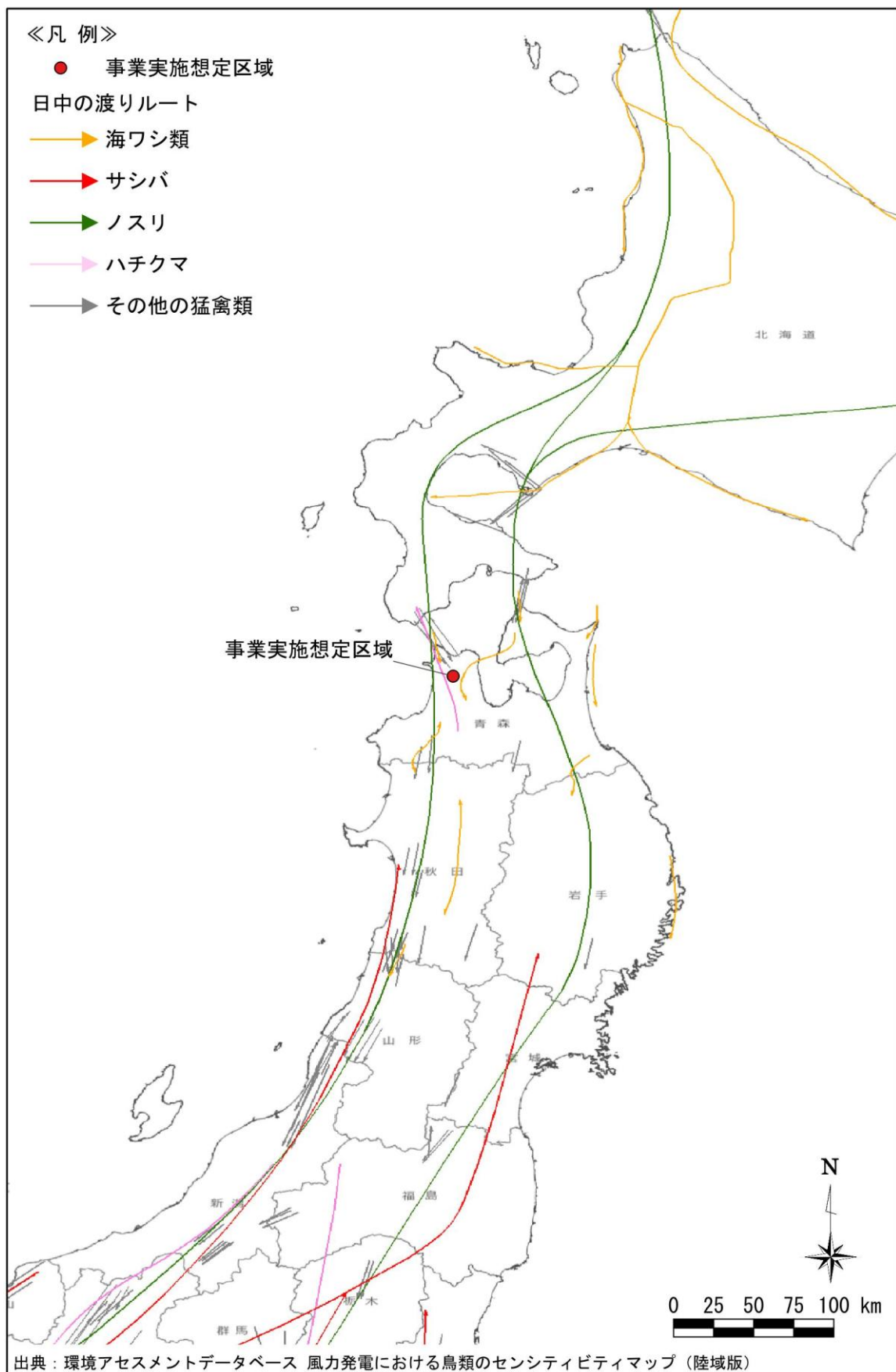


図 3-1-5-18(2) センシティブティマップにおける鳥類の渡りルート
(猛禽類 (日中))



図 3-1-5-18(3) センシティブティマップにおける鳥類の渡りルート
(鳥類の渡りルート(夜間))

3) 両生類・爬虫類

文献調査により生息の情報が得られた両生類は2目6科11種、爬虫類は1目3科5種であった。文献調査における両生類・爬虫類確認種一覧を表3-1-5-5に示す。

文献調査により確認された両生類・爬虫類のうち、重要種選定基準に該当した種は、両生類のクロサンショウウオ、アカハライモリ、トノサマガエル、ツチガエルの4種である。爬虫類の重要種は確認されなかった。

表 3-1-5-5 文献調査両生類・爬虫類確認種一覧

No	綱名	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献		
					I	II	III	IV	文献1	文献2	文献3
1	両生	有尾	サンショウウオ	クロサンショウウオ			NT	C	●		
2				キタオウシュウサンショウウオ (ハコネサンショウウオ) ^{注4}							●
-				サンショウウオ類							○
3			イモリ	アカハライモリ			NT	C			●
4		無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル					●	●	●
5				アマガエル						●	●
6				アカガエル					●		
7				ヤマアカガエル					●		
8				トノサマガエル			NT				●
9				ツチガエル				C			●
10			アオガエル	モリアオガエル							●
11				カジカガエル							●
計	1綱	2目	6科	11種	0種	0種	3種	3種	4種	2種	8種
1	爬虫	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ					●		
2			ナミヘビ	シマヘビ							●
3				ジムグリ							●
4				ヤマカガシ							●
5			クサリヘビ	ニホンマムシ							●
計	1綱	1目	3科	5種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	4種

注1：分類、配列などは「河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和7年度生物リストー」（河川環境データベース 国土交通省、2025年）に準拠

注2：表中の「○」は、同属の種が確認されている為、種数に計上しない

注3：重要種の選定基準は以下のとおり

I：「文化財保護法」（昭和25年5月 法律第214号）

国特：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物

II：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年 法律第75号）

国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種

III：「環境省第5次レッドリスト（鳥類及び爬虫類・両生類）の公表について」（2026年3月17日公表 環境省）

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV：「青森県の希少な野生生物ー青森県レッドデータブック（2020年改訂版）ー」（2020年3月 青森県）

EX：絶滅野生生物 A：最重要希少野生生物 B：重要希少野生生物 C：希少野生生物

D：要調査野生生物 LP：地域限定希少野生生物

注4：東北地方に生息するハコネサンショウウオは、2012年にキタオウシュウサンショウウオとして新種記載された。

出典：使用文献は以下のとおり

文献1：「第5回自然環境保全基礎調査」（生物多様性センターホームページ）

文献2：「河川水辺の国勢調査 平成14年岩木川両生類・爬虫類・哺乳類」のうち、津軽大橋における確認種（水情報国土データ管理センターホームページ）

文献3：「中里町誌」（昭和41年 中里町）山添地帯の生物を抜粋

4) 昆虫類

文献調査により生息の情報が得られた昆虫類（昆虫類及びクモ類）は 13 目 169 科 944 種であった。文献調査における昆虫類確認種一覧を表 3-1-5-6(1)～(17)に示す。

文献調査により確認された昆虫類のうち、重要種選定基準に該当した種は、キイトトンボやコオイムシ等 45 種である。

表 3-1-5-6(1) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
1	クモ	ユウレイグモ	ユウレイグモ								●
2		ヒメグモ	<i>Aneiosimus</i> 属の一種						●		
3			ヤマトコノハグモ						●		
4			オオヒメグモ						●		
5		サラグモ	テナガグモ						●		
6			デーニッツサラグモ						●		
7			クロヒザグモ						●		
8			ノコギリヒザグモ						●		
9			ニセアカムネグモ						●		
10			クロスジアカムネグモ						●		
11			クロナンキングモ						●		
12			ヤガスリサラグモ						●		
13			コトガリアカムネグモ						●		
14			トガリアカムネグモ						●		
15			オオサカアカムネグモ						●		
16		アシナガグモ	コシロカネグモ						●		
17			アゴブトグモ						●		
18			トガリアシナガグモ						●		
19			ハラヒロアシナガグモ						●		
20			ヤサガタアシナガグモ						●		
21			アシナガグモ						●		●
22			ウロコアシナガグモ						●		
23			エゾアシナガグモ						●		
—			<i>Tetragnatha</i> 属の一種						○		
24		コガネグモ	オニグモ						●		
—			<i>Araneus</i> 属の一種						○		
25			<i>Araniella</i> 属の一種						●		
26			コガネグモ								●
27			ナガコガネグモ						●		
28			<i>Cyclosa</i> 属の一種						●		
29			カラフトオニグモ						●		
30			コガネグモダマシ						●		
—			<i>Larinia</i> 属の一種						○		
31			ナカムラオニグモ						●		
32			ドヨウオニグモ						●		
—			<i>Neoscona</i> 属の一種						○		
33			ズグロオニグモ						●		
34		コモリグモ	ハタチコモリグモ						●		
—			<i>Alopecosa</i> 属の一種						○		
35			エビチャコモリグモ						●		
36			クロコモリグモ						●		
—			<i>Arctosa</i> 属の一種						○		
37			シッチコモリグモ						●		
38			イナダハリゲコモリグモ						●		
39			ウヅキコモリグモ						●		
40			ハリゲコモリグモ						●		
—			<i>Pardosa</i> 属の一種						○		
41			キバラコモリグモ						●		
—			<i>Pirata</i> 属の一種						○		
42			ハテコモリグモ						●		
43			ミナミコモリグモ						●		

表 3-1-5-6(2) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
44	クモ	コモリグモ	イモコモリグモ						●		
45			チビコモリグモ						●		
46			コガタコモリグモ						●		
47			アシグロコモリグモ						●		
48			ヤスダコモリグモ						●		
49			アライトコモリグモ						●		
—			<i>Trochosa</i> 属の一種						○		
50		キシダグモ	スジアカハシリグモ						●		
51			イオウイロハシリグモ						●		
52		シボグモ	シボグモ						●		
53		タナグモ	<i>Agelena</i> 属の一種						●		
54			ヒメクサグモ						●		
55			コクサグモ						●		
56		ヤマトガケジグモ	ヤマトガケジグモ						●		
57		フクログモ	ヤマトコマチグモ						●		
—			<i>Chiracanthium</i> 属の一種						○		
58			ハマキフクログモ						●		
59			ヒメフクログモ						●		
60			ウエノフクログモ						●		
—			<i>Clubiona</i> 属の一種						○		
61		ワシグモ	トラフワシグモ						●		
62			チクニヨリメケムリグモ						●		
63			メキリグモ						●		
64			クロケムリグモ						●		
65		エビグモ	シロエビグモ						●		
66			ハモンエビグモ						●		
—			<i>Philodromus</i> 属の一種						○		
67			ヤマトヤドカリグモ						●		
—			<i>Thanatus</i> 属の一種						○		
68		カニグモ	シャコグモ						●		
69			コハナグモ						●		
70			ハナグモ						●		
71			ワカバグモ						●		
72			トラフカニグモ						●		
73			クロボシカニグモ						●		
74			ヨコフカニグモ						●		
75		ハエトリグモ	ネコハエトリ						●		
76			シッチハエトリ						●		
77			<i>Helicinus</i> 属の一種						●		
78			ウスリーハエトリ						●		
79			マガネアサヒハエトリ						●		
80			メガネアサヒハエトリ						●		
81			<i>Rhene</i> 属の一種						●		
82			<i>Talavera</i> 属の一種						●		
83	トンボ (蜻蛉)	アオイトトンボ	アオイトトンボ								●
84			オツネトンボ								●
85		イトトンボ	キイトトンボ				B				●
86			アジアイトトンボ						●		
87			モートンイトトンボ			NT	C	●			
88			クロイトトンボ						●		
89			セスジイトトンボ								●
90			オオイトトンボ								●
91		モノサシトンボ	モノサシトンボ								●
92		カワトンボ	ミヤマカワトンボ					●			
93			アオハダトンボ			NT	A				●
94		ムカシトンボ	ムカシトンボ					●			
95		ヤンマ	アオヤンマ			NT		●		●	
96			オオルリボシヤンマ					●			
97			ルリボシヤンマ					●			
98			ギンヤンマ					●			
99			コシボソヤンマ				B	●			

表 3-1-5-6(3) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
100	トンボ (蜻蛉)	ヤンマ	ミルンヤンマ					●			
101		サナエトンボ	モイワサナエ					●			
102			コオニヤンマ					●			
103			ヒメサナエ				A	●			
104			コサナエ					●			
105		ムカシヤンマ	ムカシヤンマ					●			
106		オニヤンマ	オニヤンマ					●			
107		エゾトンボ	コヤマトンボ				C	●			
108			タカネトンボ					●			
109		トンボ	ショウジョウトンボ				C				●
110			コフキトンボ						●		●
111			ハラビロトンボ				C	●			
112			シオカラトンボ					●	●		●
113			オオシオカラトンボ				C	●			
114			ウスバキトンボ						●		●
115			ナツアカネ					●	●		
116			マユタテアカネ					●	●		
117			アキアカネ					●	●		
118			ノシメトンボ					●	●		●
119			マイコアカネ				B		●		●
120	カマキリ (蟷螂)	カマキリ	ウスバカマキリ			DD	B			●	
121	ハサミムシ (革翅)	クギヌキハサミムシ	クギヌキハサミムシ						●		
122	カワゲラ (セキ翅)	ホソカワゲラ	エビノホソカワゲラ							●	
123		ミドリカワゲラ	ヤマトコミドリカワゲラ							●	
124			ニッコウミドリカワゲラ							●	
125			エダオカワゲラ							●	
126		カワゲラ	キコナガカワゲラ							●	
127			オカモトコナガカワゲラ							●	
128			カミムラカワゲラ							●	
129			ヤマトフタツメカワゲラ							●	
130		アミメカワゲラ	フタスジクサカワゲラ							●	
131			セスジクサカワゲラ							●	
—			クサカワゲラ属の一種							●	
132			トゲクサカワゲラ							●	
133	バッタ (直翅)	ツユムシ	セスジツユムシ						●		
134			ツユムシ						●		
135		キリギリス	ウスイロササキリ						●		
136			コバネササキリ						●		
137			ホシササキリ						●		
138			ヒメクサキリ						●		
139		ケラ	ケラ						●		
140		マツムシ	カンタン						●		
141		コオロギ	タンボオカメコオロギ						●		
142			エンマコオロギ						●		
143		ヒバリモドキ	シバスズ						●		
144			ヤチスズ						●		
145			エブスズ						●		
146		バッタ	ヒナバッタ						●		
147			トノサマバッタ						●		
148			イナゴモドキ						●		
149			ナキイナゴ						●		
150			クルマバッタモドキ						●		
151			ヒロバネヒナバッタ						●		
152		イナゴ	コバネイナゴ						●		
153		オンブバッタ	オンブバッタ						●		
154		ヒシバッタ	ハラヒシバッタ						●		
155			ヒメヒシバッタ						●		
—			<i>Tetrix</i> 属の一種						○		
156	カメムシ (半翅)	コガシラウンカ	アカフコガシラウンカ						●		
157		ヒシウンカ	ヒシウンカ						●		
158		ウンカ	ゴマフウンカ						●		

表 3-1-5-6(4) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
159	カメムシ (半翅)	ウンカ	サッポロウンカ						●		
160			タテヤマヨシウンカ						●		
161			クロスジオオウンカ						●		
162			<i>Garaga</i> 属の一種						●		
163			ヒメトビウンカ						●		
164			エゾトビウンカ						●		
165			ホソミドリウンカ						●		
166			セジロウンカ						●		
167			エゾナガウンカ						●		
168			テラウチウンカ						●		
169		セミ	エゾゼミ					●			●
170			アブラゼミ					●			●
171			ニイニイゼミ					●			●
172		アワフキムシ	シロオビアワフキ								●
173			モンキアワフキ						●		
174			ハマバアワフキ						●		●
175		コガシラアワフキムシ	コガシラアワフキ						●		
176		ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ						●		
177			オオヨコバイ						●		
178			フタスジトガリヨコバイ						●		
179			マエジロハトムネヨコバイ						●		
180			ヤナギハトムネヨコバイ						●		
181			ヨツテンウスバヨコバイ						●		
182			タマガワヨシヨコバイ						●		
183			クロサジヨコバイ						●		
184			<i>Recilia</i> 属の一種						●		
185		サシガメ	ホソサシガメ						●		
186		ハナカメムシ	キモンクロハナカメムシ						●		
187			ツヤヒメハナカメムシ						●		
—			<i>Orius</i> 属の一種						○		
188		カスミカメムシ	ナカグロカスミカメ						●		
189			ブチヒゲクロカスミカメ						●		
190			コアオカスミカメ						●		
191			ツマグロアオカスミカメ						●		
—			<i>Apolygus</i> 属の一種						○		
192			モンキマキバカスミカメ						●		
193			ヒメアオナガカスミカメ						●		
194			フタトゲムギカスミカメ						●		
195			アカスジカスミカメ						●		
196			イネホソミドリカスミカメ						●		
197		マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ						●		
198			オオナガマキバサシガメ						●		
—			<i>Nabis</i> 属の一種						○		
199		ヒラタカメムシ	ヒメヒラタカメムシ						●		
200		ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ						●		
201			クロホシカメムシ						●		
202		ヘリカメムシ	ヒメトゲヘリカメムシ						●		
203		ヒメヘリカメムシ	ケブカヒメヘリカメムシ						●		
204		ナガカメムシ	ウスイロヒメヒラタナガカメムシ						●		
—			<i>Cymus</i> 属の一種						○		
205			ニッポンコバネナガカメムシ						●		
206			コバネナガカメムシ						●		
207			ヒメオオメナガカメムシ						●		
208			キベリヒョウタンナガカメムシ						●		
209			ウスイロヒラタナガカメムシ						●		
210			チャイロナガカメムシ						●		
211			ホソメダカナガカメムシ						●		
212			ヒメナガカメムシ						●		
213			ヒラタヒョウタンナガカメムシ						●		
214			ジュウジナガカメムシ						●		
215		ツノカメムシ	セアカツノカメムシ						●		

表 3-1-5-6(5) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
216	カメムシ (半翅)	ツノカメムシ	アオモンツノカメムシ						●		
217			ヒメアオモンツノカメムシ						●		
218			ヒメツノカメムシ						●		
219		ツチカメムシ	ミツボシツチカメムシ						●		
220			ヒメクロツチカメムシ						●		
221			マルツチカメムシ						●		
222		カメムシ	ブチヒゲカメムシ						●		●
223			ナガメ						●		
224			オオトゲシラホシカメムシ						●		
225			アカスジカメムシ								●
226			チャバネアオカメムシ						●		
227			オオクロカメムシ						●		
228			ヒメクロカメムシ						●		
229		アメンボ	アメンボ					●	●		
230			ヒメアメンボ					●	●		
231		ミズギワカメムシ	ウスイロミズギワカメムシ						●		
232		ミズムシ (昆)	ハラグロコミズムシ						●		
233		コオイムシ	コオイムシ			NT	C	●			
234			オオコオイムシ						●		
235			タガメ		国内	VU	A				●
236		タイコウチ	ミズカマキリ					●			●
237			ヒメミズカマキリ					●			
238		マツモムシ	マツモムシ					●	●		
239		マルミズムシ	ヒメマルミズムシ							●	
240	アミメカゲロウ (脈翅)	ヒロバカゲロウ	ヒロバカゲロウ								●
241		ウスバカゲロウ	ウスバカゲロウ								●
242			ホシウスバカゲロウ						●		
243			オオウスバカゲロウ								●
244	トビケラ (毛翅)	エグリトビケラ	ウスバキトビケラ						●		
245			ニッポンウスバキトビケラ						●		
246			トウヨウウスバキトビケラ						●		
247			シロフキリバネトビケラ						●		
248			エグリトビケラ						●		
249			ミヤケエグリトビケラ						●		
250		トビケラ	ウンモントビケラ						●		
—			<i>Agrypnia</i> 属の一種						○		
251			ツマグロトビケラ						●		
252											
253	チョウ (鱗翅)	ボクトウガ	ハイイロボクトウ			NT	D				●
254			ヒメボクトウ						●		
255			ボクトウガ						●		
256			ゴマフボクトウ								●
257		イラガ	ナシイラガ								●
258			アオイイラガ								●
259			クロシタアオイイラガ						●		●
260		セセリチョウ	ヒメキマダラセセリ					●		●	
261			コキマダラセセリ					●			●
262			イチモンジセセリ					●	●		●
263			ミヤマチャバネセセリ				C			●	
264			オオチャバネセセリ				C	●		●	
265			コチャバネセセリ					●			●
266		シジミチョウ	ルリシジミ					●	●	●	●
267			ツバメシジミ					●	●	●	●
268			カラスシジミ					●			
269			ベニシジミ					●	●		●
270			ミドリシジミ					●			
271			ゴマシジミ北海道・東北亜種			NT	C※1	●			
272			トラフシジミ						●		●
273			フジミドリシジミ							●	
274		タテハチョウ	コムラサキ					●			●
275			サカハチチョウ					●		●	

表 3-1-5-6(6) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
276	チョウ (鱗翅)	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン			VU	C		●		●
277			オオウラギンスジヒョウモン					●	●		●
278			メスグロヒョウモン					●			
279			ウラギンヒョウモン					●	●	●	●
280			クジャクチョウ					●			●
281			ルリタテハ本土亜種					●			
282			キマダラモドキ			NT		●			
283			クロヒカゲ本土亜種							●	●
284			イチモンジチョウ					●			
285			クロコノマチョウ							●	
286			ジャノメチョウ					●	●		●
287			ヒメジャノメ					●	●		●
288			ヤマキマダラヒカゲ本土亜種					●			
289			クモガタヒョウモン							●	
290			ミスジチョウ							●	
291			オオヒカゲ					●		●	
292			アサギマダラ							●	
293			シータテハ					●		●	●
294			キタテハ					●	●	●	●
295			ヒメアカタテハ					●	●		
296			アカタテハ						●	●	●
297			ヒメキマダラヒカゲ					●			
298		アゲハチョウ	カラスアゲハ本土亜種					●	●		
299			キアゲハ					●	●	●	●
300			オナガアゲハ					●			
301			アゲハ							●	
302			ウスバシロチョウ							●	
303		シロチョウ	モンキチョウ						●		
304			キタキチョウ							●	
305			スジボソヤマキチョウ				B				●
306			ヒメシロチョウ北海道・本州亜種			EN	C※2	●		●	●
307			エゾスジグロシロチョウ					●			
308			スジグロシロチョウ					●	●		
309			モンシロチョウ					●	●		●
310		ツトガ	シロフタスジツトガ						●		
311			ツトガ						●		
312			シロツトガ						●		
313			カバイロツトガ						●		
314			ニカメイガ						●		
315			ナカモンツトガ						●		
316			コブノメイガ						●		
317			ウスギンツトガ						●		
318			シバツトガ						●		
319			シロアヤヒメノメイガ						●		
320			マダラミズメイガ						●		
321			ワタノメイガ								●
322			モンキクロノメイガ						●		
323			マエキノメイガ						●		
324			ヘリキスジノメイガ						●		
325			マメノメイガ						●		
326			ワモンノメイガ						●		
327			アワノメイガ								●
328			マエアカスカシノメイガ						●		
329			ホソミスジノメイガ						●		
330			ウコンノメイガ						●		
331			ニセムモンシロオオメイガ						●		
332			ヨツボシノメイガ						●		●
333			ヒメセスジノメイガ						●		
334			チビマルモンノメイガ						●		
335		メイガ	ウスベニトガリメイガ						●		
336			テנקロトビマダラメイガ						●		

表 3-1-5-6(7) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
337	チョウ (鱗翅)	メイガ	アカマダラメイガ						●		
338			シロスジクロマダラメイガ						●		
339		シャクガ	アトグロアミエダシャク						●		
340			アカアシアオシャク						●		
341			ウメエダシャク								●
342			オオハガタナミシャク						●		●
343			オオトビスジエダシャク								●
344			クロテントビヒメシャク								●
345			ベニヒメシャク						●		
346			クロミスジシロエダシャク						●		
347			トビスジヒメナミシャク						●		
348			クロフヒメエダシャク						●		
349			クワエダシャク								●
350			ムラサキエダシャク						●		
351			クモオピナミシャク						●		
352			ツマグロナミシャク						●		
353		カイコガ	クワコ						●		
354			カイコ								●
355		カレハガ	マツカレハ						●		●
356			タケカレハ								●
357			ヨシカレハ								●
358			オビカレハ						●		●
359		スズメガ	ウンモンズズメ								●
360			トビイロスズメ								●
361			ベニスズメ						●		●
362			モモスズメ								●
363			ヒメクチバスズメ						●		
364			コスズメ								●
365		シャチホコガ	セダカシャチホコ								●
366			モンクロシャチホコ						●		●
367			オオエグリシャチホコ						●		●
368			スジエグリシャチホコ						●		
369		ヒトリガ	カノコガ								●
370			ゴマダラベニコケガ						●		●
371			シロヒトリ						●		●
372			クワゴマダラヒトリ								●
373			クロバネヒトリ								●
374			アマヒトリ						●		
375			コベニシタヒトリ						●		
376			フタスジヒトリ								●
377			スジモンヒトリ						●		
378			キハラゴマダラヒトリ						●		
379			アカハラゴマダラヒトリ								●
380		ドクガ	ドクガ						●		●
381			マメドクガ						●		
382			キドクガ						●		
383			スゲドクガ			NT	D		●		
384			ヤナギドクガ								●
385			マイマイガ						●		
386			ノンネマイマイ								●
387			ヒメシロモンドクガ								●
388		ヤガ	キマダラコヤガ								●
389			ナシケンモン						●		
390			センモンヤガ						●		
391			カブラヤガ						●		
392			ショウブヨトウ						●		●
393			コウスベリケンモン						●		
394			ヒメサビスジヨトウ						●		
395			ガマキンウワバ						●		
396			ギンツマキリヨトウ						●		
397			ウスエグリバ								●

表 3-1-5-6(8) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
398	チョウ (鱗翅)	ヤガ	コシロシタバ			NT					●
399			ワモンキシタバ								●
400			ハルタギンガ						●		
401			ミツモンキンウワバ						●		
402			シロスジキンウワバ						●		
403			オオバコヤガ						●		
404			モンオビヒメヨトウ								●
405			アカガネヨトウ						●		
406			フサヤガ						●		
407			ムギヤガ						●		
408			オオタバコガ						●		
409			ツメクサガ						●		
410			ショウブオオヨトウ						●		
411			ヨスジカバイロアツバ				C		●		
412			クロクモヤガ						●		
413			モンキコヤガ						●		
414			ウラジロアツバ						●		
415			エゾチャイロヨトウ						●		
416			シラホシヨトウ						●		
417			ナカスジキヨトウ						●		
418			カバイロキヨトウ						●		
419			ノヒラキヨトウ						●		
420			タンボキヨトウ						●		
421			アカスジキヨトウ						●		
422			ツマグロキヨトウ						●		
423			フタオビコヤガ						●		●
424			マエジロヤガ						●		
425			モンキアカガネヨトウ						●		
426			イネキンウワバ						●		
427			ヨシヨトウ						●		
428			テングロアツバ						●		
429			オオアカキリバ								●
430			イネヨトウ						●		
431			マルモンシロガ						●		
432			スジキリヨトウ						●		
433			ノコメトガリキリガ						●		
434			ムクゲコノハ						●		
435			ハスオビアツバ				D		●		
436			ヤンコウスキーキリガ						●		
437			シロモンヤガ						●		
—			ヤガ科の一種								○
438	ハエ (双翅)	コブガ	カバイロコブガ						●		
439		ヒメガガンボ	<i>Styringomyia nipponensis</i>						●		
440			<i>Dicranomyia</i> 属の一種						●		
441		ガガンボ	スネブトクシヒゲガガンボ								●
442			<i>Nephrotoma hirsuticauda</i>						●		
443			<i>Nephrotoma parvirostra</i>						●		
444			キイロホソガガンボ						●		
—			<i>Nephrotoma</i> 属の一種						○		
445			キリウジガガンボ						●		
—			<i>Tipula</i> 属の一種						○		
446		ミズアブ	<i>Microchrysa</i> 属の一種						●		
447			コガタミズアブ						●		
448			ミズアブ						●		
449		アブ	フタスジアブ						●		
450			ホルバートアブ						●		
451			キバラアブ						●		
452			アカウシアブ						●		
453		ムシヒキアブ	アオメアブ						●		
454			<i>Leptogaster</i> 属の一種						●		
455			ヒサマツムシヒキ						●		

表 3-1-5-6(9) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献				
				I	II	III	IV	1	2	3	4	
—	ハエ（双翅）	ムシヒキアブ	<i>Tolmerus</i> 属の一種						○			
456		ハナアブ	ハナダカマガリモンハナアブ						●			
—			<i>Anasimyia</i> 属の一種						○			
457			ナガヒラタアブ						●			
458			ヤマトヒゲナガハナアブ						●			
459			サッポロヒゲナガハナアブ						●			
460			ホソヒラタアブ						●			
461			タテジマクロハナアブ						●			
462			シマハナアブ						●			
463			キョウコシマハナアブ						●			
464			ナミハナアブ						●		●	
465			<i>Eumerus</i> 属の一種						●			
466			フタホシヒラタアブ						●			
467			キベリアシブトハナアブ						●			
468			ホソツヤヒラタアブ						●			
469			ホシツヤヒラタアブ						●			
—			<i>Melanostoma</i> 属の一種							○		
470			シマアシブトハナアブ							●		
471			カルマイツヤタマヒラタアブ							●		
472			キアシマメヒラタアブ							●		
473			オオハナアブ							●		
474			アシブトヒラアシヒラタアブ							●		
475			ミナミヒメヒラタアブ							●		
476			ホソヒメヒラタアブ							●		
477			オオフタホシヒラタアブ							●		
478			モモブトコハナアブ							●		
479		ミギワバエ	ワタナベトゲミギワバエ						●			
—		<i>Notiphila</i> 属の一種								○		
480		ヤチバエ	マダラヤチバエ						●			
481			ヒゲナガヤチバエ						●			
482		ツヤホソバエ	<i>Sepsis</i> 属の一種						●			
483		ミバエ	ヒラヤマアミメケブカミバエ						●			
484			ノゲシケブカミバエ						●			
485			アザミケブカミバエ						●			
486			ミスジハマダラミバエ						●			
487			キイロケブカミバエ						●			
488		クロバエ	コガネキンバエ						●			
489			キンバエ						●		●	
490			ミドリキンバエ						●			
491			ミヤマキンバエ						●			
492			ヒロズキンバエ						●			
493			ムナギンクロバエ						●			
494			ツマグロキンバエ						●			
495		イエバエ	マンシュウハナレメイエバエ						●			
496			ヤマトハナレメイエバエ						●			
497			アシマダラハナレメイエバエ						●			
498			カガハナゲバエ						●			
499			<i>Lispe</i> 属の一種						●			
500			モモグロオオイエバエ						●			
501			<i>Phaonia</i> 属の一種						●			
502	ニクバエ	トリオニクバエ						●				
503		カワユニクバエ						●				
504		シリグロニクバエ						●				
505		ナミニクバエ						●				
506		コニクバエ						●				
507	コウチュウ（鞘翅）	ホソクビゴミムシ	ミイデラゴミムシ						●	●		
508		オサムシ	キイロチビゴモクムシ						●			
509			アオグロヒラタゴミムシ								●	
510			セスジヒラタゴミムシ								●	
511			タンゴヒラタゴミムシ						●			
512			ジュンサイヒラタゴミムシ						●			

表 3-1-5-6(10) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
513	コウチュウ (鞘翅)	オサムシ	アシミゾヒメヒラタゴミムシ						●		
514			マルガタゴミムシ						●		●
515			シベリアマルガタゴミムシ						●		
516			ツヤマルガタゴミムシ						●		
—			<i>Amara</i> 属の一種						○		
517			ホシボシゴミムシ						●		
518			オオホシボシゴミムシ						●		
519			ゴミムシ						●		●
520			ヒメゴミムシ						●		
521			キベリゴモクムシ						●	●	●
522			メダカチビカワゴミムシ						●		
523			クロズカタキバゴミムシ						●		
524			ウスモンミズギワゴミムシ						●		
525			アトキミズギワゴミムシ						●		
526			ガロアミズギワゴミムシ							●	
527			ヨツボシミズギワゴミムシ						●		●
528			アトモンミズギワゴミムシ						●		
529			ヒメマダラケシミズギワゴミムシ						●		
530			コマダラミズギワゴミムシ						●		
531			ドウイロミズギワゴミムシ								●
532			アオアトキリゴミムシ								●
533			エゾカタビロオサムシ						●		
534			マークオサムシ			VU	B* ³		●	●	
535			アカガネアオゴミムシ						●		
536			キベリアオゴミムシ						●		
537			ヒメキベリアオゴミムシ						●	●	
538			オオアトボシアオゴミムシ						●		●
539			アトボシアオゴミムシ						●		
540			アオゴミムシ						●		●
541			ムナビロアオゴミムシ						●		
542			コガシラアオゴミムシ						●		
543			オオアオモリヒラタゴミムシ						●	●	
544			ハラアカモリヒラタゴミムシ						●		●
545			コハラアカモリヒラタゴミムシ						●		
546			オサムシモドキ								●
547			ミズギワアトキリゴミムシ						●		
548			セアカヒラタゴミムシ						●		
549			ホソアトキリゴミムシ						●		
550			イクビホソアトキリゴミムシ						●		
551			オオキベリアオゴミムシ						●		
552			トゲアシゴモクムシ						●		
553			オオゴモクムシ						●		●
554			ヒロゴモクムシ						●		
555			オオズケゴモクムシ						●		
556			ケウスゴモクムシ						●		
557			ヒメケゴモクムシ						●		
558			ヒラタゴモクムシ						●		
559			ニセクロゴモクムシ						●		
560			ウスアカクロゴモクムシ						●		
561			アカアシマルガタゴモクムシ								●
562			トックリゴミムシ						●	●	
563			コルリアトキリゴミムシ						●		
564			オオゴミムシ						●		
565			ノグチアオゴミムシ								●
566			エチゴトックリゴミムシ			NT	C			●	
567			<i>Panagaeus abei</i>						●		
568			ヨツボシゴミムシ						●		
569			ウスオビコミズギワゴミムシ						●		
570			オオヒラタゴミムシ						●		
571			トックリナガゴミムシ						●		
572			コホソナガゴミムシ						●		

表 3-1-5-6(11) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
573	コウチュウ (鞘翅)	オサムシ	コガシラナガゴミムシ						●		
574			キンナガゴミムシ						●		●
575			ヒメホソナガゴミムシ						●		
576			オオキンナガゴミムシ						●		
—			<i>Pterostichus</i> 属の一種						○		
577			ミドリマメゴモクムシ						●		
578			マメゴモクムシ						●		
579			ツヤマメゴモクムシ						●		
580			ムネアカマメゴモクムシ						●		
581			クロツヤヒラタゴミムシ						●		
582			クリイロコミズギワゴミムシ						●		
583			ヨツモンコミズギワゴミムシ						●		●
584			ヒラタキイロチビゴミムシ						●		
585		ハンミョウ	ニワハンミョウ					●	●		
586			コニワハンミョウ					●	●		●
587			エリザハンミョウ					●	●		●
588			マガタマハンミョウ							●	
589		ゲンゴロウ	メススジゲンゴロウ							●	
590			クロズマメゲンゴロウ						●		
591			シマケシゲンゴロウ					●	●	●	
592			ホソセスジゲンゴロウ						●		
593			ゲンゴロウモドキ				B			●	
594			コシマゲンゴロウ						●		
595			チビゲンゴロウ					●			
596			ナガケシゲンゴロウ				C	●			
—			<i>Hydroporus</i> 属の一種						●		
597			ケシゲンゴロウ			NT	C	●			
598			ヒメケシゲンゴロウ			VU	C			●	
599			ツブゲンゴロウ						●		
600			チャイロシマチビゲンゴロウ					●			
601			オオヒメゲンゴロウ						●		
602			ヒメゲンゴロウ						●		
603		コガシラミズムシ	コガシラミズムシ						●		
604		コツブゲンゴロウ	ヒゲブトコツブゲンゴロウ				C	●		●	
605		ガムシ	ヤマトゴマフガムシ						●	●	
606			トゲバゴマフガムシ						●		
607			ゴマフガムシ						●	●	
—			<i>Berosus</i> 属の一種						○		
608			コケシガムシ							●	
609			ウスモンケシガムシ						●		
610			アカケシガムシ						●	●	
611			キバネケシガムシ						●		
—			<i>Cercyon</i> 属の一種						○		
612			ヒメセマルガムシ						●		
613			セマルケシガムシ						●		
614			キベリヒラタガムシ						●		
615			キイロヒラタガムシ						●		
616			コヒラタガムシ						●		
617			エゾコガムシ			NT	C			●	
618			ガムシ			NT	C				●
619			マグソガムシ							●	
620		エンマムシ	エンマムシ								●
621			オオナガエンマムシ								●
622		シデムシ	オオヒラタシデムシ						●		
623			モモブトシデムシ						●		
624			ヨツボシモンシデムシ						●		
625			オニヒラタシデムシ						●		●
626			ヒメヒラタシデムシ								●
627			ズマルハネカクシ								●
628		ハネカクシ	ヒゲブトセスジハネカクシ						●		
629			キベリカワベハネカクシ						●		

表 3-1-5-6(12) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
—	コウチュウ (鞘翅)	ハネカクシ	<i>Bledius</i> 属の一種						○		
630			<i>Carpelimus</i> 属の一種						●		
631			コゲチャホソコガシラハネカクシ							●	
632			<i>Lobrathium</i> 属の一種						●		
633			スソアカヒメホソハネカクシ							●	
634			アカバヒメホソハネカクシ							●	
635			アオバアリガタハネカクシ						●		
636			オオアカバコガシラハネカクシ								●
—			<i>Philonthus</i> 属の一種						●		
637			<i>Philydrodes</i> 属の一種						●		
638			チャイブシツヤムネハネカクシ							●	
639			ハネナガクビボソハネカクシ							●	
640			クビボソハネカクシ						●		
641			アカバマルクビハネカクシ							●	
642			カタアカマルクビハネカクシ							●	
643			シロヒゲアリノスハネカクシ						●		
644		マルハナノミ	トビイロマルハナノミ						●		
645			ヒメマルハナノミ						●		
646		クワガタムシ	コクワガタ					●	●		●
647			アカアシクワガタ					●			
648			スジクワガタ					●			●
649			ミヤマクワガタ								●
650		コガネムシ	ドウガネブイブイ						●		
651			サクラコガネ						●		●
652			ヒメサクラコガネ						●		
653			ツヤコガネ						●		●
654			ハンノヒメコガネ						●		
655			ヒメコガネ						●		
656			チビサクラコガネ						●		
657			ウスイロマグソコガネ								●
658			エゾマグソコガネ						●		
659			マエカドコエンマコガネ								●
660			ヒメアシナガコガネ						●		
661			セマダラコガネ						●		●
662			ナガチャコガネ						●		
663			クロコガネ						●		●
664			アカビロウドコガネ						●		
665			ヒメビロウドコガネ						●		
666			オオビロウドコガネ						●		
667			コフキコガネ								●
668			コガネムシ								●
669			スジコガネ						●		●
670			コブマルエンマコガネ						●		
671			カドマルエンマコガネ								●
672			ナガスネエンマコガネ								●
673			ウスチャコガネ						●		
674			シロスジコガネ								●
675			マメコガネ						●		
676			ムラサキツヤハナムグリ						●		
677			カブトムシ								●
678		コブスジコガネ	ヘリトゲコブスジコガネ							●	
679		マルトゲムシ	ドウガネツヤマルトゲムシ						●	●	
680		ヒメドロムシ	キスジミズドロムシ								●
681		ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ						●		
682		コメツキムシ	サビキコリ						●		
683			クロモンアカコメツキ							●	
—			<i>Ampedus</i> 属の一種						●		
684			カバイロコメツキ								●
685			ヨツモンミズギワコメツキ						●		
686			クロサワツヤケシコメツキ							●	
687			コガタクシコメツキ						●		

表 3-1-5-6(13) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
688	コウチュウ (鞘翅)	コメツキムシ	クシコメツキ						●		●
689			クロクシコメツキ						●		
690			コハナコメツキ						●		
—			<i>Paracardiophorus</i> 属の一種						○		
691			マダラチビコメツキ						●		
—			コメツキムシ科の一種						○		○
692		コメツキダマシ	エダヒゲコメツキダマシ								●
693		ジョウカイボン	ムネアカフトジョウカイ						●		
694			ムネアカクロジョウカイ						●		●
695			ミヤマクビアカジョウカイ						●		
696			ツユキクロホソジョウカイ							●	
697			クロチビジョウカイ						●		
698			<i>Podabrus</i> 属の一種						●		
699			ヒガシマルムネジョウカイ						●	●	
700			クリイロジョウカイ							●	
701		ホタル	ヘイケボタル								●
702		ジョウカイモドキ	イシハラジョウカイモドキ						●		
703			<i>Intybria</i> 属の一種								●
704		テントウムシ	カメノコテントウ						●		●
705			アイヌテントウ								●
706			ナナホシテントウ						●		●
707			ナミテントウ						●		●
708			オオニジュウヤホシテントウ								●
709			ジュウサンホシテントウ						●		●
710			ヒメカメノコテントウ						●		●
711			コカメノコテントウ						●		
712			クモガタテントウ								●
713			ババヒメテントウ				D		●		
714			クロヘリヒメテントウ						●		
715			クロヒメテントウ						●		
716			カグヤヒメテントウ						●		
—			<i>Scymnus</i> 属の一種						○		
717			シロホシテントウ						●		
718		キスイムシ	<i>Atomaria</i> 属の一種						●		
719		テントウムシダマシ	セグロツヤテントウダマシ						●		
720		オオキスイムシ	ヨツボシオオキスイ						●		●
721		ヒメマキムシ	ヒメマキムシ							●	
722		ケシキスイ	クロハナケシキスイ						●		
723			ヒメヒラタケシキスイ								●
724			マメヒラタケシキスイ							●	
725			ヨツボシケシキスイ						●		●
726			オドリコソウチビケシキスイ						●		
—			<i>Meligethes</i> 属の一種						○		
727			ヘリグロヒラタケシキスイ								●
728			ニセキボシヒラタケシキスイ						●		
729		アリモドキ	ワタラセミズギワアリモドキ							●	
730			キアシクビボソムシ						●		
731			クロモンイッカク						●		
732		クビナガムシ	クビカクシナガクチキムシ						●		
733		ナガクチキムシ	クロホソナガクチキ							●	
734		カミキリモドキ	キイロカミキリモドキ東日本亜種						●		
735		オオハナノミ	クロオオハナノミ								●
736		チビキカワムシ	ヒメクチキムシダマシ							●	
737		ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ						●		
738		ヒラタナガクチキムシ	ヒメコメツキガタナガクチキ							●	
739		ゴミムシダマシ	クワガタゴミムシダマシ							●	
740			コスナゴミムシダマシ						●		
741			ヒメスナゴミムシダマシ						●		
742			カクスナゴミムシダマシ						●		
743			クロツヤバネクチキムシ							●	
744			オオメキバネハムシダマシ						●		

表 3-1-5-6(14) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
745	コウチュウ (鞘翅)	ゴミムシダマシ	ヒメキマワリ							●	
746			セコブナガキマワリ							●	
747			ミツノゴミムシダマシ							●	
748		カミキリムシ	ウスバカミキリ						●		●
749			アカジマトラカミキリ							●	
750			ゴマダラカミキリ						●		●
751			クワカミキリ								●
752			クロトラカミキリ								●
753			トウホクトラカミキリ				C			●	
754			トウキョウトラカミキリ							●	
755			ヨコヤマヒゲナガカミキリ				C			●	
756			ヒラヤマコブハナカミキリ							●	
757			クモガタケシカミキリ								●
758			シラオビゴマフケシカミキリ						●		
759			アトモンマルケシカミキリ						●		●
760			オオクロカミキリ								●
761			カタシロゴマフカミキリ							●	●
762			ヒゲジロホソコバナカミキリ				C*4			●	
763			オオホソコバナカミキリ							●	
764			ケブカヒラタカミキリ							●	
765			シラハタリソコカミキリ							●	
766			エゾトラカミキリ							●	
767			ニセヨコモンヒメハナカミキリ							●	
768			ノコギリカミキリ					●			●
769			トガリシロオビスカミキリ								●
770			ルリボシカミキリ								●
771			ビャクシンカミキリ							●	
772			クロカミキリ								●
773			アカハナカミキリ						●		●
774			トラフホソバナカミキリ							●	
775			ヤハズカミキリ							●	
776		ハムシ	アカガネサルハムシ								●
777			キタカミナリハムシ						●		
778			アカバナカミナリハムシ						●		
—			<i>Altica</i> 属の一種						○		
779			ムナグロツヤハムシ						●		
780			ジンガサハムシ						●		●
781			ウリハムシモドキ						●		●
782			アオバネサルハムシ						●		
783			<i>Bruchus</i> 属の一種						●		
784			フタイロヒサゴトビハムシ						●		
785			ヒメドウガネトビハムシ						●		
786			オオサルハムシ							●	
787			ヨモギハムシ								●
788			ハッカハムシ						●		●
789			オオルリハムシ			NT	C			●	●
790			ヤナギハムシ						●		
791			イモサルハムシ								●
792			ミドリトビハムシ						●		
793			スズキミドリトビハムシ						●		
794			キアシチビツツハムシ						●		
795			タテスジキツツハムシ						●		
796			ニセセスジツツハムシ						●		
797			イチゴハムシ						●		
798			クルミハムシ								●
799			セアカクビボソハムシ							●	
800			チュウジョウアシナガトビハムシ						●		
—			<i>Longitarsus</i> 属の一種						○		
801			フタスジヒメハムシ						●		
802			カクムネチビトビハムシ						●		
803			アオグロツヤハムシ							●	

表 3-1-5-6(15) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
804	コウチュウ (鞘翅)	ハムシ	イネクビボソハムシ						●		
805			ハギツツハムシ						●		
806			マルキバネサルハムシ						●		
807			ヤナギルリハムシ						●		
808			ルリハムシ								●
809			ナトビハムシ						●		
810			ダイコンナガスネトビハムシ						●		
811			ミソハギハムシ						●		
812			エグリバケブカハムシ						●		
813			イタヤハムシ						●		
814			ハシバミハムシ						●		
815		ヒゲナガゾウムシ	シリジロヒゲナガゾウムシ							●	
816			アカアシヒゲナガゾウムシ							●	
817			スネアカヒゲナガゾウムシ							●	
818			マダラヒゲナガゾウムシ							●	
819			クロホシメナガヒゲナガゾウムシ							●	
820			キマダラヒゲナガゾウムシ							●	
821			クロフヒゲナガゾウムシ							●	
822			ウスグロチビヒゲナガゾウムシ							●	
823	ホソクチゾウムシ	ホソクチゾウムシ	キヒゲホソクチゾウムシ							●	
824			ナガホソクチゾウムシ							●	
825			アカクチホソクチゾウムシ							●	
826			ヒゲナガホソクチゾウムシ							●	
827	オトシブミ	オトシブミ	チャイロチョッキリ							●	
828			ウスモンオトシブミ							●	
829			ヒメクロオトシブミ						●		
830			セアカヒメオトシブミ						●		●
831			オトシブミ							●	
832			ムツモンオトシブミ							●	
833			ウスアカオトシブミ							●	
834			モンケシツブチョッキリ							●	
835			サメハダハマキチョッキリ							●	
836			エゴツルクビオトシブミ							●	
837			ルリイクビチョッキリ							●	
838			ルリホソチョッキリ							●	
839			コブルリオトシブミ							●	
840			カシルリオトシブミ							●	●
841			オオケブカチョッキリ							●	
842			ビロウドアシナガオトシブミ							●	
843			ツツムネチョッキリ							●	
844			クチブトチョッキリ							●	
845	ゾウムシ	ゾウムシ	チビデオゾウムシ							●	
846			イチゴハナゾウムシ						●		●
847			ジュウジチビシギゾウムシ							●	
848			エゾヒメゾウムシ						●		
849			ダイコンサルゾウムシ						●		
850			オオアオゾウムシ						●		●
851			ヤナギシリジロゾウムシ						●		●
852			セダカシギゾウムシ							●	
853			コナラシギゾウムシ							●	
854			ナツグミシギゾウムシ							●	
855			ヒメシギゾウムシ							●	
856			クリシギゾウムシ							●	
857			マルカクチゾウムシ							●	
858			ヒメシロコブゾウムシ							●	
859			オオタコゾウムシ						●		
860			アカイネゾウムシ						●		
861			シロコブゾウムシ							●	
862			コフキゾウムシ						●		
863			マツアナアキゾウムシ							●	
864			ヒラタチビノミゾウムシ							●	

表 3-1-5-6(16) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
865	コウチュウ (鞘翅)	ゾウムシ	ムモンチビシギゾウムシ							●	
866			ウスモンチビシギゾウムシ							●	
867			フタキボシゾウムシ						●		●
868			スゲノハラジロヒメゾウムシ							●	
869			カツオゾウムシ								●
870			アイノカツオゾウムシ						●		
871			シラフヒョウタンゾウムシ							●	
872			クワヒメゾウムシ							●	
873			クチブトヒゲボソゾウムシ							●	
874			ツヤケシヒメゾウムシ							●	
875			リンゴアナアキゾウムシ							●	
876			スグリゾウムシ								●
877			ギシギシクチブトサルゾウムシ							●	
878			<i>Rhynchaenus</i> 属の一種						●		
879			サビヒョウタンゾウムシ								●
880			アカスジケシツブゾウムシ							●	
881			ヤナギノミゾウムシ						●		
882		オサゾウムシ	オオゾウムシ								●
883		イネゾウムシ	イネミズゾウムシ						●		
884			クロイネゾウモドキ						●		
885		チビゾウムシ	ホソチビゾウムシ						●		
886		キクイムシ	マツノスジキクイムシ							●	
887	ハチ (膜翅)	ハバチ	セグロカブラハバチ						●		
888			カブラハバチ						●		
889			オスグロハバチ						●		
—			<i>Dolerus</i> 属の一種						○		
890			<i>Strongylogaster</i> 属の一種						●		
891		アシブトコバチ	キアシブトコバチ						●		
892		セイボウ	ホンドツヤセイボウ						●		
893		アリ	クロヤマアリ						●		
894			キイロケアリ						●		
895			トビイロケアリ						●		
896			カワラケアリ						●		
897			アメイロアリ						●		
898			トビイロシワアリ						●		
899		スズメバチ	ケブカスジドロバチ						●		
900			ナミカバフドロバチ								●
901			フタモンアシナガバチ本土亜種						●		●
902			セグロアシナガバチ本土亜種								●
903			キアシナガバチ本土亜種								●
904			フトカギチビドロバチ						●		
905			コガタスズメバチ						●		
906			モンスズメバチ			DD	C				●
907			クロスズメバチ								●
908		クモバチ	オオモンクロクモバチ						●		
909		コツチバチ	<i>Tiphia</i> 属の一種						●		
910		ツチバチ	オオモンツチバチ							●	
911		ギングチバチ	オオギングチ						●	●	
912			ジョウザンギングチ							●	
913			チャタテギングチ						●		
914			クロタビギングチ						●		
915			ヒメハヤバチ						●		
916			ヒロズハヤバチ						●		
917			ナミジガバチモドキ							●	
918		ドロバチモドキ	ニッポンハナダカバチ			VU	C			●	●
919			ミスジアワフキバチ							●	
920		アリマキバチ	アシジロヨコバイバチ						●		
921			ヒメイスカバチ						●		
922			キアシマエダテバチ						●		
923		フシダカバチ	キスジツチスガリ								●
924		アナバチ	ヤマトルリジガバチ				B				●

表 3-1-5-6(17) 文献調査昆虫類確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
925	ハチ (膜翅)	ヒメハナバチ	キバナヒメハナバチ						●		
—			<i>Andrena</i> 属の一種						○		
926		ミツバチ	ニホンミツバチ						●		●
927			セイヨウミツバチ						●		
928			キオビツヤハナバチ						●		
929			シロスジヤドリハナバチ						●		
930			ミツクリヒゲナガハナバチ						●		
931		ムカシハナバチ	オオムカシハナバチ						●		
932			アシプトムカシハナバチ						●		
933			スミスメンハナバチ						●		
934			ホソメンハナバチ						●		
—			<i>Hylaeus</i> 属の一種						○		
935		コハナバチ	アカガネコハナバチ						●		
936			ホクダイコハナバチ						●		
937			シロスジカタコハナバチ						●		
938			コビトチビハナバチ						●		
939			フタモンカタコハナバチ						●		
—			<i>Lasioglossum</i> 属の一種						○		
940		ハキリバチ	チビトガリハナバチ								●
941			シロオビキホリハナバチ								●
942			アルファルフアハキリバチ						●		
—			<i>Megachile</i> 属の一種								●
943		ケアシハナバチ	シロスジフデアシハナバチ				D			●	
944			シロアシクサレダマバチ				C		●		
—			<i>Macropis</i> 属の一種						○		
計	13 目	169 科	944 種	0 種	1 種	22 種	42 種	81 種	653 種	159 種	205 種

注 1：分類、配列などは「河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和 7 年度生物リストー」（河川環境データベース 国土交通省、2025 年）に準拠

注 2：表中の「○」は、同属の種が確認されている為、種数に計上しない

注 3：重要種の選定基準は以下のとおり

I：「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 法律第 214 号）

国特：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物

II：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）

国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種

III：「環境省レッドリスト 2020 の公表について」（2020 年 3 月公表 環境省）

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV：「青森県の希少な野生生物ー青森県レッドデータブック（2020 年改訂版）ー」（2020 年 3 月 青森県）

EX：絶滅野生生物 A：最重要希少野生生物 B：重要希少野生生物 C：希少野生生物

D：要調査野生生物 LP：地域限定希少野生生物

注 4：選定基準の注釈は以下のとおり

※1：ゴマシジミで掲載

※2：ヒメシロチョウで掲載

※3：マークオサムシ本州亜種で掲載

※4：ヒゲシロホソコバナカミキリで掲載

出典：使用文献は以下のとおり

文献 1：「第 5 回自然環境保全基礎調査」（生物多様性センターホームページ）

文献 2：「河川水辺の国勢調査 1996 年、2001 年、2008 年、2018 年岩木川陸上昆虫类等」のうち、津軽大橋における確認種（水情報国土データ管理センターホームページ）

文献 3：「Celastrina」（津軽昆虫同好会）の掲載論文から中里町、五所川原市での確認種を抜粋

文献 4：「中里町誌」（昭和 51 年 中里町） 山添地帯の生物を抜粋

5) 魚類

文献調査により生息の情報が得られた魚類は 9 目 22 科 58 種であった。文献調査における魚類確認種一覧を表 3-1-5-7(1)～(2)に示す。

文献調査により確認された魚類のうち、重要種選定基準に該当した種は、ドジョウ、シロウオ、チチブ等 15 種である。

表 3-1-5-7(1) 文献調査魚類確認種一覧

No	目 名	科 名	種 名	重要種選定基準				文献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	キタスナヤツメ			VU	B ^{※1}				●
2			カワヤツメ			VU	C				●
3	コイ	コイ	コイ (型不明)								●
4			コイ (改良品種型)						●		
5			ゲンゴロウブナ ^{注4}								●
6			ギンブナ					●	●		●
—			フナ属の一種						○	●	
7			ヤリタナゴ			NT	A				●
—			タナゴ属の一種								○
8			タイリクバラタナゴ						●		●
9			オイカワ						●		●
10			アブラハヤ							●	●
11			マルタ								●
12			エゾウグイ			LP	C				●
13			ウグイ					●	●		●
—			ウグイ属の一種						○		
14			モツゴ					●	●		●
15			ビワヒガイ						●		
16			タモロコ						●		●
17			ゼゼラ ^{注4}						●		●
18			カマツカ						●		●
19			ニゴイ						●		●
—			コイ科の一種						○		
20		ドジョウ	ドジョウ			NT		●		●	●
21			カラドジョウ						●		
22			ヒガシシマドジョウ					●			●
23		フクドジョウ	エゾホトケドジョウ			EN	C				●
24	ナマズ	ギギ	ギギ						●		
25		ナマズ	ナマズ					●	●		●
26	サケ	キュウリウオ	ワカサギ					●	●		●
27		アユ	アユ					●		●	●
28		シラウオ	シラウオ						●		
29		サケ	カワマス								●
30			アメマス					●			●
—			アメマス類					○		●	
31			ニジマス								●
32			サケ					●			●
33			サクラマス (ヤマメ)			NT ^{※2}		●			●
34	トゲウオ	トゲウオ	ニホンイトヨ			LP ^{※3}	A ^{※3}	●			●
35			トミヨ			LP ^{※4}	B ^{※5}				●
36	ボラ	ボラ	ボラ						●		
37			メナダ						●		
38	ダツ	メダカ	キタノメダカ			VU ^{※6}	B ^{※6}	●		●	●
39		サヨリ	サヨリ								
40	スズキ	サンフィッシュ	オオクチバス						●		

表 3-1-5-7(2) 文献調査魚類確認種一覧

No	目 名	科 名	種 名	重要種選定基準				文 献			
				I	II	III	IV	1	2	3	4
41	スズキ	ヒイラギ	ヒイラギ						●		
42		シマイサキ	シマイサキ								
43		タイ	クロダイ						●		
44		カジカ	カジカ			EN・NT ^{※7}	B・C ^{※7}	●		●	●
45		ハゼ	ミミズハゼ								●
46			シロウオ			VU	C	●			
47			マハゼ						●		
48			アシシロハゼ					●	●		●
49			ヌマチチブ						●		
50			チチブ				D	●			●
51			オオヨシノボリ						●		
52			トウヨシノボリ種群						●		
—			ヨシノボリ属の一種					●			●
53			スミウキゴリ			LP		●			
54			ウキゴリ						●		●
55			ビリンゴ					●	●		●
56			ジュズカケハゼ			NT ^{※8}	C	●	●		●
57		タイワンドジョウ	カムルチー					●			●
58	カレイ	カレイ	ヌマガレイ					●	●		
計	9 目	22 科	58 種	0 種	0 種	14 種	12 種	23 種	30 種	7 種	40 種

注 1：分類、配列などは「河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和 7 年度生物リストー」（河川環境データベース 国土交通省、2025 年）に準拠

注 2：表中の「○」は、同属の種が確認されている為、種数に計上しない

注 3：重要種の選定基準は以下のとおり

I：「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 法律第 214 号）

国特：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物

II：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）

国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種

III：「環境省レッドリスト 2020 の公表について」（2020 年 3 月公表 環境省）

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA 類 EN：絶滅危惧ⅠB 類 VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV：「青森県の希少な野生生物ー青森県レッドデータブック（2020 年改訂版）ー」（2020 年 3 月 青森県）

EX：絶滅野生生物 A：最重要希少野生生物 B：重要希少野生生物 C：希少野生生物

D：要調査野生生物 LP：地域限定希少野生生物

注 4：ゲンゴロウブナは選定基準Ⅲで EN、ゼゼラは選定基準Ⅲで VU にランク指定されているが、琵琶湖原産の種であることから国内外来種（日本国内で本来の分布域以外に持ち込まれた種）と考えられるため重要種としない。

注 5：各選定基準において本表と異なる掲載名や地域個体群を限定した指定状況等は以下の通り

※1：スナヤツメ類で掲載（キタスナヤツメ *Lethenteron mitsukurii* は、スナヤツメ類 *Lethenteron* spp に含まれる）

※2：サクラマス（ヤマメ）として NT ランクに指定されている。

※3：イトヨ類にはイトヨ日本海型、イトヨ太平洋型、ハリヨが含まれており、選定基準Ⅲでは本州のイトヨ日本海型が LP ランクに、ハリヨが CR ランクに、選定基準Ⅳではイトヨ（日本海型、太平洋型の区分なし）が A ランクにそれぞれ指定されている。

※4：本州のトミヨ属淡水型

※5：トミヨ属淡水型で掲載

※6：メダカは現在、北日本集団及び南日本集団に分類されており、選定基準Ⅲでは両種共に VU ランクに、選定基準Ⅳでは北日本集団が B ランクにそれぞれ指定されている。なお、本来の分布域をみると、青森県は全域が北日本集団の生息地となっている。

※7：カジカは現在、小卵型、中卵型、大卵型に分類されており、選定基準Ⅲではカジカ小卵型及びカジカ中卵型が EN ランクに、カジカ大卵型が NT ランクに、選定基準Ⅳではカジカ小卵型及びカジカ中卵型が B ランクに、カジカ大卵型が C ランクに、それぞれ指定されている。

※8：ジュズカケハゼは現在、鳥海山周辺固有種、富山固有種、関東固有種、広域分布種に分類されており、選定基準Ⅲでは鳥海山周辺固有種及び富山固有種が CR ランクに、関東固有種が EN ランクに、広域分布種が NT ランクにそれぞれ指定されている。

出典：使用文献は以下のとおり

文献 1：「第 5 回自然環境保全基礎調査」（生物多様性センターホームページ）

文献 2：「河川水辺の国勢調査 2002、2007、2012、2017、2022 岩木川魚類」のうち、岩木川河口及び長泥における確認種（水情報国土データ管理センターホームページ）

文献 3：「中里町誌」（昭和 41 年 中里町）山添地帯の生物を抜粋

文献 4：「青森県の淡水魚類相について」（淡水魚第 11 号抜粋 竹内他 1985 年）

6) 底生動物

文献調査により生息の情報が得られた底生動物は 25 目 61 科 113 種であった。文献調査における底生動物確認種一覧を表 3-1-5-8(1)～(3)に示す。

文献調査により確認された底生動物のうち、重要種選定基準に該当した種は、カワネジガイ、カワシンジュガイ、ヤマトシジミの 10 種である。

表 3-1-5-8(1) 文献調査底生動物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献		
				I	II	III	IV	1	2	3
1	タンスイカイメン	タンスイカイメン	ヨワカイメン						●	
2			カワムラカイメン						●	
3	三岐腸	サンカクアタマウズムシ	ナミウズムシ						●	
4			アメリカナミウズムシ						●	
5	新生腹足	カワニナ	カワニナ						●	
6		ミズツボ	カワネミジンツボ			DD			●	
7		カワザンショウガイ	カワザンショウガイ						●	
8	汎有肺	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ						●	
9		サカマキガイ	サカマキガイ						●	
10		ヒラマキガイ	カワネジガイ			CR	D		●	
11			カワコザラガイ			CR			●	
12	フネガイ	サンカクサルボオ	ミミエガイ						●	
13	イガイ	イガイ	カワヒバリガイ						●	
14	イシガイ	カワシンジュガイ	カワシンジュガイ		国内	EN	C		●	
15		イシガイ	タガイ						●	
16			カラスガイ属の一種						●	
17			イシガイ						●	
18			タテボシガイ						●	
19			ヌマガイ						●	
20			ドブガイ						●	
21	マルスダレガイ	シジミ	ヤマトシジミ			NT		●		
-			<i>Corbicula</i> 属の一種						○	
22		ドブシジミ	カワムラマメシジミ						●	
-			マメシジミ属の一種						○	
23	サシバゴカイ	ゴカイ	<i>Hediste</i> 属の一種						●	
24	イトゴカイ	イトゴカイ	イトゴカイ						●	
25			<i>Notomastus</i> 属の一種						●	
26	ナガミミズ	ナガミミズ	カワリナガミミズ						●	
27	オヨギミミズ	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種						●	
28	イトミミズ	ミズミミズ	エラオイミズミミズ						●	
29			エラミミズ						●	
30			ウチワミミズ属の一種						●	
31			フトゲユリミミズ						●	
-			<i>Limnodrilus</i> 属の一種						○	
32			カワリミズミミズ						●	
-			<i>Nais</i> 属の一種						○	
33			ヨゴレミズミミズ						●	
34			<i>Tubifex</i> 属の一種						●	
35			アカオビミズミミズ						●	
-			ミズミミズ科の一種						○	
-			ミミズ綱 (貧毛綱)						○	
36	吻無蛭	イシビル	シマイシビル						●	
-			イシビル科の一種						○	
37		ナガレビル	ナガレビル科の一種						●	
38	ヨコエビ	ユンボソコエビ	ニホンドロソコエビ						●	

表 3-1-5-8(2) 文献調査底生動物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献		
				I	II	III	IV	1	2	3
39	ヨコエビ	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ						●	
40	ワラジムシ	ニセウオノエ	エビノコバン						●	
41		コツブムシ	イソコツブムシ						●	
-			イソコツブムシ属の一種						○	
42	アミ	アミ	クロイサザアミ						●	
43			ニホンイサザアミ						●	
44	エビ	ヌマエビ	ヌマエビ						●	●
45			ヌカエビ				C		●	
46		テナガエビ	スジエビ						●	
47		テッポウエビ	カワテッポウエビ						●	
48		アメリカザリガニ	アメリカザリガニ科の一種							●
49		ワタリガニ	カワリイシガニ						●	
50		モクズガニ	モクズガニ						●	●
51			<i>Hemigrapsus</i> 属の一種						●	
52		ムツハアリアケガニ	カワスナガニ			NT			●	
53	ハネコケムシ	オオマリコケムシ	オオマリコケムシ						●	
54	カゲロウ (蜉蝣)	コカゲロウ	フタモンコカゲロウ						●	
55			フタバカゲロウ属の一種						●	
56		フタオカゲロウ	ナミフタオカゲロウ						●	
57	トンボ (蜻蛉)	イトトンボ	アジアイトンボ						●	
-			イトトンボ科の一種						○	
58		サナエトンボ	コオニヤンマ						●	
59		トンボ	マユタテアカネ						●	
60			アキアカネ						●	
61			リスアカネ						●	
-			<i>Sympetrum</i> 属の一種						○	
62	カメムシ (半翅)	アメンボ	アメンボ						●	
63			ヒメアメンボ						●	
-			アメンボ科の一種						○	
64		カタビロアメンボ	カタビロアメンボ科の一種						●	
65		ミズムシ (昆)	ミズムシ (昆)				C		●	
66			チビミズムシ						●	
67			コミズムシ						●	
68		コオイムシ	オオコオイムシ						●	
69		マツモムシ	マツモムシ						●	
70	トビケラ (毛翅)	ヒゲナガカワトビケラ	カワトビケラ						●	
71		ナガレトビケラ	カワムラナガレトビケラ						●	
72			カワラボウナガレトビケラ						●	
73		ニンギョウトビケラ	カワモトニンギョウトビケラ						●	
74		エグリトビケラ	セグロトビケラ						●	
75			キリバネトビケラ属の一種						●	
-			エグリトビケラ科の一種						○	
76	ハエ (双翅)	ヒメガガンボ	<i>Erioptera</i> 属の一種						●	
77		ガガンボ	<i>Tipula</i> 属の一種						●	
-			ガガンボ科の一種						○	
78		ケヨソイカ	<i>Chaoborus</i> 属の一種						●	
79		ユスリカ	クロユスリカ属の一種						●	
80			ユスリカ属の一種						●	
81			<i>Cladopelma</i> 属の一種						●	
82			<i>Cricotopus</i> 属の一種						●	
83			カマガタユスリカ属の一種						●	
84			<i>Diplocladius</i> 属の一種						●	
85			<i>Einfeldia</i> 属の一種						●	
86			セボリユスリカ属の一種						●	

表 3-1-5-8(3) 文献調査底生動物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				文献		
				I	II	III	IV	1	2	3
87	ハエ (双翅)	ユスリカ	オオミドリユスリカ						●	
-			<i>Lipiniella</i> 属の一種						○	
88			エリユスリカ属の一種						●	
89			カワリユスリカ属の一種						●	
90			カワリフトオハモンユスリカ						●	
-			ハモンユスリカ属の一種						○	
91			カユスリカ属の一種						●	
92			<i>Stictochironomus</i> 属の一種						●	
93			<i>Tanytarsus</i> 属の一種						●	
-			ユスリカ科の一種						○	
94		ホソカ	<i>Dixa</i> 属の一種						●	
95		ブユ	カワムラアシマダラブユ						●	
96		ミギワバエ	ミギワバエ科の一種						●	
97	コウチュウ (鞘翅)	ゲンゴロウ	クロズマメゲンゴロウ						●	
98			マメゲンゴロウ						●	
99			ゲンゴロウモドキ				B		●	
-			<i>Dytiscus</i> 属の一種						○	
100			コシマゲンゴロウ						●	
101			チビゲンゴロウ						●	
102			ツブゲンゴロウ						●	
103			オオヒメゲンゴロウ						●	
104			ヒメゲンゴロウ						●	
-			ゲンゴロウ科の一種						○	
105		ミズスマシ	<i>Gyrinus</i> 属の一種						●	
106		コガシラミズムシ	<i>Halipilus</i> 属の一種						●	
107			コガシラミズムシ						●	
108		コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ						●	
109		ガムシ	ゴマフガムシ						●	
110			キイロヒラタガムシ						●	
111			ルイスヒラタガムシ						●	
112			シジミガムシ			EN			●	
-			ガムシ科の一種						○	
113		ヒラタドロムシ	マスダチビヒラタドロムシ						●	
計	25 目	61 科	113 種	0 種	1 種	7 種	5 種	1 種	111 種	3 種

注 1：分類、配列などは「河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和 7 年度生物リストー」（河川環境データベース 国土交通省、2025 年）に準拠

注 2：表中の「○」は、同属の種が確認されている為、種数に計上しない

注 3：重要種の選定基準は以下のとおり

I：「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 法律第 214 号）

国特：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物

II：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）

国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種

III：「環境省レッドリスト 2020 の公表について」（2020 年 3 月公表 環境省）

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV：「青森県の希少な野生生物ー青森県レッドデータブック（2020 年改訂版）ー」（2020 年 3 月 青森県）

EX：絶滅野生生物 A：最重要希少野生生物 B：重要希少野生生物 C：希少野生生物

D：要調査野生生物 LP：地域限定希少野生生物

出典：使用文献は以下のとおり

文献 1：「第 5 回自然環境保全基礎調査」（生物多様性センターホームページ）

文献 2：「河川水辺の国勢調査 1994 年、1999 年、2004 年、2009 年、2014 年、2019 年 岩木川底生動物」のうち、津軽大橋における確認種（水情報国土データ管理センターホームページ）

文献 3：「中里町誌」（昭和 41 年 中里町）から山添地帯の生物を抜粋

7) 注目すべき生息地

(7) 天然記念物

事業実施想定区域及びその周辺にある「文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)」に基づく天然記念物に、県天然記念物に指定されている「十三湖の白鳥」がある。これは、冬季における白鳥の集団飛来地として知られるものである。なお、当該天然記念物は事業実施想定区域の外側に位置している。

(イ) 生息地等保護区

事業実施想定区域及びその周辺には、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に指定されている生息地等保護区は存在しない。

(ウ) 重要湿地

事業実施想定区域及びその周辺には、環境省により「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」に選定されている「十三湖及び岩木川河口」が存在する。重要湿地の選定内容を表 3-1-5-9 に、選定基準の説明を表 3-1-5-10 に、重要湿地の位置を図 3-1-5-19 に示す。

表 3-1-5-9 重要湿地の選定内容

生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
十三湖および岩木川河口	ガンカモ類	マガン、コハクチョウなどの飛来地	4
十三湖および岩木川河口	湿地性鳥類	オオセッカ、チュウヒの繁殖地	2
十三湖および岩木川下流域の湿地群	昆虫類	エゾコガムシ、ホソガムシなどの水生甲虫類をはじめとした水生昆虫が豊富で、周辺にはキタアカシジミが生息する。ゲンゴロウモドキ、オオシマゲンゴロウ、アオヤンマの生息地	2、3
十三湖および岩木川河口	淡水魚類	ジュウサンウグイのタイプ産地	2
十三湖および岩木川河口	底生動物	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地	1

表 3-1-5-10 選定基準

選定基準	内容
基準 1	湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・砂浜・マングローブ湿地、藻場、サンゴ礁等の生態系のうち、生物の生育・生息地として典型的または相当の規模の面積を有している場合
基準 2	希少種、固有種等が生育・生息している場合
基準 3	多様な生物相を有している場合（ただし、外来種を除く）
基準 4	特定の種の個体群のうち、相当な割合の個体数が生育・生息する場合
基準 5	生物の生活史の中で不可欠な地域（採餌場、繁殖場等）である場合

(イ) 海鳥集団繁殖地

環境アセスメントデータベース（環境省ホームページ）の注目すべき生息地の海鳥繁殖地によると、事業実施想定区域及びその周辺には海鳥繁殖地が存在し、カワウとコアジサシの繁殖が確認された。メッシュ毎の海鳥繁殖地の情報を図 3-1-5-20 に示す。

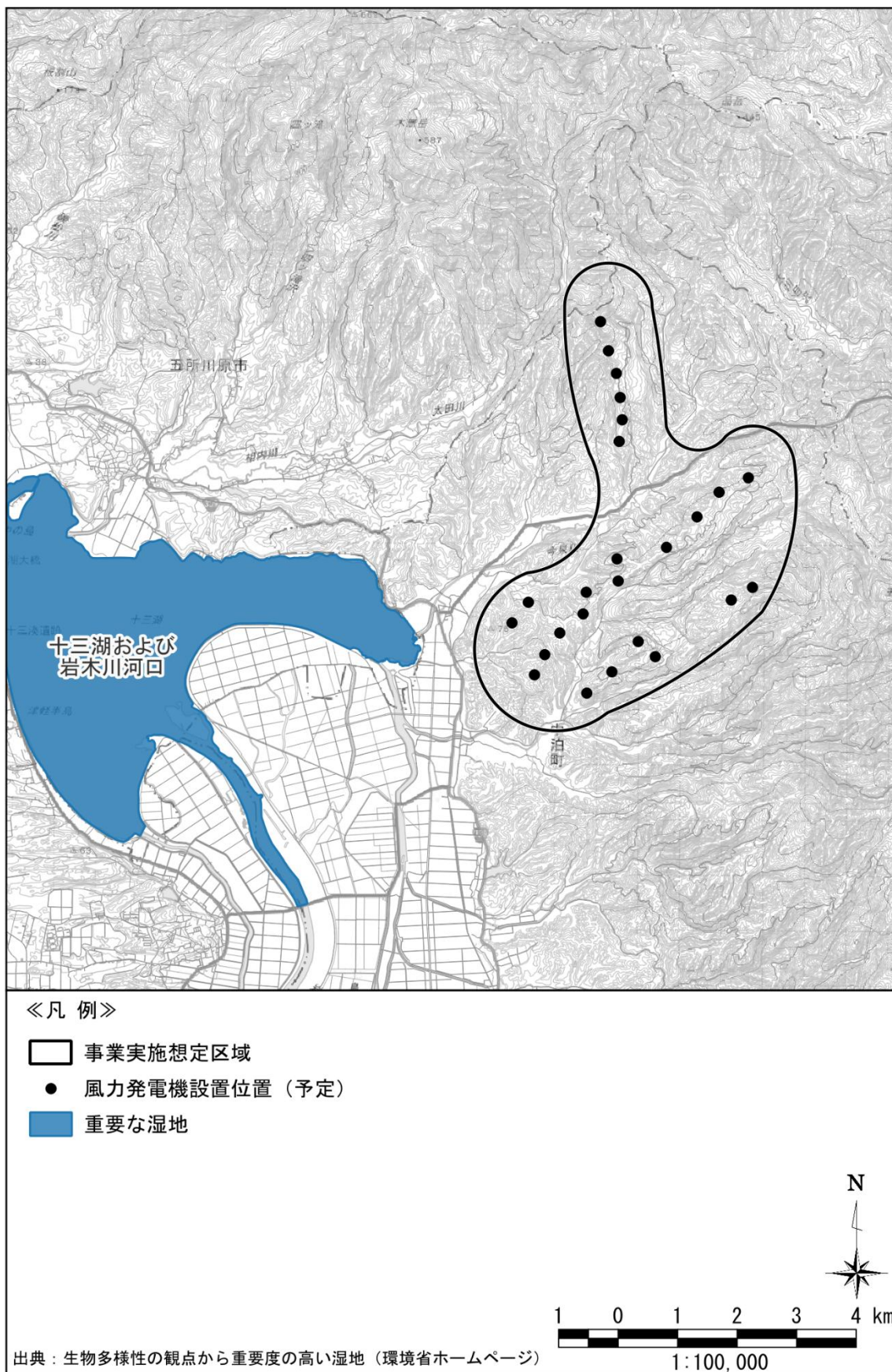


図 3-1-5-19 重要湿地の位置



図 3-1-5-20 海鳥繁殖地

(オ) ラムサール条約登録湿地

事業実施想定区域及びその周辺には、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）」（昭和 55 年条約第 28 号）に基づく登録湿地は存在しない。

(カ) 重要野鳥生息地

事業実施想定区域及びその周辺には、環境省の環境アセスメントデータベースにおいて重要野鳥生息地（IBA：Important Bird and Biodiversity Area）として選定されている「岩木川河口・十三湖」が存在する。重要野鳥生息地（IBA）の選定基準を表 3-1-5-11 に、重要野鳥生息地（IBA）の位置を図 3-1-5-21 に示す。

表 3-1-5-11 重要野鳥生息地（IBA）の選定内容

サイト名	環境構成	選定理由※
岩木川河口・十三湖	潟湖/干潟	A1：オオセッカ
		A3：オオセッカ、コジュリン

※A1：世界的に絶滅が危惧される種
A3：バイオーム限定種
出典：環境アセスメントデータベース（環境省 閲覧日：2026 年 5 月）

(キ) 生物多様性重要地域

事業実施想定区域及びその周辺には、環境省の環境アセスメントデータベースにおいて生物多様性重要地域（KBA：Key Biodiversity Area）として選定されている「岩木川河口・十三湖」及び「屏風山湿原池沼群」が存在する。生物多様性重要地域（KBA）の選定内容を表 3-1-5-12 に、生物多様性重要地域（KBA）の位置を図 3-1-5-22 に示す。

表 3-1-5-12 生物多様性重要地域（KBA）の選定内容

地域名	自治体	基準※					
		CR	EN	VU	RR	A3	A4
岩木川河口・十三湖	青森県つがる市、 青森県五所川原市、 青森県北津軽郡中泊町	—	—	1	—	1	—
屏風山湿原池沼群	青森県つがる市、 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町	—	2	—	—	—	—

※：基準ごとに生息記録がある対象種の数を示す。（危機性：CR、EN、VU/非代替性：RR、A3、A4）
出典：環境アセスメントデータベース（環境省 閲覧日：2026 年 5 月）

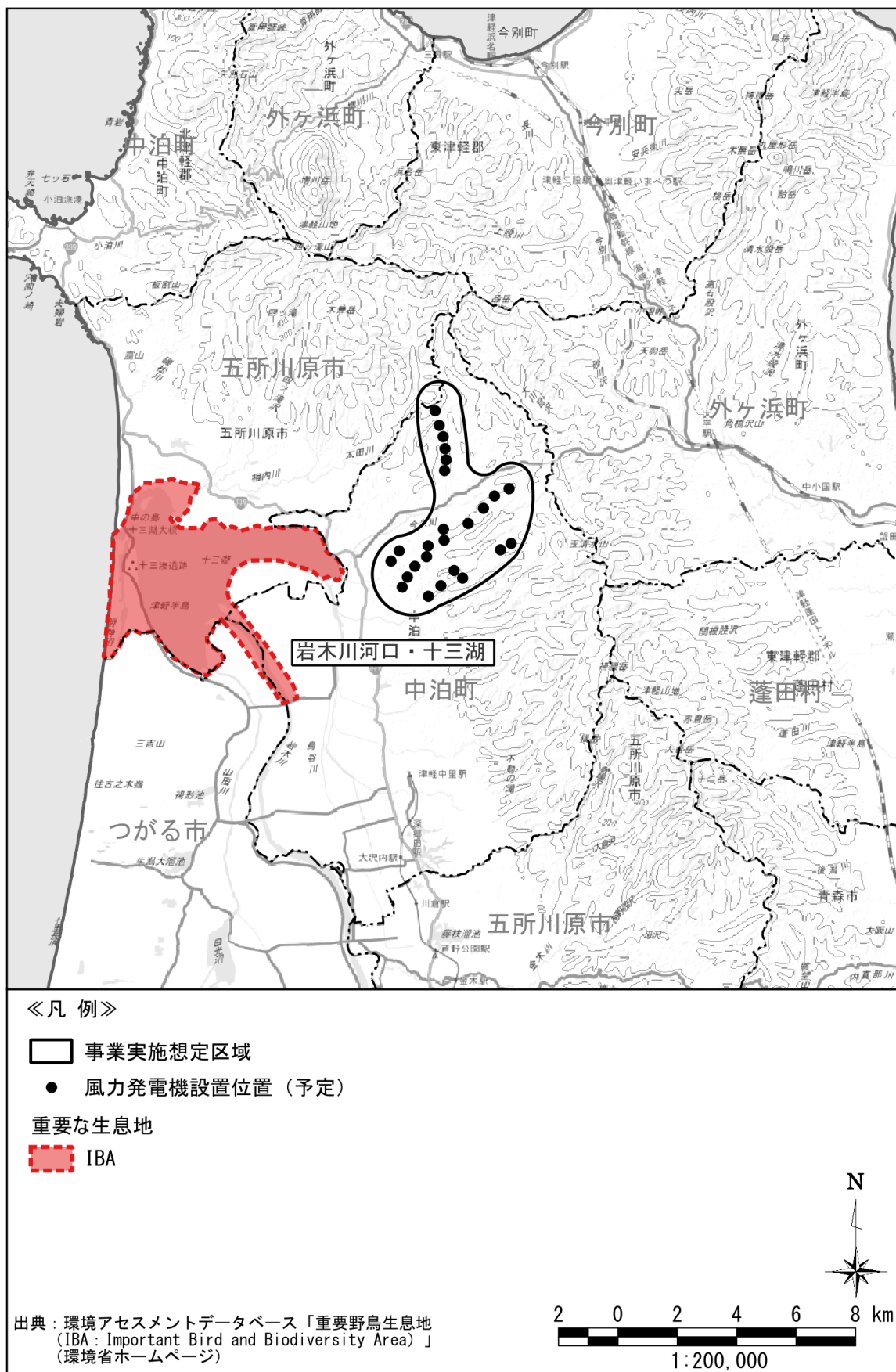


図 3-1-5-21 重要野鳥生息地（IBA）

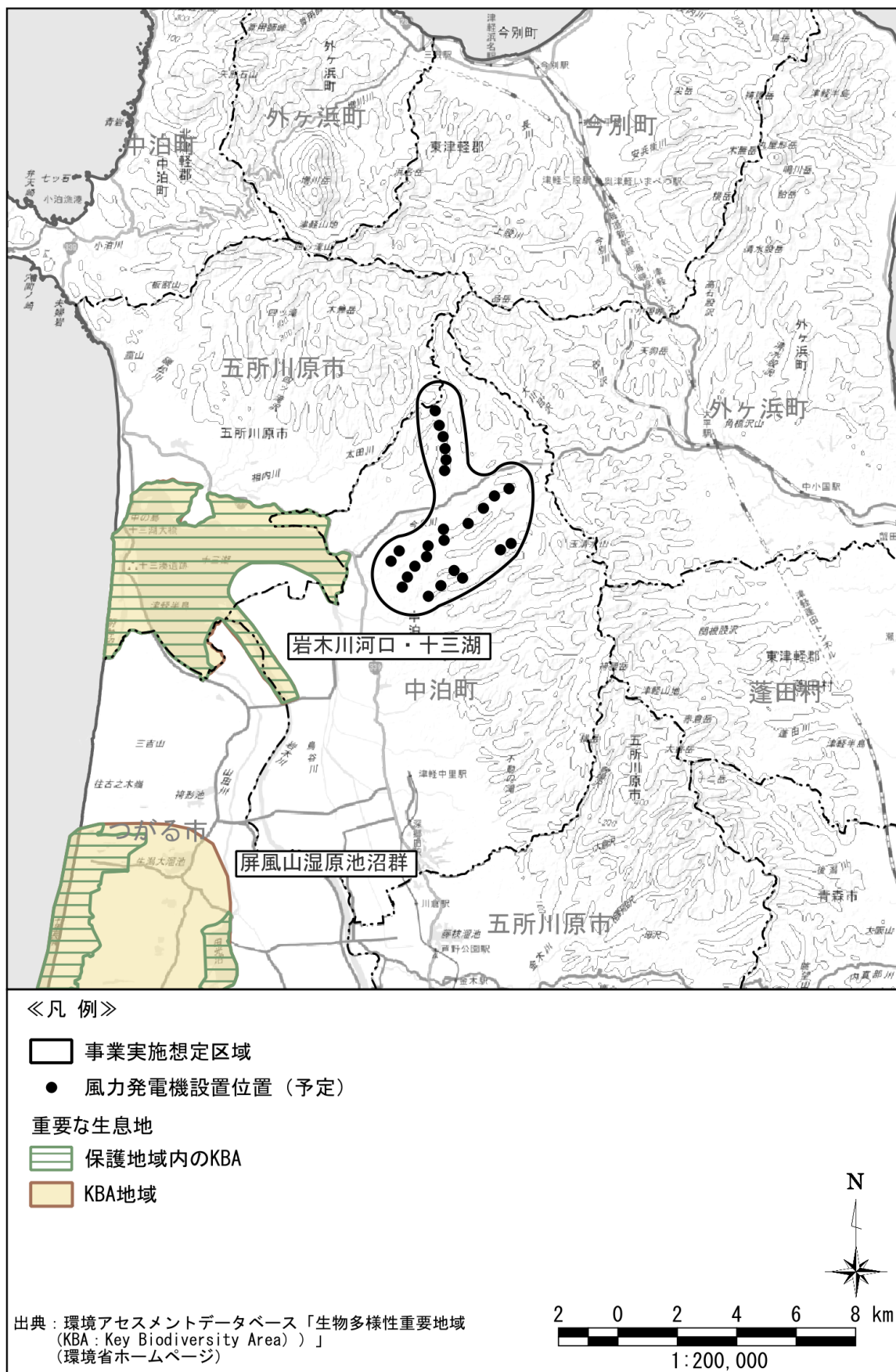


図 3-1-5-22 生物多様性重要地域（KBA）

(2) 植物の生育の状況

1) 植物相

文献調査により生育の情報が得られた植物は 48 目 120 科 730 種であった。文献調査における植物確認種一覧を表 3-1-5-13(1)～(13)に示す。

文献調査により確認された植物のうち、重要種選定基準に該当した種は、クロミノコジマエンレイソウ、サルメンエビネ等 24 種である。

なお、方法書以降の手続きにおいては、造成工事等に伴う土地改変により外来生物の拡散が生じる可能性があることから、現地調査により工事区域内で特定外来生物が確認された場合には、その拡散防止に係る方針について検討する。

表 3-1-5-13(1) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
1	トクサ	トクサ	スギナ								●	●	
2			イヌスギナ								●		
3			イヌドクサ								●		
4	ハナヤスリ	ハナヤスリ	フユノハナワラビ								●		
5	ゼンマイ	ゼンマイ	ゼンマイ									●	
6	ウラボシ	コバノイシカグマ	ワラビ								●	●	
7		ヒメシダ	ミヤマワラビ							●			
8			ヒメシダ						●	●	●		
9			ミゾシダ								●		
10		コウヤワラビ	イヌガンソク								●		
11			コウヤワラビ								●		
12			クサソテツ								●		
13		メシダ	ヘビノネゴザ							●			
14			シケシダ								●		
15		オシダ	シノブカグマ						●				
16			リョウメンシダ						●				
17			オシダ						●			●	
18			シラネワラビ						●				
19			サカゲイノデ						●		●		
20			ジュウモンジシダ						●				
21		ウラボシ	ヒメノキシノブ						●				
22			ノキシノブ						●				
23			ミヤマノキシノブ						●				
24			カラクサシダ						●				
25			オシャグジデンダ						●				
26	マツ	マツ	カラマツ						●				
27			アカマツ									●	
28			クロマツ							●	●	●	
29	ヒノキ	ヒノキ	スギ						●			●	
30			ヒノキアスナロ						●			●	
31		イチイ	イヌガヤ									●	
32			ハイイヌガヤ						●				
33	スイレン	ジュンサイ	ジュンサイ									●	
34		スイレン	コウホネ						●				
35			ヒツジグサ									●	
36	シキミ	マツブサ	マツブサ							●			
37	コショウ	ドクダミ	ドクダミ								●		
38		ウマノスズクサ	カンアオイ									●	
39	モクレン	モクレン	コブシ									●	
40			キタコブシ								●		
41			ホオノキ									●	
42	クスノキ	クスノキ	アブラチャン									●	
43			ケアブラチャン								●		
44			オオバクロモジ							●			
45			クロモジ									●	
46	ショウブ	ショウブ	ショウブ								●	●	

表 3-1-5-13(2) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
47	オモダカ	サトイモ	マムシグサ									●	
48			ヒメカイウ			NT	B			●			●
49			アオウキクサ								●		
50			ミズバショウ							●		●	
51			カラスビシャク								●	●	
52			ウキクサ								●		
53			ザゼンソウ									●	
54		オモダカ	ヘラオモダカ								●		
55			サジオモダカ								●		
56			オモダカ						●		●		
57		アマモ	コアマモ				B						●
58	ヒルムシロ		オヒルムシロ						●				
59			ホソバミズヒキモ								●		
60			ツツイトモ			VU	A						●
61			イトクズモ			VU	B						●
62	ヤマノイモ	キンコウカ	ネバリノギラン							●			
63		ヤマノイモ	ヤマノイモ								●		
64			オニドコロ								●		
65	ユリ	シュロソウ	ツクバネソウ						●			●	
66			エンレイソウ									●	
67			クロミノコジマエンレイソウ				A						●
68		イヌサフラン	イヌサフラン								●		
69			ホウチャクソウ									●	
70			チゴユリ									●	
71		サルトリイバラ	サルトリイバラ									●	
72			タチシオデ								●		
73			シオデ								●	●	
74			ヤマカシュウ									●	
75		ユリ	ツバメオモト									●	
76			オニユリ									●	
77			クルマユリ							●		●	
78	クサスギカズラ	ラン	エビネ			NT	C					●	●
79			サルメンエビネ			VU	A					●	●
80			ギンラン									●	
81			サイハイラン									●	
82			シュンラン									●	
83			クマガイソウ			VU	B						●
84			アオスズラン									●	
85			アケボノシュスラン							●			
86			アリドオシラン							●			
87			トンボソウ							●			
88		アヤメ	ハナショウブ									●	
89			ノハナショウブ							●			
90			カキツバタ			NT	B					●	●
91			キショウブ								●		
92			アヤメ									●	
—			<i>Iris</i> 属の一種								○		
93		ススキノキ	ヤブカンゾウ							●		●	
94		ヒガンバナ	ノビル								●		
95			ナツズイセン								●		
96		クサスギカズラ	ミズギボウシ									●	
97			オオバギボウシ								●		
98			タチギボウシ						●				
99			マイヅルソウ						●	●		●	
100			ユキザサ						●				
101			ヒメイズイ								●		
102			オオナルコユリ								●		
103	ツユクサ	ツユクサ	ツユクサ								●		
104			イボクサ								●		
105			ムラサキツユクサ								●		
106	ショウガ	ショウガ	ミョウガ								●		
107	イネ	ガマ	ヒメガマ								●		
108			ガマ						●		●		

表 3-1-5-13(3) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
109	イネ	イグサ	イグサ							●	●		
110			ヒロハノコウガイゼキショウ								●		
111			ヒメイ								●		
112			イスイ								●		
113			タチコウガイゼキショウ								●		
114			アオコウガイゼキショウ								●		
115			コウガイゼキショウ								●		
116			クサイ								●		
117			ハリコウガイゼキショウ								●		
118			スズメノヤリ							●	●		
119		カヤツリグサ	ウキヤガラ						●		●		
120			コウキヤガラ						●				
121			ミノボロスゲ							●	●		
122			クロカワズスゲ								●		
123			カサスゲ								●		
124			ヒゴクサ								●		
125			ムジナスゲ						●				
126			アオスゲ								●		
127			カンスゲ									●	
128			ミヤマカンスゲ						●				
129			ツルスゲ						●				
130			シオクグ						●		●		
131			ミチノクホンモンジスゲ							●			
132			オオカワズスゲ								●		
133			アゼスゲ						●		●		
134			オニナルコスゲ						●		●		
—			Carex 属の一種								○		
135			チャガヤツリ								●		
136			ヒメクグ								●		
137			タマガヤツリ								●		
138			コゴメガヤツリ								●		
139			カヤツリグサ								●		
140			アオガヤツリ								●		
141			ウシクグ								●		
142			カワラスガナ								●		
143			ミズガヤツリ								●		
144			マツバイ								●		
145			ハリイ								●		
146			ヒメハリイ								●		
147			オオヌマハリイ								●		
148			カンガレイ						●		●		
149			フトイ								●		
150			サンカクイ						●		●		
151			ツルアブラガヤ								●		
152			クロアブラガヤ								●		
153			アブラガヤ									●	
154	イネ		ハネガヤ								●		
155			ヤマヌカボ							●			
156			ヌカボ								●		
157			コヌカグサ							●	●		
158			ハイコヌカグサ								●		
159			スズメノテッポウ								●		
160			オオスズメノテッポウ								●		
161			コウボウ							●			
162			ハルガヤ							●	●		
163			コブナグサ								●		
164			トダシバ							●			
165			カラスムギ									●	
166			ヤクナガイヌムギ								●		
167			ハマチャヒキ								●		
168			スズメノチャヒキ								●		
169			キツネガヤ								●		
170			カラスノチャヒキ								●		

表 3-1-5-13(4) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
171	イネ	イネ	ヤマアワ								●		
172			ヒメノガリヤス							●			
173			カモガヤ							●	●		
174			メヒシバ								●		
175			アキメヒシバ								●		
176			イヌビエ						●		●		
177			アオカモジグサ								●		
178			カモジグサ								●		
179			シバムギ								●		
180			シナダレスズメガヤ								●		
181			カゼクサ								●		
182			コスズメガヤ								●		
183			ニワホコリ								●		
184			オオニワホコリ								●		
185			オオウシノケグサ								●		
186			ヒメウキガヤ								●		
187			ドジョウツナギ								●		
188			ウシノシッペイ								●		
189			シラゲガヤ								●		
190			ケナシチガヤ								●		
191			チガヤ								●		
192			チゴザサ								●		
193			ケカモノハシ								●		
194			カモノハシ								●		
195			ウサギノオ								●		
196			ササガヤ								●		
197			ネズミムギ								●		
198			コメガヤ							●			
199			アシボソ								●		
200			オギ						●		●		
201			ススキ						●	●	●		
202			ヌカキビ								●		
203			オオクサキビ								●		
204			スズメノヒエ								●		
205			クサヨシ								●		
206			カナリークサヨシ								●		
207			オオアワガエリ							●	●		
208			ヨシ						●		●		
209			アズマネザサ								●		
210			ミゾイチゴツナギ								●		
211			スズメノカタビラ								●	●	
212			ツルスズメノカタビラ								●		
213			ヤマミゾイチゴツナギ								●		
214			ヌマイチゴツナギ								●		
215			ナガハグサ							●	●		
216			オオスズメノカタビラ								●		
217			チシマザサ						●	●	●	●	
218			チマキザサ								●		
219			オニウシノケグサ							●	●		
220			ヒロハノウシノケグサ								●		
221			アキノエノコログサ								●		
222			キンエノコロ								●		
223			ナギナタガヤ								●		
224			マコモ						●		●		
225			シバ							●	●		
226	キンボウゲ	ケシ	クサノオウ									●	
227			ムラサキケマン									●	
228		アケビ	ミツバアケビ							●			
229		ツヅラフジ	アオツヅラフジ								●		
230			コウモリカズラ								●		
231		メギ	ヒロハヘビノボラズ							●			
232			ヘビノボラズ									●	

表 3-1-5-13(5) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
233	キンボウゲ	メギ	イカリソウ									●	
234		キンボウゲ	ニリンソウ									●	
235			イチリンソウ									●	
236			リュウキンカ									●	
237			ボタンヅル								●		
238			ミヤマハンショウヅル						●				
239			シラネアオイ									●	
240			オキナグサ			NT	A					●	●
241			ツルキツネノボタン								●		
242			ウマノアシガタ								●	●	
243			タガラシ								●		
244			キツネノボタン								●	●	
245			アキカラマツ							●	●	●	
246	ツゲ	ツゲ	フッキソウ									●	
247	ユキノシタ	ボタン	ヤマシャクヤク			NT	B						●
248		マンサク	マルバマンサク						●				
249		ユズリハ	エゾユズリハ									●	
250		スグリ	マルスグリ								●		
251		ユキノシタ	トリアシショウマ									●	
252			ダイモンジソウ						●				
253			ズダヤクシュ									●	
254		ベンケイソウ	コモチマンネングサ								●		
255			ツルマンネングサ								●		
256		タコノアシ	タコノアシ			NT	C		●				●
257		アリノトウグサ	アリノトウグサ								●		
258			ホザキノフサモ						●		●		
259			フサモ								●		
260	ブドウ	ブドウ	ノブドウ									●	
261			ヤブカラシ								●		
262			ヤマブドウ						●			●	
263			エビヅル									●	
264	マメ	マメ	クサネム								●		
265			イタチハギ								●		
266			ヤブマメ								●		
267			カワラケツメイ								●		
268			ツルマメ								●		
269			ヤハズソウ								●		
270			ハマエンドウ								●		
271			エゾノレンリソウ						●		●		
272			ヤマハギ								●		
273			メドハギ							●	●		
274			セイヨウミヤコグサ								●		
275			ミヤコグサ							●	●		
276			コメツブウマゴヤシ								●		
277			シナガワハギ								●		
278			クズ								●	●	
279			ハリエンジュ							●		●	
280			クララ								●	●	
281			エンジュ									●	
282			センダイハギ							●			
283			コメツブツメクサ								●		
284			ムラサキツメクサ								●		
285			シロツメクサ							●	●	●	
286			ツルフジバカマ								●	●	
287			クサフジ								●		
288			ヒロハクサフジ								●		
289			フジ								●	●	
290	バラ	グミ	ナツグミ									●	
291			トウグミ									●	
292			アキグミ									●	
293		クロウメモドキ	クマヤナギ								●	●	

表 3-1-5-13(6) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
294	バラ	クロウメモドキ	クロウメモドキ								●		
295			エゾノクロウメモドキ								●		
296		ニレ	ハルニレ						●		●		
297			ケヤキ								●		
298		アサ	カラハナソウ								●	●	
299			カナムグラ								●		
300		クワ	コウゾ									●	
301			マグワ								●		
302			ヤマグワ						●		●		
303		イラクサ	ヤブマオ								●		
304			カラムシ									●	
305			アカソ								●	●	
306			ムカゴイラクサ								●		
307			ミヤマイラクサ									●	
308			ミズ								●		
309			アオミズ								●		
310			エゾイラクサ								●		
311		バラ	ヒメキンミズヒキ								●		
312			キンミズヒキ						●		●	●	
313			アズキナシ								●		
314			カスミザクラ							●		●	
315			オオヤマザクラ									●	
316			クロバナロウゲ						●				
317			オオダイコンソウ								●		
318			ダイコンソウ						●		●		
319			ズミ								●		
320			エゾノウワミズザクラ				A				●		●
321			ウワミズザクラ									●	
322			シウリザクラ							●			
323			ヒメヘビイチゴ							●	●		
324			キジムシロ								●		
325			ミツバツチグリ								●		
326			ヘビイチゴ								●	●	
327			ヤブヘビイチゴ								●		
328			カマツカ								●		
329			ノイバラ								●	●	
330			クマイチゴ							●			
331			クサイチゴ									●	
332			ナワシロイチゴ								●		
333			エビガライチゴ								●		
334			ヒメゴヨウイチゴ						●	●			
335			ベニバナイチゴ						●				
336			ナガボノシロワレモコウ							●	●		
337			ナガボノワレモコウ								●		
338			ナナカマド									●	
339	ブナ	ブナ	クリ								●	●	
340			ブナ						●			●	
341			クヌギ								●		
342			ミズナラ									●	
343			ミヤマナラ						●				
344			カシワ							●		●	
345			コナラ									●	
346		ヤマモモ	ヤチヤナギ						●				
347		クルミ	オニグルミ						●		●	●	
348			サワグルミ						●			●	
349		カバノキ	ヤシャブシ									●	
350			ケヤマハンノキ								●		
351			ヤマハンノキ								●		
352			タニガワハンノキ								●		
353			ハンノキ						●				
354			ダケカンバ						●			●	
355			ツノハシバミ								●		

表 3-1-5-13(7) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
356	ウリ	ウリ	ゴキツル								●		
357			アマチャヅル								●		
358			アレチウリ					特定	●		●		
359			キカラスウリ								●		
360	ニシキギ	ニシキギ	イワウメヅル								●		
361			ツルウメモドキ						●		●	●	
362			オニツルウメモドキ								●		
363			コマユミ									●	
364			ツルマサキ								●		
365			ツリバナ							●			
366			マユミ								●		
367			カントウマユミ								●		
368	カタバミ	カタバミ	カタバミ								●		
369			エゾタチカタバミ								●		
370	キントラノオ	トウダイグサ	エノキグサ								●		
371			コニシキソウ								●		
372		ミゾハコベ	ミゾハコベ								●		
373		ヤナギ	セイヨウハコヤナギ								●		
374			ドロヤナギ									●	
375			ヤマナラシ								●		
376			バッコヤナギ							●	●		
377			トカチヤナギ								●	●	
378			シロヤナギ								●		
379			ネコヤナギ									●	
380			イヌコリヤナギ						●		●		
381			コリヤナギ									●	
382			カワヤナギ								●		
383			エゾノカワヤナギ								●		
384			オオタチヤナギ								●		
385			エゾノキヌヤナギ								●		
386			タチヤナギ						●		●		
387			オノエヤナギ								●		
388			キツネヤナギ								●		
389		スマレ	タチツボスマレ								●	●	
390			オオバタチツボスマレ			NT	B						●
391			オオタチツボスマレ								●		
392			スマレ									●	
393			ミヤマスマレ							●			
394			スマレサイシン									●	
395			ツボスマレ							●	●		
396		オトギリソウ	オトギリソウ								●	●	
397			コケオトギリ								●		
398			オシマオトギリ							●			
399			ミズオトギリ								●		
400	フウロソウ	フウロソウ	ゲンノショウコ								●		
401	フトモモ	ミソハギ	ミソハギ								●		
402			エゾミソハギ								●		
403			キカシグサ								●		
404			ヒシ						●		●		
405		アカバナ	ミズタマソウ								●		
406			アカバナ								●		
407			チョウジタデ								●		
408			ミズユキノシタ								●		
409			メマツヨイグサ								●		
410			オオマツヨイグサ							●	●	●	
411			アレチマツヨイグサ							●			
412	ミツバウツギ	キブシ	キブシ									●	
413	ムクロジ	ウルシ	ヌルデ								●	●	
414			ツタウルシ						●	●	●	●	
415			ヤマウルシ							●		●	
416			ウルシ								●		

表 3-1-5-13(8) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
417	ムクロジ	ムクロジ	ヤマモミジ									●	
418			ハウチワカエデ									●	
419			イタヤカエデ (広義)						●	●		●	
420			アカイタヤ								●		
421			エゾイタヤ								●	●	
422			ミネカエデ						●	●			
423			トチノキ						●			●	
424		ミカン	ミヤマシキミ									●	
425			サンショウ								●	●	
426		ニガキ	ニワウルシ								●		
427			ニガキ								●		
428	アオイ	アオイ	イチビ								●		
429			シナノキ								●	●	
430		ジンチョウゲ	オニシバリ									●	
431	アブラナ	アブラナ	ハマハタザオ								●		
432			ハルザキヤマガラシ								●		
433			セイヨウアブラナ								●		
434			ナズナ								●		
435			タチタネツケバナ								●		
436			コンロンソウ								●		
437			ハダカコンロンソウ								●		
438			ミズタガラシ									●	
439			タネツケバナ								●		
440			オオバタネツケバナ								●		
441			マメグンバイナズナ								●		
442			オランダガラシ								●		
443			ハマダイコン								●		
444			イヌガラシ								●		
445			スカシタゴボウ								●		
446			グンバイナズナ								●		
447	ナデシコ	タデ	オオツルイタドリ								●		
448			イタドリ							●	●	●	
449			ケイタドリ								●		
450			オオイタドリ						●		●		
451			ミズヒキ								●	●	
452			ヤナギタデ						●		●		
453			シロバナサクラタデ								●		
454			サナエタデ								●		
455			オオイヌタデ								●		
456			イヌタデ								●		
457			サデクサ								●		
458			ヤノネグサ								●		
459			タニソバ								●		
460			サクラタデ								●		
461			イシミカワ								●		
462			ハナタデ								●		
463			アキノウナギツカミ						●		●		
464			ママコノシリヌグイ								●		
465			ヌカボタデ			VU	B						●
466			オオミゾソバ								●		
467			ミゾソバ						●		●	●	
468			ミチヤナギ								●		
469			ハイミチヤナギ								●		
470			スイバ							●		●	
471			ヒメスイバ							●	●	●	
472			ナガバギンギシ								●		
473			ギンギシ								●	●	
474			マダイオウ								●		
475			エゾノギンギシ								●		
476		ナデシコ	オオヤマフスマ							●	●		
477			ミミナグサ								●		
478			オランダミミナグサ								●		

表 3-1-5-13(9) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
479	ナデシコ	タデ	カワラナデシコ									●	
480			ツメクサ								●		
481			ムシトリナデシコ							●			
482			ノハラツメクサ								●		
483			ウシハコベ								●	●	
484			イトハコベ			CR	A						●
485			コハコベ								●		
486			ミドリハコベ								●		
487			ノミノフスマ								●		
488		ヒユ	イノコヅチ								●		
489			ヒナタイノコヅチ								●		
490			ホソアオゲイトウ								●		
491			ホナガイヌビユ								●		
492			シロザ								●		
493			アカザ						●		●		
494			コアカザ								●		
495			アリタソウ								●		
496		ヤマゴボウ	ヤマゴボウ								●		
497			ヨウシュヤマゴボウ								●		
498		スベリヒユ	スベリヒユ								●		
499	ミズキ	ミズキ	ミズキ								●	●	
500			クマノミズキ								●		
501		アジサイ	ツルアジサイ						●	●			
502			ウツギ									●	
503			ノリウツギ								●		
504			イワガラミ									●	
505	ツツジ	ツリフネソウ	キツリフネ						●				
506			ツリフネソウ								●		
507		サクラソウ	ヤブコウジ						●			●	
508			オカトラノオ							●	●	●	
509			ヌマトラノオ								●		
510			コナスビ								●		
511			ヤナギトラノオ						●				
512			クサレダマ						●		●		
513		エゴノキ	エゴノキ								●	●	
514		マタタビ	サルナシ								●		
515		ツツジ	ホツツジ						●			●	
516			ハナヒリノキ						●	●		●	
517			ベニバナイチヤクソウ									●	
518			ジンヨウイチヤクソウ							●		●	
519			ムラサキヤシオツツジ									●	
520			ハクサンシャクナゲ						●				
521			ヤマツツジ									●	
522			クロマメノキ									●	
523			コケモモ						●				
524	アオキ	アオキ	ヒメアオキ						●				
525			アオキ									●	
526	リンドウ	アカネ	シラホシムグラ								●		
527			クルマムグラ									●	
528			クルマバスウ								●		
529			オオバノヤエムグラ								●		
530			ヤエムグラ							●	●	●	
531			ホソバノヨツバムグラ								●		
532			キバナカワラマツバ							●	●		
533			エゾノカワラマツバ								●		
534			カワラマツバ								●		
535			ツルアリドオシ						●			●	
536			ヘクソカズラ								●		
537			アカネ								●	●	
538			アカネムグラ						●		●		

表 3-1-5-13(10) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
539	リンドウ	キョウチクトウ	チョウジソウ			NT	B						●
540			ガガイモ								●		
541			ツルニチニチソウ								●		
542			オオカモメヅル								●		
543			シロバナカモメヅル								●		
544	ナス	ヒルガオ	コヒルガオ								●		
545			ヒルガオ								●		
546			アメリカネナシカズラ								●		
547			ネナシカズラ								●		
548		ナス	チョウセンアサガオ								●		
549			トマト								●		
550			オオマルバノホロシ				C				●		●
551			イヌホオズキ								●		
552	ムラサキ	ムラサキ	ハナイバナ								●		
553			イヌムラサキ								●		
554			ノハラムラサキ								●		
555			シンワスレナグサ								●		
556			ヒナムラサキ								●		
557			ヒレハリソウ								●		
558			キュウリグサ								●		
559	シソ	モクセイ	アオダモ						●				
560			ヤマトアオダモ								●		
561			ヤチダモ						●		●		
562			ミヤマイボタ							●	●		
563		オオバコ	ミズハコベ								●		
564			キクモ				A						●
565			オオバコ							●	●		
566			トウオオバコ							●	●		
567			ヘラオオバコ								●		
568			タチイヌノフグリ								●		
569			オオイヌノフグリ								●		
570		ゴマノハグサ	オオヒナノウスツボ								●		
571		アゼナ	タケトアゼナ								●		
572			アメリカアゼナ								●		
573			アゼナ								●		
574			アゼナ								●		
574		シソ	ムラサキシキブ									●	
575			ヤマクルマバナ								●		
576			クルマバナ								●		
577			トウバナ								●		
578			ナギナタコウジュ								●		
579			カキドオシ								●	●	
580			ヒキオコシ								●		
581			ヒメオドリコソウ								●		
582			コシロネ								●		
583			シロネ						●		●		
584			ヒメシロネ							●	●		
585			エゾシロネ								●	●	
586			ヨウシュハッカ								●		
587			ハッカ								●		
588			ヒメジソ								●		
589			シソ								●		
590			ウツボグサ							●	●		
591			ヒメナミキ								●		
592			エゾナミキ			VU	A※1		●				●
593			イヌゴマ								●		
594			ニガクサ								●		
595		サギゴケ	ムラサキシキブ								●		
596			トキワハゼ								●		
597		キリ	キリ								●		
598		タヌキモ	タヌキモ			NT	B						●
599	モチノキ	モチノキ	イヌツゲ									●	
600			アオハダ								●		

表 3-1-5-13(11) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
601	モチノキ	モチノキ	ツルツゲ									●	
602			アカミノイヌツゲ									●	
603	キク	キキョウ	ツリガネニンジン							●		●	
604			ツルニンジン									●	
605			ミヅカクシ								●		
606			タニギキョウ						●				
607			キキョウ			NT	B					●	●
608		キク	ノコギリソウ							●	●		
609			キタノコギリソウ			VU	C※2				●		●
610			セイヨウノコギリソウ								●		
611			エゾノコギリソウ									●	
612			ノブキ									●	
613			ブタクサ								●		
614			オオブタクサ								●		
615			ヤマハハコ						●	●			
616			クソニンジン								●		
617			カワラニンジン								●		
618			ヨモギ						●	●	●	●	
619			オトコヨモギ							●	●	●	
620			ハマオトコヨモギ								●		
621			オオヨモギ								●		
622			ゴマナ								●		
623			ユウガギク								●		
624			ノコンギク								●	●	
625			アメリカセンダングサ						●		●		
626			エゾノタウコギ								●		
627			タウコギ								●		
628			ヤブタバコ									●	
629			トキンソウ								●		
630			ダキバヒメアザミ								●		
631			アオモリアザミ								●		
632			ヒメアザミ									●	
633			ノアザミ								●		
634			タカアザミ								●		
635			エゾノキツネアザミ								●		
636			キセルアザミ									●	
637			ナンブアザミ								●		
638			アメリカオニアザミ								●		
639			サワアザミ									●	
640			オオキンケイギク					特定			●		
641			ヤクシソウ									●	
642			ダンドボロギク								●		
643			ヒメジョオン							●	●		
644			アレチノギク									●	
645			ヒメムカシヨモギ								●		
646			ハルジオン								●		
647			ヘラバヒメジョオン								●		
648			オオアレチノギク								●		
649			ヨツバヒヨドリ								●		
650			サワヒヨドリ								●		
651			ヒヨドリバナ (広義)								●		
652			ヒヨドリバナ (ヒヨドリバ ナ二倍体)							●	●	●	
653			ハキダメギク								●		
654			チチコグサ								●		
655			キクイモ								●		
656			イヌキクイモ								●		
657			ヤナギタンポポ							●			
658			ブタナ							●	●		
659			オグルマ								●	●	
660			カセンソウ							●			
661			ニガナ							●	●	●	

表 3-1-5-13(12) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来 生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
662	キク	キク	ハナニガナ								●		
663			オオジシバリ								●		
664			イワニガナ								●		
665			アキノノゲシ							●	●		
666			ヤマニガナ								●		
667			トゲチシャ								●		
668			ヤブタビラコ								●		
669			フランスギク								●		
670			コシカギク								●		
671			モミジガサ									●	
672			ヨブスマソウ									●	
673			アキタブキ								●		
674			フキ							●			
675			コウゾリナ							●	●		
676			コウリントンボポ								●		
677			ハハコグサ							●	●		
678			オオハンゴンソウ					特定	●		●		
679			ミヤマキタアザミ			VU				●			
680			ハンゴンソウ								●	●	
681			ノボロギク								●		
682			メナモミ								●		
683			セイタカアワダチソウ						●		●		
684			オオアワダチソウ								●		
685			アキノキリンソウ							●		●	
686			オオアキノキリンソウ								●		
687			オニノゲシ								●		
688			ハチジョウナ								●		
689			ノゲシ								●		
690			ユウゼンギク								●		
691			ヒロハホウキギク								●		
692			アカミタンポポ								●		
693			セイヨウタンポポ								●		
694			サワオグルマ						●				
695			イガオナモミ						●				
696			オニタビラコ (広義)								●	●	
697	セリ	ウコギ	ウド								●	●	
698			タラノキ								●	●	
699			コシアブラ									●	
700			ケヤマウコギ								●		
701			ヒメウコギ									●	
702			ヤマウコギ									●	
703			オオチドメ								●		
704			ハリギリ							●	●	●	
705			ハリブキ						●			●	
706			トチバニンジン									●	
707		セリ	エゾボウフウ							●			
708			シシウド									●	
709			エゾニュウ								●		
710			シャク									●	
711			ドクゼリ								●		
712			ミツバ								●		
713			オオハナウド								●		
714			セリ								●	●	
715			ヤブニンジン									●	
716			イブキゼリモドキ						●				
717			ヤブジラミ								●	●	
718	マツムシソウ	ガマズミ	エゾニワトコ								●		
719			ニワトコ								●	●	
720			ガマズミ									●	
721			オオカメノキ						●		●	●	
722			カンボク						●		●	●	
723			ケナシヤブデマリ						●		●		

表 3-1-5-13(13) 文献調査植物確認種一覧

No	目名	科名	種名	重要種選定基準				外来生物	文献				
				I	II	III	IV		1	2	3	4	5
724	マツムシソウ	ガマズミ	マルバゴマキ								●		
725			ミヤマガマズミ							●			
726		スイカズラ	キンギンボク								●	●	
727			アラゲヒョウタンボク							●			
728			オミナエシ									●	
729			オトコエシ									●	
730			タニウツギ								●	●	
計	48 目	120 科	730 種	0 種	0 種	19 種	23 種	3 種	104 種	97 種	511 種	198 種	23 種

注 1：分類、配列などは「河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和 7 年度生物リストー」（河川環境データベース 国土交通省、2025 年）に準拠

注 2：表中の「○」は、同属の種が確認されている為、種数に計上しない

注 3：重要種の選定基準は以下の通り

I：「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 法律第 214 号）

国特：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物

II：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）

国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種

III：「第 5 次レッドリストの公表について」（2025 年 3 月公表 環境省）

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV：「青森県の希少な野生生物ー青森県レッドデータブック（2020 年改訂版）ー」（2020 年 3 月 青森県）

EX：絶滅野生生物 A：最重要希少野生生物 B：重要希少野生生物 C：希少野生生物

D：要調査野生生物 LP：地域限定希少野生生物

注 4：選定基準の注釈は以下のとおり

※1：エゾナミキソウで掲載

※2：ホロマンノコギリソウ（キタノコギリソウ）で掲載

注 5：外来生物欄の「特定」は、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく特定外来生物を示す。特定外来生物は生態系等への影響が懸念されるため、取扱いに留意が必要な種である。

出典：使用文献は以下のとおり

文献 1：「青森県史」（平成 15 年 青森県史友の会）の「1.7 津軽半島及び屏風山の植生」の大倉岳・袴腰岳・玉清水山、岩木川河畔の植生より抜粋

文献 2：「第 2 回自然環境保全基礎調査-特定植物群落調査報告書-」（昭和 54 年 青森県）の 53. 袴腰岳の風衝植物群落、67. 車力のクロマツ林より抜粋

文献 3：「河川水辺の国勢調査 岩木川植物」のうち、十三湖東岸、鳥谷川河口、岩木川河口、津軽大橋、長泥、豊島における確認種（水情報国土データ管理センターホームページ）

文献 4：「中里町誌」（昭和 41 年 中里町）から山添地帯の生物を抜粋

文献 5：「青森県の希少な野生生物ー青森県レッドデータブック（2020 年改訂版）ー」（2020 年 3 月 青森県）

2) 植生

事業実施想定区域及びその周辺の現存植生を図 3-1-5-23、凡例を表 3-1-5-14 に示す。また、植生自然度別に色分けした植生自然度図を図 3-1-5-24 に示す。

事業実施想定区域の植生は、主として二次林及び植林地から構成されており、ブナ二次林やブナ・ミズナラ群落等の落葉広葉樹林やスギを主体とする植林が分布している他、一部にヒノキ・スナロ群落が分布している。また、区域内には、牧草地や水田・雑草群落等、人為的影響を受けた植生が分布している。

一方、事業実施想定区域の周辺では、丘陵地から山地にかけて二次林や植林が連続的に分布しており、低地部や沿岸部には農耕地や市街地等が分布している。

事業実施想定区域の植生自然度は、植生自然度 8 の二次林（自然林に近いもの）及び植生自然度 6 の植林地が大半を占めており、次いで植生自然度 9 の自然林、植生自然度 2 の農耕地（水田・畑）が分布している。

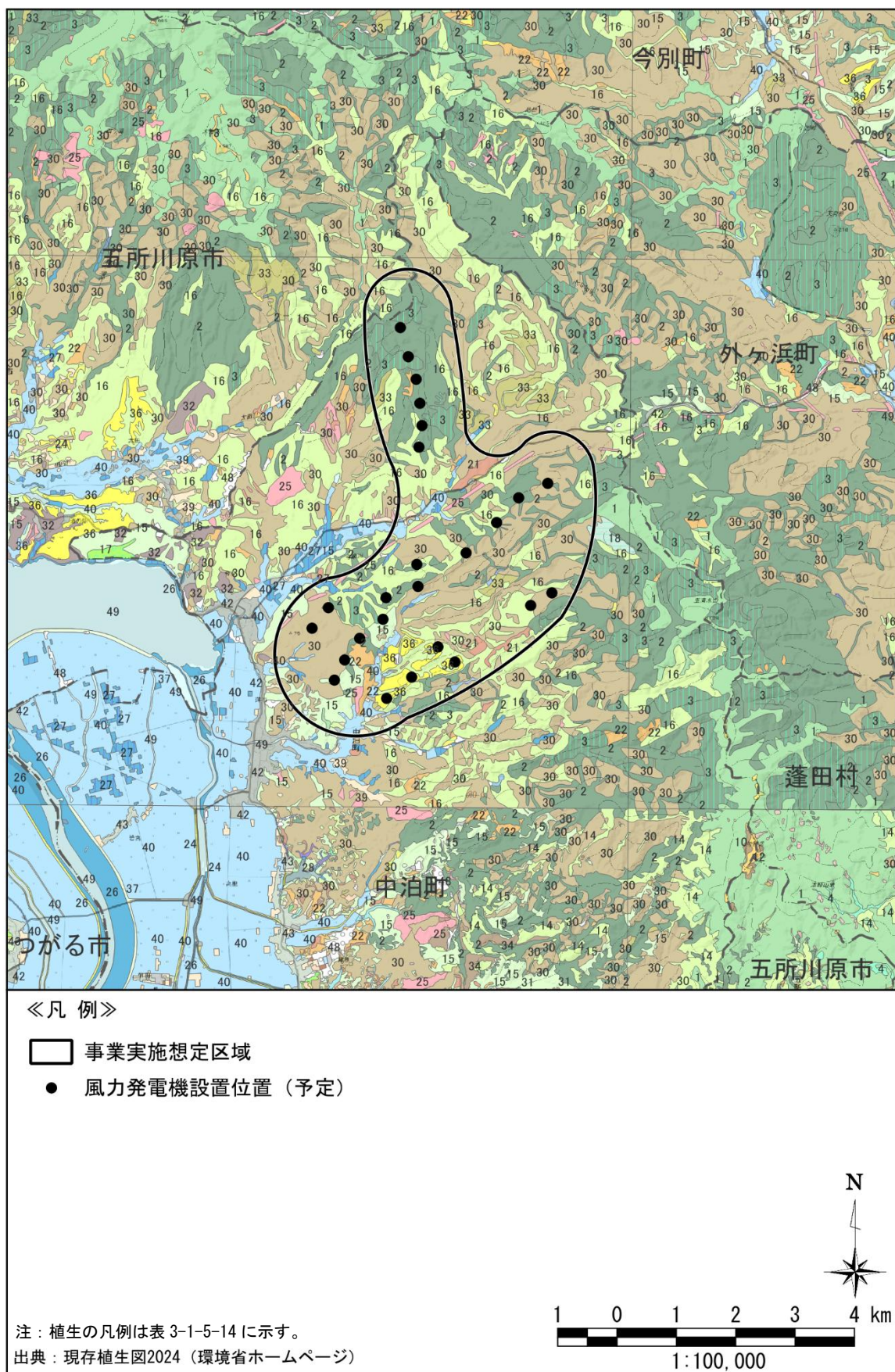


図 3-1-5-23 現存植生

表 3-1-5-14 現存植生（凡例）

植生区分	図中No.	群落名	統一凡例No.	植生自然度
ブナクラス域自然植生	1	チシマザサ・ブナ群団	110100	9
	2	ヒノキ・スナロ群落 (IV)	140200	9
	3	ブナ・ヒノキ・スナロ群落	140201	9
	4	ジュウモンジシダー・サワグルミ群集	160101	9
	5	ハンノキ・ヤチダモ群集	170102	9
	6	ハンノキ群落 (IV)	170200	9
	7	ヤナギ高木群落 (IV)	180100	9
	8	ヤナギ低木群落 (IV)	180200	9
	9	ヤマハンノキ群落	180400	9
	10	ウラジロヨウラク・ミヤマナラ群団	190100	9
	11	ヒメヤシ・ブシ・タニウツギ群落	200101	9
	12	ササ群落 (IV)	210100	10
	13	チシマザサ群落 (IV)	210102	10
ブナクラス域代償植生	14	ブナ・ミズナラ群落	220100	8
	15	オオバクロモジ・ミズナラ群集	220103	7
	16	ブナ二次林	220104	8
	17	カシワ群落 (V)	220200	7
	18	ウダイカンバ群落	220300	7
	19	オクチョウジ・ザクラー・コナラ群集	220501	7
	20	ケヤキ二次林	221300	7
	21	アカマツ群落 (V)	230100	7
	22	タニウツギ・ノリウツギ群落	240102	5
	23	ササ群落 (V)	250100	5
	24	ススキ群団 (V)	250200	5
	25	伐採跡地群落 (V)	260000	4
河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等	26	ヨシクラス	470400	10
	27	ミゾソバ・ヨシ群落	470401	5
	28	ヒルムシロクラス	470600	10
	29	岩壁植生	510300	10
植林地、耕作地植生	30	スギ・ヒノキ・サワラ植林	540100	6
	31	アカマツ植林	540200	6
	32	クロマツ植林	540300	6
	33	カラマツ植林	540700	6
	34	その他植林 (常緑針葉樹)	541100	6
	35	ゴルフ場・芝地	560100	4
	36	牧草地	560200	2
	37	路傍・空地雑草群落	570100	4
	38	放棄畑雑草群落	570101	4
	39	畑雑草群落	570300	2
	40	水田雑草群落	570400	2
	41	放棄水田雑草群落	570500	4
その他	42	市街地	580100	1
	43	緑の多い住宅地	580101	2
	44	太陽光発電施設	580102	1
	45	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	580200	3
	46	残存・植栽樹群地	580800	3
	47	工場地帯	580300	1
	48	造成地	580400	1
	49	開放水域	580600	—
	50	自然裸地	580700	—

注：1. 図中 No. は図 3-1-5-23 の現存植生内の番号に対応する。

2. 統一凡例 No. とは「現存植生図 2024」（環境省ホームページ）の 1/25,000 植生図に示される 6 桁の環境省統一凡例番号（凡例コード）である。

3. 植生自然度とは、群落の自然性がどの程度残されているかを示す一つの指標であり、1 ～ 10 までのランクに区分される。ただし、開放水域及び自然裸地については含まないため、表中では「—」で示すこととする。

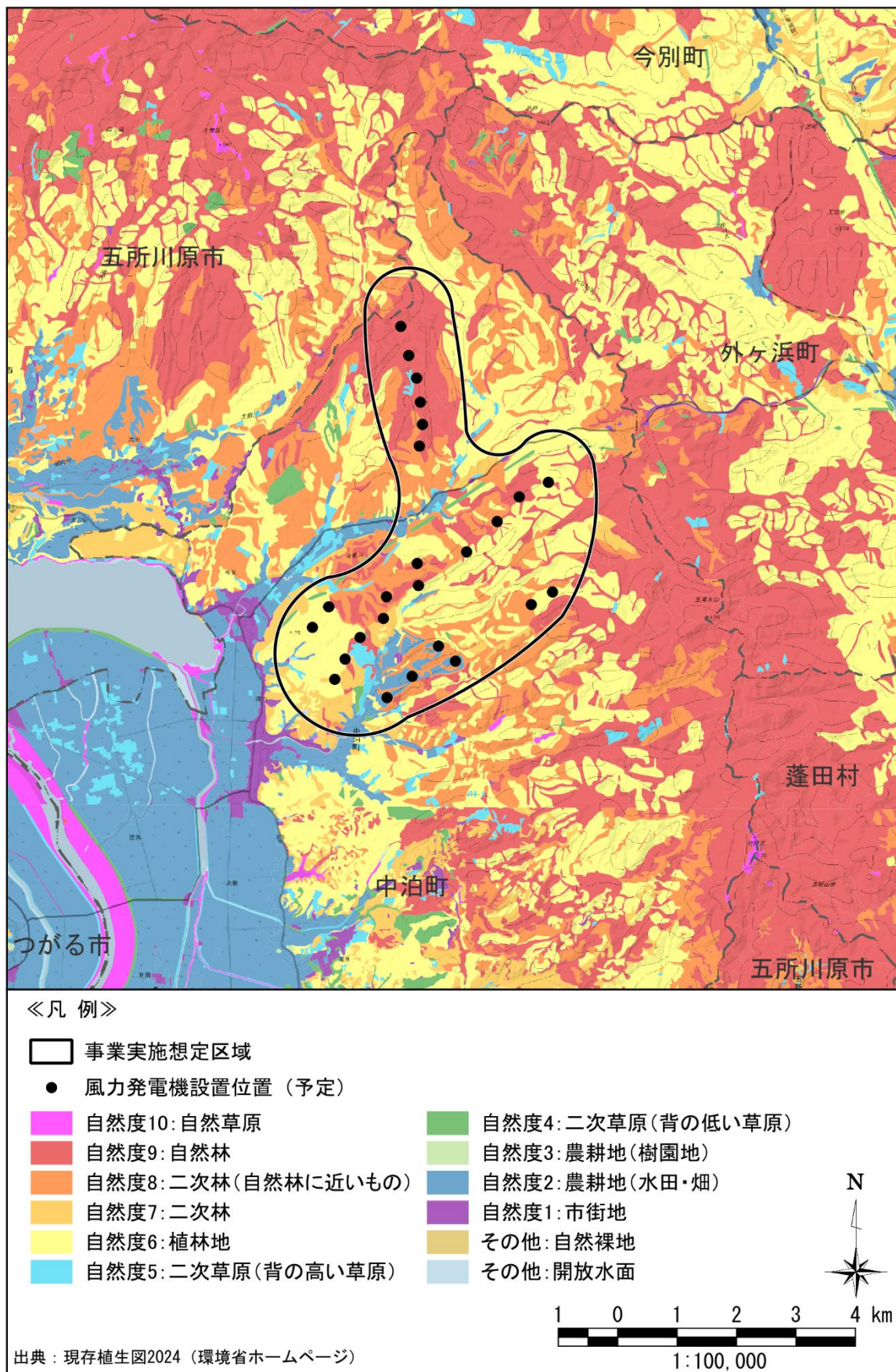


図 3-1-5-24 植生自然度図

3) 重要な植物群落

事業実施想定区域及びその周辺に生育する重要な植物群落一覧を表 3-1-5-15 に、位置を図 3-1-5-25 にそれぞれ示す。

表 3-1-5-15 事業実施想定区域及びその周辺に生育する重要な植物群落一覧

No	特定植物群落	概 要
1	袴腰岳の風衝地植物群落	ヒメノガリヤス-ミヤマキタアザミ群落、チシマザサ群落、ベニバナイチゴ群落等から成る。特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なものとして選定されている。

出典：第 2 回自然環境基礎調査(環境庁 2019 年)
「日本の重要な植物群落 東北版」(1980 年 環境庁)

4) 巨樹・巨木

事業実施想定区域及びその周辺に生育する巨樹・巨木一覧を表 3-1-5-16 に、位置を図 3-1-5-25 にそれぞれ示す。

表 3-1-5-16 事業実施想定区域及びその周辺に生育する巨樹・巨木一覧

No	樹 種	区 分	所在地
1	コナラ	単 木	中里町高根小金石

出典：第 4 回自然環境基礎調査(環境庁 1991 年)

(3) 生態系

1) 自然環境の類型化

事業実施想定区域及びその周辺の自然環境について、自然環境のアセスメント技術（Ⅰ）（環境庁）、青森県環境影響評価技術指針マニュアル（青森県）等に記載される手法に基づき、地形分類（図 3-1-4-1）、現存植生図（図 3-1-5-23）等の状況をオーバーレイして類型化を行い、8 の環境類型区分に分類した。環境類型区分一覧を表 3-1-5-17 に、自然環境類型区分図を図 3-1-5-26 にそれぞれ示す。

事業実施想定区域及びその周辺の地形は、主として山地及び台地・段丘から構成され、平地は沿岸部及び河川沿いに分布している。

山地及び台地・段丘部には、二次林及び植林が広く分布しており、二次林としてはブナ・ミズナラ群落、植林としてはスギ植林が多くを占めている。

一方、平地には農耕地が広がり、水田雑草群落や畑地雑草群落等の人為的影響を受けた植生が主に分布している。この他、開放水域として十三湖や岩木川が分布し、その他市街地や道路、造成地等の人工的土地利用も沿岸部を中心にみられる。

事業実施想定区域は、主として山地から台地・段丘にかけて位置しており、二次林を主体とする森林植生が多くを占める区域である。区域の西側は平地の農耕地や市街地に近接し、東側及び周辺部には連続した山林が広がっている。

表 3-1-5-17 環境類型区分一覧

No.	環境類型区分	主な地形	植生区分
1	自然林	山地 丘陵地	チシマザサ・ブナ群団、ヒノキ・アスナロ群落（Ⅳ）、ブナ・ヒノキ・アスナロ群落、ジュウモンジ・シダー・サワグルミ群集、ハンノキ・ヤチダモ群集、ハンノキ群落（Ⅳ）、ヤナギ高木群落（Ⅳ）、ヤナギ低木群落（Ⅳ）、ヤマハンノキ群落、ウラジロヨウラク・ミヤマナラ群団、ヒメヤシ・ブシ・シタニウツギ群落
2	二次林	山地 丘陵地	ブナ・ミズナラ群落、オオバクロモジ・ミズナラ群集、ブナ二次林、カシワ群落（Ⅴ）、ウダイカンバ群落、オクチョウジ・ザクラ・コナラ群集、ケヤキ二次林、アカマツ群落（Ⅴ）
3	植林地	山地 丘陵地	スギ・ヒノキ・サワラ植林、アカマツ植林、クロマツ植林、カラマツ植林、その他植林（常緑針葉樹）
4	草地・ 伐採跡地等	山地 丘陵地 低地	ササ群落（Ⅳ）、チシマザサ群落（Ⅳ）、タニウツギ・ノリウツギ群落、ササ群落（Ⅴ）、ススキ群団（Ⅴ）、伐採跡地群落（Ⅴ）
5	河辺・湿原等	丘陵地 低地	ヨシクラス、ミゾソバ・ヨシ群落、ヒルムシロクラス、岩壁植生
6	耕作地等	丘陵地 低地	ゴルフ場・芝地、牧草地、路傍・空地雑草群落、放棄畑雑草群落、畑雑草群落、水田雑草群落、放棄水田雑草群落、緑の多い住宅地、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等、残存・植栽樹群地
7	市街地等	低地	市街地、太陽光発電施設、工場地帯、造成地
8	開放水域等	—	開放水域、自然裸地

2) 重要な自然環境のまとまりの場

事業実施想定区域及びその周辺の自然環境について、「計画段階配慮手続に係る技術ガイド(平成 25 年 環境省)」に基づき、重要な自然環境のまとまりの場の抽出を行った。抽出された重要な自然環境のまとまりの場を表 3-1-5-18 及び図 3-1-5-27 にそれぞれ示す。

事業実施想定区域内には、保安林が広く分布している他、自然植生のヒノキアスナロ群落が一分布している。

表 3-1-5-18 重要な自然環境のまとまりの場

No	重要な自然環境の まとまりの場	抽 出 理 由
1	ヒノキアスナロ群落等の自然植生	自然林等、人為的な改変をほとんど受けていない自然環境や、一度改変すると回復が困難な脆弱な自然環境である。
2	岩木川河口のヨシ原帯	河川沿いの氾濫原の湿地帯等、減少又は劣化しつつある自然環境である。
3	津軽国定公園	自然公園法に基づき指定された国定公園であり、優れた自然景観を有するとともに、地域特性を反映した多様な自然環境の保全が図られている。
4	四ツ滝山	自然環境保全法に基づき指定された自然環境保全地域であり、ブナ林を主体とした良好な自然林が広く残され、学術的価値が高い自然環境として保全の対象とされている。
5	鳥獣保護区	環境保全の観点から鳥獣保護区に指定されている。
6	保安林	水源涵養林や土砂崩壊防止機能を有する緑地等、地域において重要な機能を有する自然環境である。

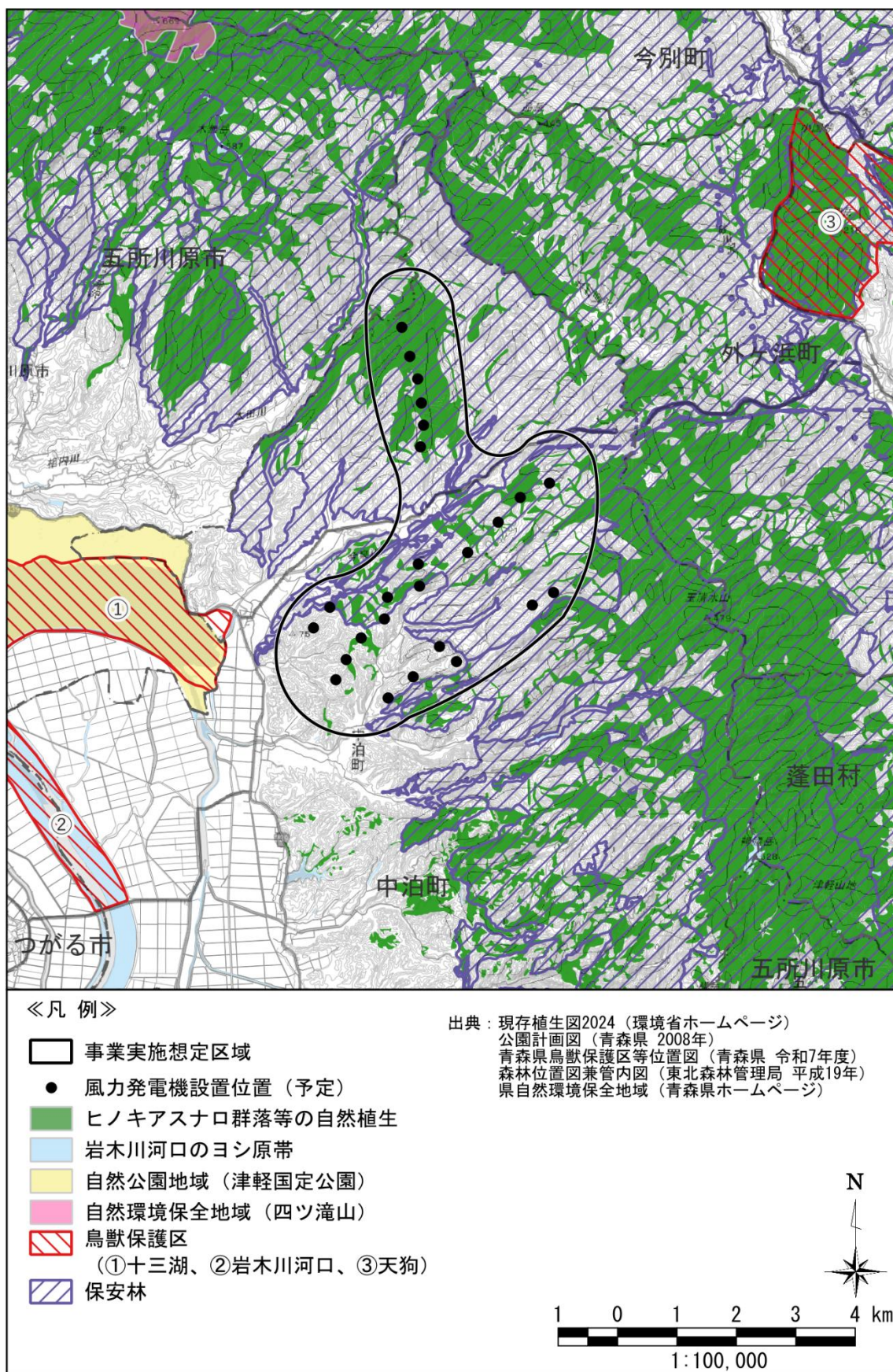


図 3-1-5-27 重要な自然環境のまとまりの図

3) 食物連鎖の状況

事業実施想定区域及びその周辺における食物連鎖の模式図を、図 3-1-5-28 に示す。

食物連鎖の模式図は、自然環境保全基礎調査や当該地域に係る既存資料を基に、事業実施想定区域及びその周辺の環境、生物種及び生物間の相互関係等を考慮してまとめた。

事業実施想定区域には、生産者としてブナ・ミズナラ群落、スギ植林、ヒノキ・アスナロ群落等の樹林地が広く分布している。低次消費者としては植物食のガ類、チョウ類、バッタ類等の昆虫類、カモシカ、ノウサギ等の哺乳類があげられる。低次消費者の上位消費者としては木の実、草の實のほか、昆虫類等を捕食するアカネズミ等の小型哺乳類、アオジ、シジュウカラ等の鳥類、アズマヒキガエル等の両生類が、さらに上位の消費者としてはネズミ類や小鳥類を捕食するヘビ類やキツネ、タヌキ等の中型の哺乳類が考えられる。最後にこれらを捕食する高次消費者として、オオタカ、クマタカ等の猛禽類などから構成される生態系が成立しているものと考えられる。

また、事業想定実施区域周辺には、水田雑草群落や開放水域等が分布している。低次消費者としてユスリカ科等の昆虫類、低次消費者の上位の消費者としてスズメ、オオヨシキリ、オオジュリン等の鳥類、トノサマガエル等の両生類、モツゴやドジョウ等の魚類、トンボ類等の昆虫類があげられる。さらに、上位の消費者として哺乳類のアズマモグラやタシギ、スズメ、ヒバリ等の鳥類が考えられる。最後にこれらを捕食する高次消費者としてサギ類やノスリ、ミサゴ等の猛禽類などから構成される生態系が成立しているものと考えられる。

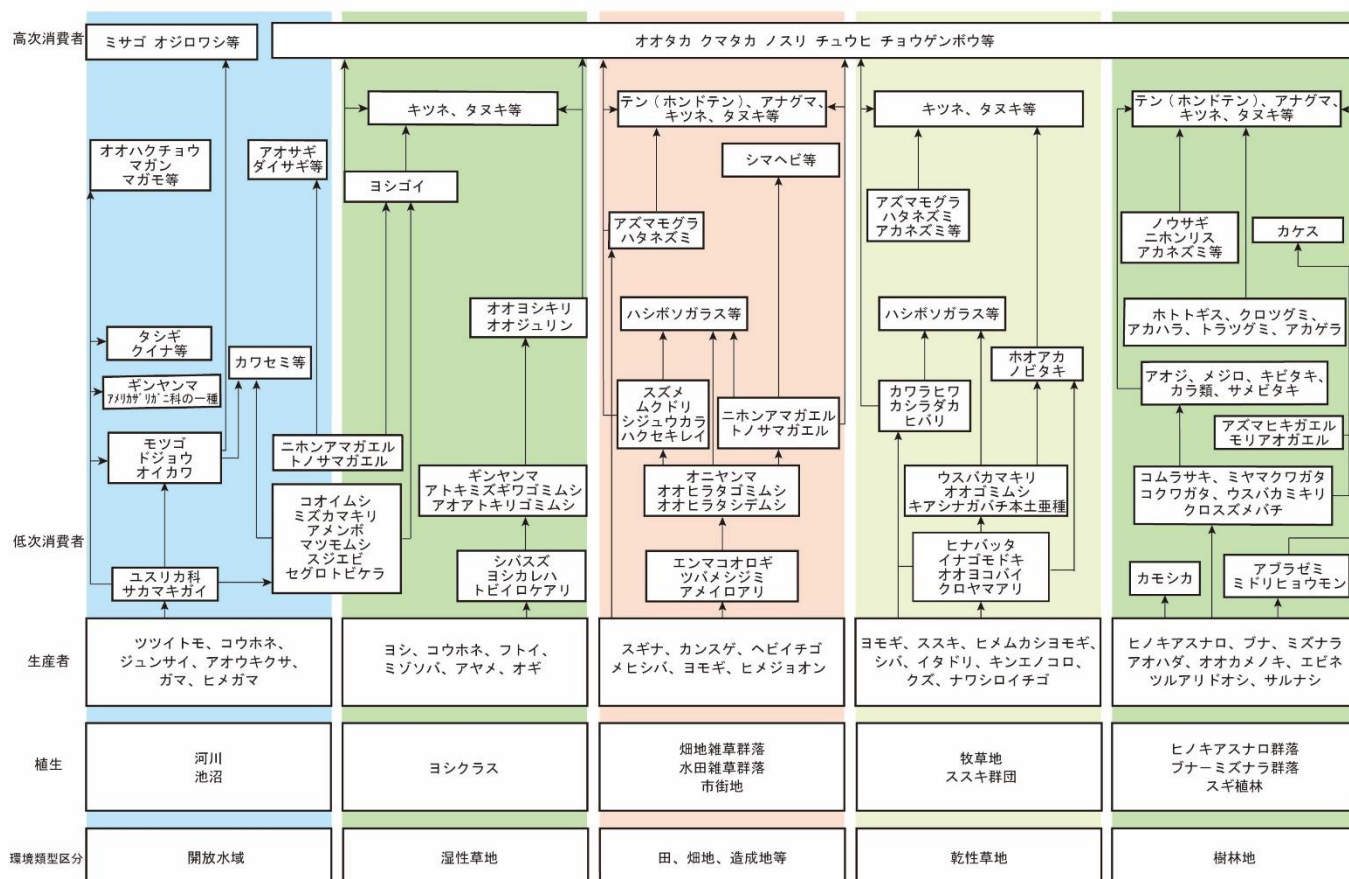


図 3-1-5-28 食物連鎖模式図

3-1-6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況

(1) 景観の状況

1) 景観特性

「地域別景観特性ガイドプラン」(1997年 青森県)によれば、事業実施想定区域及び周辺地域は、「津軽平野北部景域」に含まれている。その概要は、「東側を低い山並みの連なる津軽山地、西側を直線的な七里長浜海岸に沿った屏風山砂丘に挟まれ、岩木川を軸に広大な水田景観が形成されている。また、岩木川河口部には十三湖のおだやかな景観が広がる」と表現されている。

また、津軽平野北部景域を図 3-1-6-1 に示す 4 つの景観特性に区分し、それぞれの景観特性について整理した内容を表 3-1-6-1 に示す。事業実施想定区域はⅠ及びⅡの区域に該当する地域に位置している。事業実施想定区域周辺の地域景観特性を図 3-1-6-2 に示す。

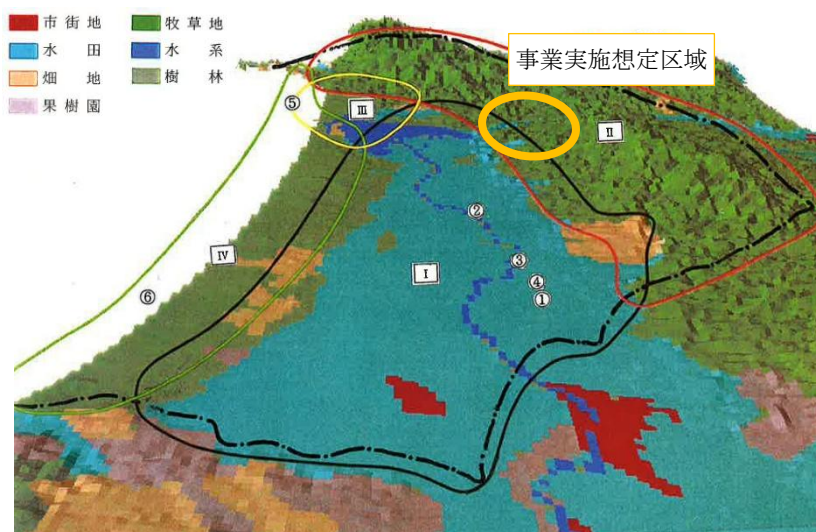


図 3-1-6-1 津軽平野北部景域の景観特性区分図

表 3-1-6-1 津軽平野北部景域の景観特性

区域	景 観 特 性
Ⅰ	・景域の中央に広がる広大な津軽平野には、大規模集約的な水田が展開し、極めて平坦な水平基調の強い田園景観が形成されている。また、平坦な景観に突出する岩木山はランドマークとして平野の全域から視認される。 ・岩木川をはじめとする平野を南北に貫流する河川、用水路は、面的な広がりを持つ眺望に明確な方向感を与える軸となるほか、堤防上や橋梁上等の微高地は、立体感に乏しい景観に変化を与えるとともに、それ自身周囲を見渡す眺望点となる。 ・平野に点在する帯状の自然堤防上を中心とした道路沿いには、防風林が形成された列状の農村集落が断続し、単調な水田の景観に変化を与えるとともに、眺望上の目標となる。 ・なお、集落を構成する家屋は伝統的な構造、意匠を持つものが多く残存する。
Ⅱ	・平野の東側には、ゆるやかに起伏する津軽山地が低く連なり、平野からの仰角の浅いスカイライン、あるいは緑の背景として遠望される。
Ⅲ	・平野の北端にあたる岩木川の河口には、おだやかな十三湖が広がり、周囲の砂丘や平野、低く連なる山地が、低く水平基調の緑の背景をなしている。
Ⅳ	・平野の西側には、日本海に面した直線的な七里長浜海岸を伴う広大な屏風山砂丘が連なる。砂丘の大部分は発達した防風林に被われ、ゆるやかに起伏する水平に近いスカイラインを形成するとともに、内陸部の一部は、平野からの視覚的境界となっている。 ・一部には、自然性の高い植生を有する湿原等の砂丘地特有の優れた自然景観が形成されている。

出典：「地域別景観特性ガイドプラン」(1997年 3月 青森県)

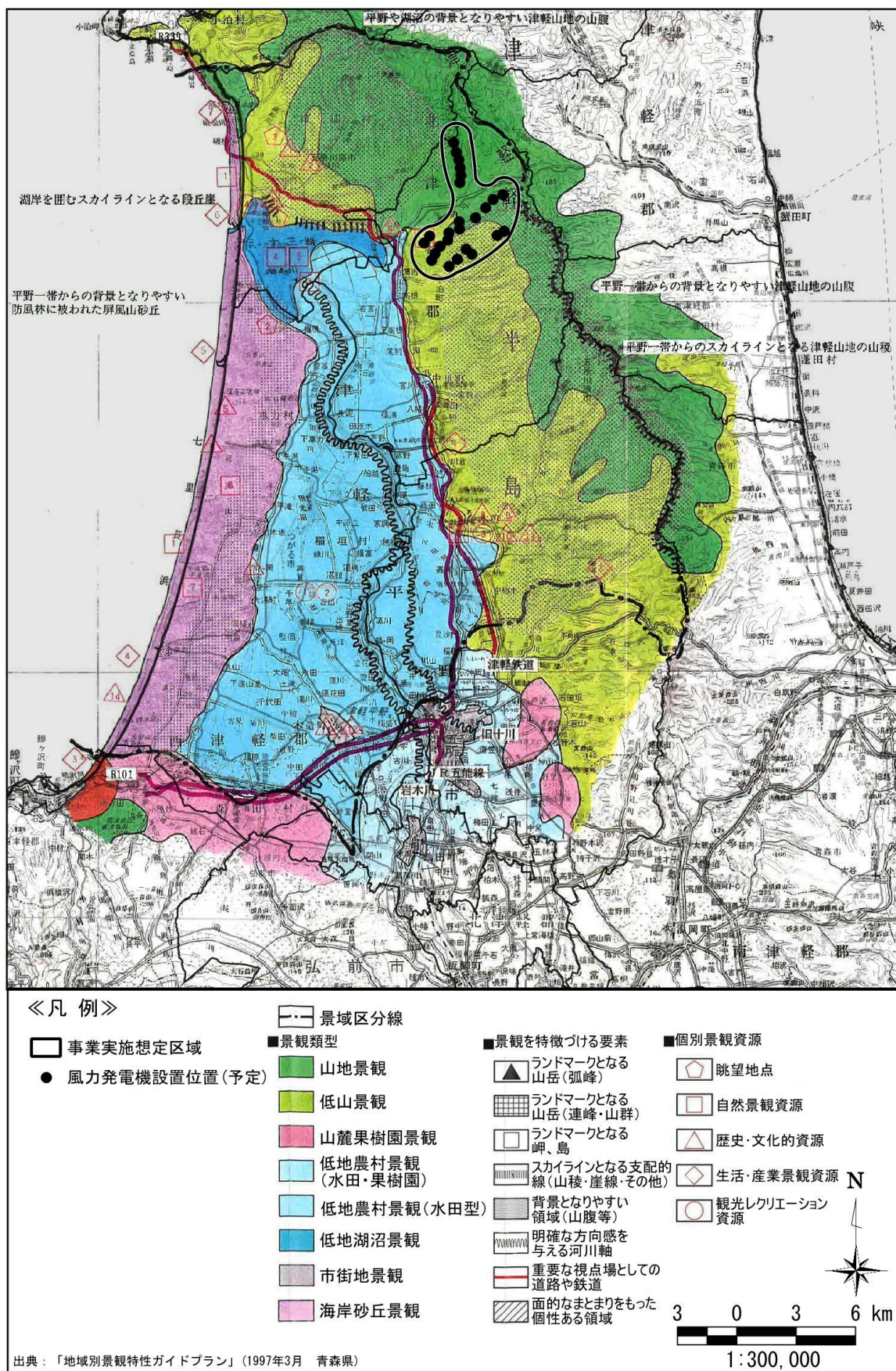


図 3-1-6-2 地域景観特性

2) 主要な眺望点等

事業実施想定区域及びその周辺の主要な眺望点を表 3-1-6-2 に、日常的な視点場を表 3-1-6-3 に、位置を図 3-1-6-3 に示す。主要な眺望点は、地元の観光情報などから不特定多数の者が利用する場所を選定した。

なお、事業実施想定区域内に主要な眺望点等はない。

表 3-1-6-2 事業実施想定区域周辺の主な眺望点

No.	資源名	概 要
1	青函トンネル広場展望台	津軽海峡に面した高台に位置し、主として北～北西方向に津軽海峡を望む展望地点である。海岸線や海域景観を広く見渡すことができ、晴天時には対岸の北海道方面まで望見される。青函トンネル関連施設と一体となった景観が形成されており、広域的な眺望が得られる。
2	靄山	津軽半島西側の山地に位置し、主として西～南西方向に周囲の山地や丘陵地を望むことができる。山頂付近からは森林に覆われた起伏に富んだ地形景観が連続的に広がっており、自然度の高い山地景観を主体とした眺望点である。
3	唐川城跡展望台	中世の城跡に整備された展望地点で、主として南～南西方向に十三湖や周辺の低地を望むことができる。湖沼景観と農地景観が広がる開放的な眺望が特徴で、歴史的遺構と一体となった文化的景観を形成している。 青森県景観条例第 21 条に基づく「ふるさと眺望点」に指定されている。
4	七平展望台	丘陵地に設けられた展望地点で、主として南～東方向に農地や集落、背後の山地を含む景観を望むことができる。内陸部における土地利用の分布や地形構成を俯瞰的に把握でき、地域の日常的な景観を代表する眺望点である。
5	道の駅 十三湖高原展望台	十三湖高原に位置し、主として南～南西方向に十三湖や周辺低地を望む展望施設である。湖沼、農地、山地が連続する奥津軽らしい景観構成が俯瞰でき、観光拠点としても利用される眺望点である。
6	袴腰岳	津軽半島中央部に位置する山岳で、主として四方位方向に広域的な眺望が得られる。周囲の山地や平野部を含む地形の連なりを俯瞰することができる。自然地形の構造を把握しやすい山岳眺望点である。
7	中里城跡史跡公園展望台	史跡公園内に設けられた展望地点で、主として南～東方向に中里地区の市街地や農地を望む。さらに遠景として津軽平野や岩木川方面を見渡すことができる。歴史的背景と現在の生活景観が重なり合う眺望点である。 青森県景観条例第 21 条に基づく「ふるさと眺望点」に指定されている。
8	呑龍岳展望台	周囲を山地に囲まれた位置にあり、主として南～西方向に森林景観や起伏に富んだ地形を望む。人工的要素が少なく、自然林の連続性が感じられる眺望が得られる。なお、現在は建物の老朽化により立ち入り不可となっている。
9	高山展望台	高所に位置する展望地点で、主として南～東方向に山地や平野部を含む広範な地域を望む。地形の起伏や土地利用の分布を俯瞰的に把握できる眺望点である。
10	芦野公園	津軽平野北部に位置する公園で、主として園内の高台や湖畔部から周辺の樹林地や池沼景観を望むことができる。公園内には松林や水面、散策路等が点在し、自然要素を主体とした落ち着いた景観が形成されている。春季には桜の開花にあわせて来訪者が多く見られる公園であり、地域住民の利用や観光利用が図られている。近景を中心とした眺望が得られる眺望点である。

出典：青森県ホームページ「ふるさと眺望点(西北五地区)」(閲覧日：2026 年 3 月)
青森県、中泊町、外ヶ浜町、五所川原市 ホームページ及び観光案内資料 (閲覧日：2026 年 3 月)

表 3-1-6-3 日常的な視点場

No	資源名	概 要
11	外ヶ浜町役場	外ヶ浜町の行政拠点として日常的に利用されている施設である。敷地周辺からは、主として南～南東方向に市街地や周辺の丘陵地を望むことができる。地域住民の生活動線上に位置することから、日常的な景観の中で認識される視点場である。
12	大平会館	地域の集会や行事等に利用される公共施設で、周辺住民にとって身近な生活拠点である。施設周辺からは、主として南～東方向に集落や農地、周辺の低地景観を望むことができる。地域の日常的な景観を構成する視点場の一つである。
13	市浦コミュニティセンター	市浦地区の住民活動や交流の場として利用されている公共施設である。敷地周辺からは、主として南～西方向に農地や集落、背後の山地を含む景観が広がる。住民の日常生活の中で繰り返し利用される視点場である。
14	泉寿荘	地域住民や来訪者に利用される福祉・宿泊関連施設である。施設周辺からは、主として南～南東方向に周辺の市街地や農地景観を望むことができる。生活・滞在の場として、日常的に景観が認識される視点場である。
15	内潟公民館	内潟地区の地域活動や集会の拠点として利用されている公共施設である。敷地周辺からは、主として南～西方向に農地や集落、周辺の低地景観を望むことができる。地域住民の日常生活と密接に関わる視点場である。
16	中泊町役場	中泊町の行政拠点として、多くの住民が日常的に訪れる施設である。周辺からは、主として南～東方向に市街地や農地、周辺の平坦地を望むことができる。町の中心部に位置する、代表的な日常的視点場である。
17	中泊町特産物直売所ピュア	地域特産物の販売拠点として、住民及び来訪者に利用されている施設である。敷地周辺からは、主として南～南西方向に市街地や農地を含む景観が広がる。日常利用と来訪利用の双方を伴う視点場である。
18	むらおこし拠点館フラット	地域振興や交流活動の拠点として整備された施設である。施設周辺からは、主として南～東方向に市街地や周辺の農地景観を望むことができる。地域活動と日常生活の中で認識される視点場である。
19	津軽中里駅	地域住民の通勤・通学等に利用されている津軽鉄道の駅である。駅周辺及び列車走行時には、主として周囲の市街地や農地を含む平坦な景観が連続的に視認される。鉄道利用を通じて日常的に景観が認識される視点場である。
20	深郷田駅	地域住民の通勤・通学等に利用されている津軽鉄道の駅である。駅周辺及び列車走行時には、主として農地や集落を中心とした低地景観を望むことができる。鉄道利用を通じて日常的に景観が認識される視点場である。
21	大沢内駅	地域住民の通勤・通学等に利用されている津軽鉄道の駅である。駅周辺及び列車走行時には、主として農地や集落、周辺の平坦な地形景観が展開する。鉄道利用を通じて日常的に景観が認識される視点場である。
22	川倉駅	地域住民の通勤・通学等に利用されている津軽鉄道の駅である。駅周辺及び列車走行時には、主として農地や低地の集落景観を望むことができる。鉄道利用を通じて日常的に景観が認識される視点場である。

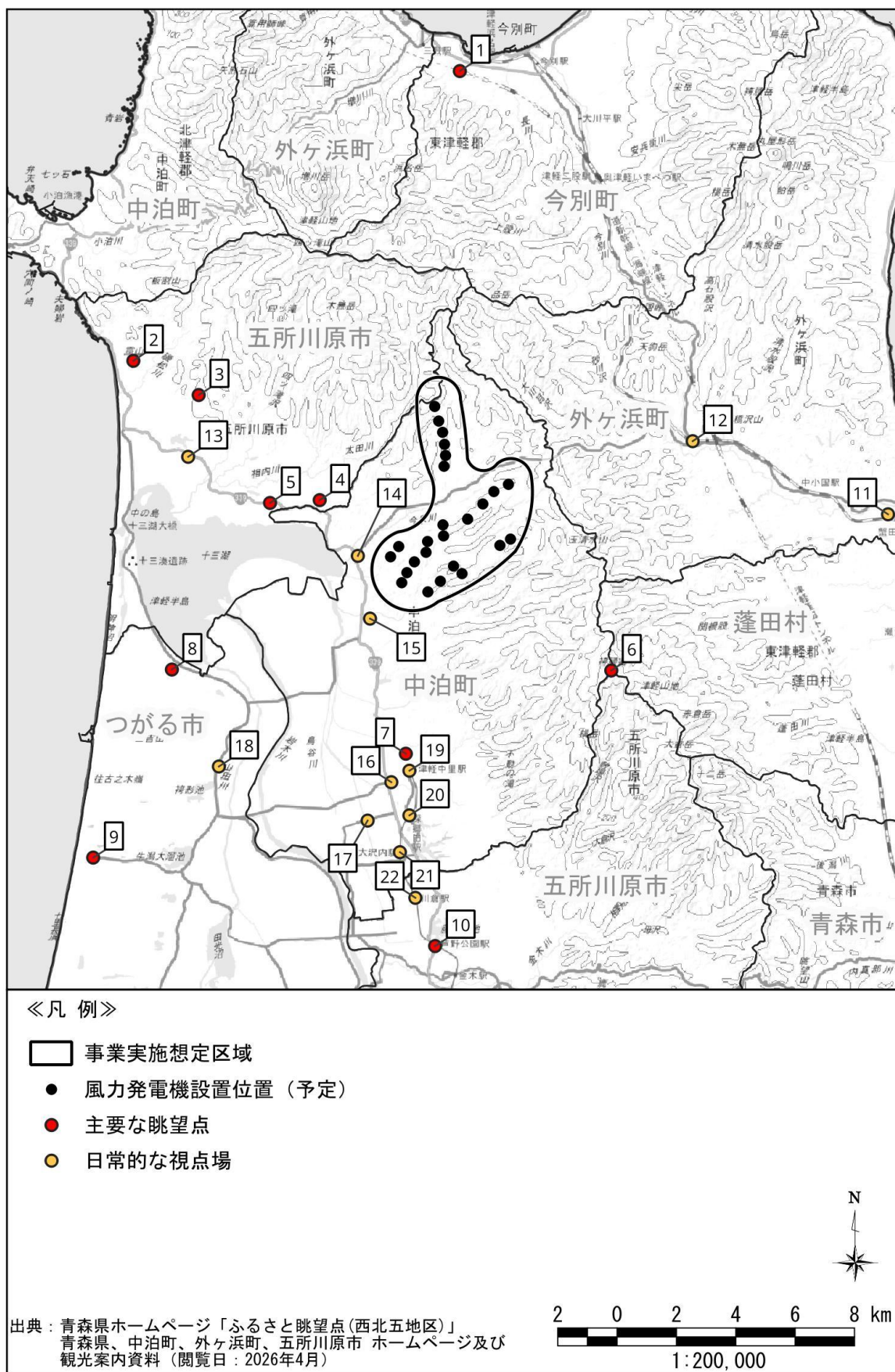


図 3-1-6-3 主要な眺望点の分布

3) 景観資源

事業実施想定区域及びその周辺の景観資源を表 3-1-6-4、位置を図 3-1-6-4 に示す。

事業実施想定区域及びその周辺には、非火山性孤峰、滝、湖沼、砂丘、砂洲、海成段丘が分布する。

なお、対象事業実施区域内には海成段丘の相内段丘及び金木段丘が分布している。

表 3-1-6-4 事業実施想定区域周辺の自然景観資源

No.	自然景観資源名	名 称	自然景観資源の概要
1	非火山性孤峰	三角山	標高：80～185m、比高：105m、長径：0.75km、短径：0.75km
2		霧山	標高：20～152m、比高：132m、長径：0.8km、短径：0.5km
3	滝	七ツ滝	分類：懸谷滝 落下型、多段、落差：60m、滝口巾5m、特記：滝つぼなし。
4	湖沼	十三湖	分類：海跡湖、面積：17,700,000 m ² 水深：3.0m、湖岸線延長：31.4km 特記：富栄養湖、汽水
5		前潟	分類：海跡湖、面積：220,000m ² 水深：1.5m、湖岸線延長：3500m 特記：富栄養湖、汽水、結氷あり水位変動なし。
6		明神沼	分類：海跡湖、面積：120,000 m ² 水深：1.5m、湖岸線延長：3300m 特記：富栄養湖、淡水、結氷あり水位変動なし。
7		田光沼	分類：河跡湖、面積：1,450,000m ² 水深：1.0m、湖岸線延長：5300m 特記：富栄養湖、淡水、結氷あり、水位変動あり。
8	砂丘	屏風山砂丘	標高：5～78m、縦列砂丘、延長：25.5km、比高：73m、風紋あり。
9	砂洲	五月女苑原	標高：3～8.6m、面積：100ha、延長：3000m
10		十三海岸	標高：0～6m、面積：125ha、延長：4000m
11	海成段丘	今別段丘	標高：20～100m、延長：7.5km、比高80m、段数4面
12		三厩段丘	標高：20～100m、延長：6.0km、比高：80m、段数4面
13		相内段丘	標高：20～100m、延長：9.5km、比高：80m、段数4面
14		金木段丘	標高：20～100m、延長：21.5km、比高：80m、段数4面
15		玉松台段丘	標高：20～90m、延長：3.0km、比高：50m、段数3段

出典：「第 3 回自然環境保全基礎調査 青森県自然環境情報図」（平成元年 環境庁）

「第 3 回自然環境保全基礎調査 日本の自然景観 東北版Ⅰ」（平成元年 環境庁）

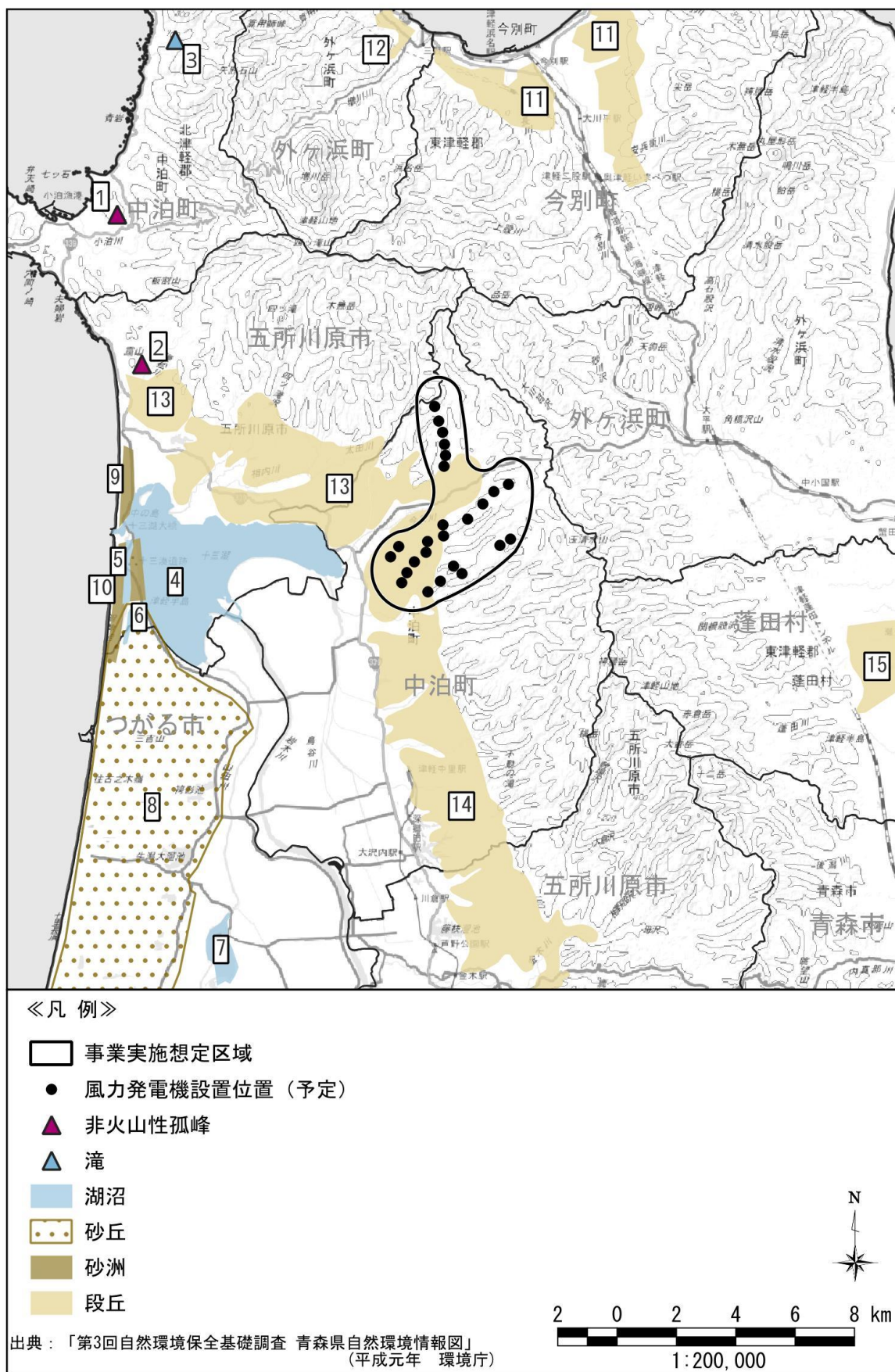


図 3-1-6-4 事業実施想定区域周辺の自然景観資源

(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

事業実施想定区域及びその周辺における「人と自然との触れ合い活動の場」としては、地域住民や来訪者により利用されている公園、海水浴場、観光施設等が存在する。これらの「人と自然との触れ合いの活動の場」の概要を表 3-1-6-5 に、位置を図 3-1-6-5 にそれぞれ示す。

なお、事業実施想定区域内にはこれら主要な人と自然との触れ合いの活動の場は存在していない。

表 3-1-6-5 主要な人と自然との触れ合いの活動の場一覧

No.	名称	概 要
1	折腰内海水浴場、オートキャンプ場	日本海に面した海水浴場及びキャンプ場で、海水浴、キャンプ、バーベキュー等の野外レクリエーションに利用されている。特に夏季（7～8月）には海水浴客や家族連れでにぎわい、それ以外の季節も、散策や景観鑑賞の場として利用されている。
2	マリンパーク海水浴場	小泊地区に位置する海水浴場で、遊泳や砂浜でのレクリエーションに利用されている。夏季を中心に利用が集中し、地域住民や来訪者が訪れる。海岸景観を楽しむ日常的な触れ合いの場でもある。
3	市浦大沼公園	湖沼とその周辺の自然環境を活かした公園で、散策、自然観察、休憩等に利用されている。春から秋にかけて利用が多く、静かな自然環境の中での憩いの場となっている。地域住民の日常的な利用が中心である。
4	十三湖中の島ブリッジパーク	十三湖に浮かぶ中の島に整備された公園で、散策、自然観察、しじみ採り体験等に利用されている。春から秋にかけて来訪者が多い。湖沼環境とふれあう場として、観光利用と地域利用の双方が見られる。
5	十三湖岸公園・吉田松陰遊賞之碑	十三湖湖岸に位置する公園で、散策や休憩、景観鑑賞に利用されている。歴史碑を訪ねる来訪者も多く、春から秋にかけて利用が増加する。自然景観と歴史的要素を併せ持つ触れ合いの場である。
6	不動の滝	山地に位置する滝で、自然景観の鑑賞や散策を目的とした利用が行われている。新緑期から紅葉期（春～秋）にかけて来訪者が多い。静かな自然環境の中で自然とふれあう場となっている。
7	滝ノ沢砂防愛ランド	砂防施設と一体となって整備された公園で、散策や水辺とのふれあいに利用されている。春から夏にかけて、家族連れを中心に利用が見られる。自然環境と防災施設を学びながら触れ合う場である。
8	中里城跡史跡公園	史跡を活用した公園で、散策、歴史学習、展望利用等が行われている。春から秋にかけて利用が多く、地域住民や来訪者が訪れる。自然環境と歴史資源の双方と触れ合える場である。
9	中泊町森林公園ふれあいセンター	森林内に整備された宿泊・体験施設で、自然体験、キャンプ、研修等に利用されている。春から秋にかけて利用が多く、団体利用も見られる。森林環境と直接ふれあう活動の拠点である。
10	大沢内ため池公園	ため池とその周辺を活用した公園で、散策や自然観察、休憩に利用されている。春から秋にかけて、地域住民の日常的な利用が見られる。水辺環境と触れ合う身近な場である。
11	芦野公園	湖沼と森林を有する広域公園で、散策、休憩、花見等に利用されている。春季の桜の時期には特に多くの利用者でにぎわう。年間を通じて地域内外から利用される代表的な触れ合いの場である。

出典：青森県、中泊町、外ヶ浜町、五所川原市 ホームページ及び観光案内資料（閲覧日：2026 年 3 月）

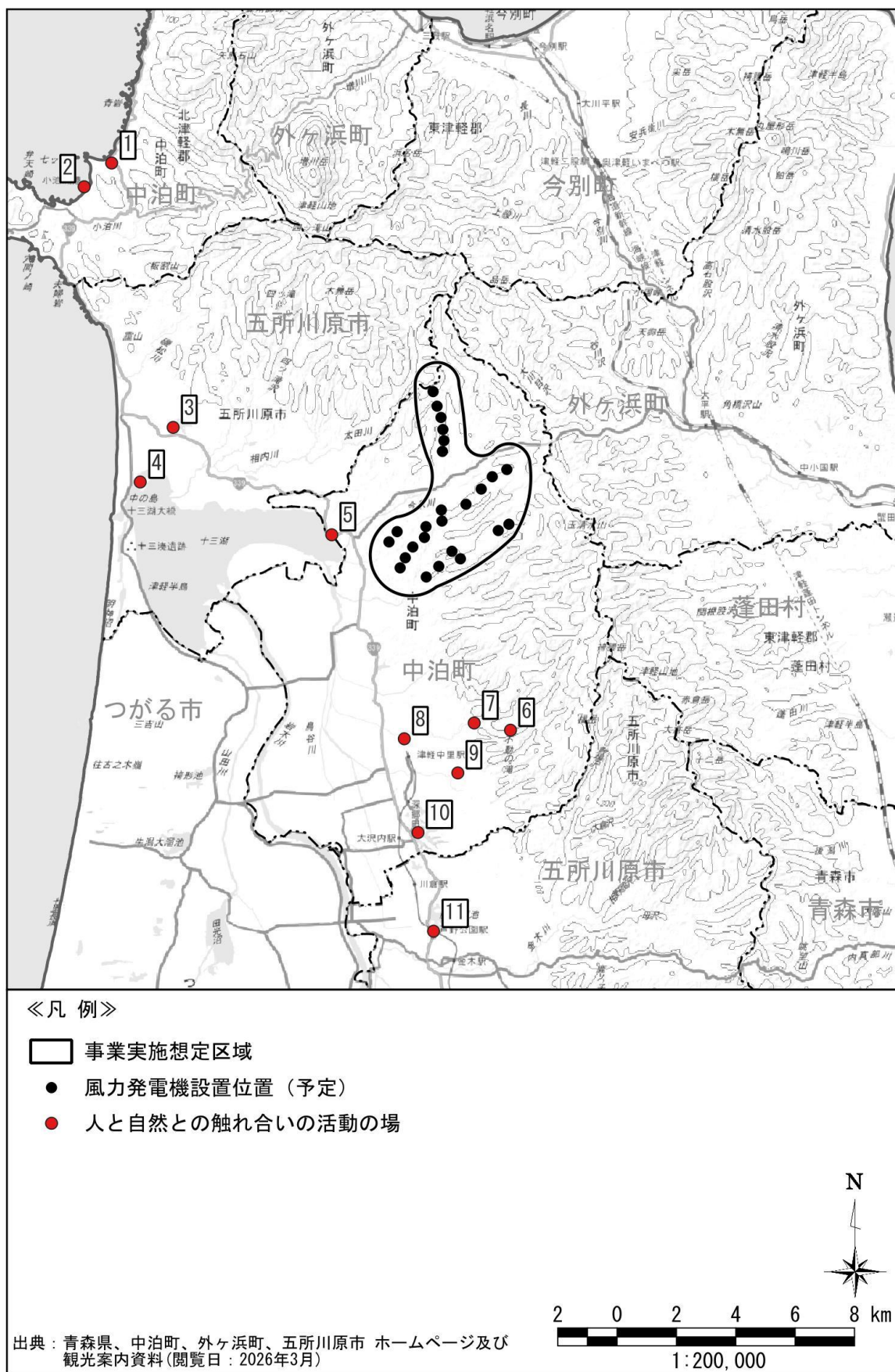


図 3-1-6-5 事業実施想定区域周辺の主要な人と自然との触れ合いの活動の場

3-1-7 一般環境中の放射線物質の状況

(1) 空間放射線量率の状況

事業実施想定区域及びその周辺の青森県による空間放射線量率の状況を表 3-1-7-1 に、環境放射線モニタリング地点を図 3-1-7-1 に示す。

本測定結果によると、2025 年 4 月から 2026 年 3 月までの年平均で空間放射線量率は外ヶ浜町役場で約 28nGy/h、五所川原市役所で約 32nGy/h である。

表 3-1-7-1 空間放射線量率の状況

2025 年度	線量率（平均）（nGy/h）	
測定局	①外ヶ浜町役場	②五所川原市役所
4 月	27	33
5 月	28	33
6 月	28	33
7 月	28	33
8 月	29	33
9 月	28	33
10 月	29	34
11 月	30	34
12 月	31	35
1 月	28	34
2 月	18	23
3 月	26	30
平均	28	32

注：表中の番号は図 3-1-7-1 の番号に対応する。
出典：青森県ホームページ「環境放射線モニタリング」（閲覧日：2026 年 4 月）

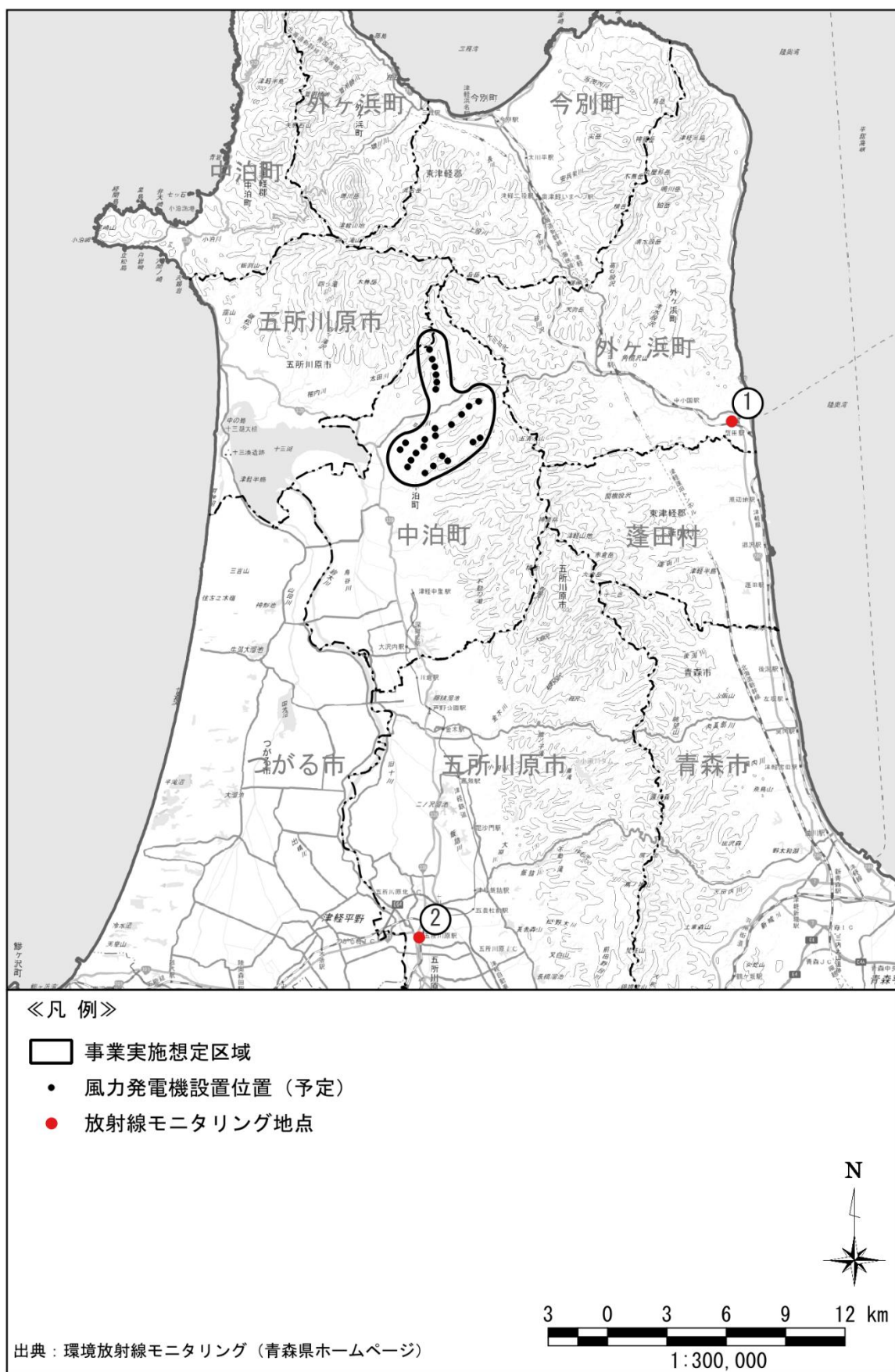


図 3-1-7-1 環境放射線モニタリング地点